

平成16年度版

環境の概要

公害編

厚木市環境部

目 次

1. 公害行政の概要

(1) 公害の行政機構	4
①組織の推移	4
②主要測定機器等整備状況	5
③環境関係法令の体系	6
(2) 公害関係法令に基づく届出等の状況	7
①神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出状況	7
②騒音規制法に基づく届出状況	9
③振動規制法に基づく届出状況	10
④水質汚濁防止法に基づく届出状況	11
⑤土壌汚染対策法に基づく届出状況	12
(3) 環境影響評価制度	13
①制度の概要	13
②環境影響評価条例に基づく事務の状況	14
(4) 合併処理浄化槽整備事業	17
(5) 広報・啓発	18
①かながわ環境月間	18
②厚木市冬期自動車交通量対策	18
(6) 公害苦情の状況	19
①平成15年度の概況	19
②公害苦情の発生状況	20
③平成15年度公害苦情の被害・処理状況	23

2. 大気汚染

(1) 概況	24
(2) 県による大気汚染監視測定結果	25
①硫黄酸化物 (SO _x)	27
②一酸化炭素 (CO)	28
③浮遊粒子状物質 (SPM)	29
④二酸化窒素 (NO ₂)	31
⑤光化学オキシダント (O _x)	32
⑥市内測定点の項目別経年変化表 (1時間値の年平均値)	33
(3) 市の自動測定機によるオキシダント濃度調査	34
①玉川中学校におけるオキシダント濃度調査	34
②北小学校におけるオキシダント濃度調査	37
③上荻野小学校におけるオキシダント濃度調査	40
・オキシダント経年変化 (1時間値の平均値)	43
・自動測定機によるオキシダント濃度測定結果	44
(4) 市の自動測定機による窒素酸化物濃度調査	45
①不燃物処理場跡地における窒素酸化物濃度調査	45
②緑ヶ丘小学校における窒素酸化物濃度調査	48
・窒素酸化物経年変化	50
・自動測定機による窒素酸化物濃度測定結果 (二酸化窒素)	51

(5) 光化学スモッグ	5 2
①光化学スモッグ注意報発令状況	5 2
②平成15年度光化学スモッグ注意報発令状況（県央地域）	5 3
③光化学スモッグ対策	5 4
(6) ダイオキシン類環境調査	5 6
(7) 有害大気汚染モニタリング調査結果	5 7
(8) 廃棄物焼却施設排煙調査結果	5 9
3. 水質汚濁	
(1) 概況	6 0
①水質規制の概況	6 0
②水質汚濁に係る環境基準	6 1
(2) 河川常時監視	6 3
(3) 河川水質調査	7 3
(4) 恩曾川及び小鮎川の連続水質調査	9 3
①恩曾川連続水質調査	9 3
②小鮎川連続水質調査	9 6
(5) 工場排水調査	1 0 1
(6) 地下水水質調査	1 0 7
①尼寺工業団地周辺地下水水質調査	1 0 7
②尼寺工業団地周辺地下水水質調査（2回目）	1 0 9
③旭町地区地下水水質調査	1 1 1
(7) ダイオキシン類環境調査	1 1 4
4. 騒音・振動	
(1) 概況	1 2 4
(2) 騒音・振動に係る規制基準値	1 2 5
①騒音規制法・振動規制法に基づく基準値	1 2 5
②県生活環境の保全等に関する条例に基づく規制値	1 2 9
③騒音に係る環境基準	1 3 1
(3) 環境騒音調査結果	1 3 3
(4) 国道246号道路交通騒音調査	1 3 6
5. 地盤沈下の状況	
(1) 概況	1 5 4
(2) 地盤沈下の構造	1 5 6
(3) 地下水採取量規制地域の地質	1 5 7
(4) 地盤変動量調査	1 5 7
6. 悪臭	
(1) 概況	1 6 2
(2) 規制基準	1 6 2
①悪臭防止法による規制基準	1 6 2
②神奈川県生活環境の保全等に関する条例による規制基準	1 6 4
(3) 悪臭物質と主要発生源	1 6 5
7. 土壌汚染	
(1) 概況	1 6 6
①土壌汚染の概要	1 6 6

②土壌環境基準	166
③土壌汚染対策法に基づく届出状況	166
(2) 神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく土壌環境の保全	168
(3) ダイオキシン類環境調査	168
公害関係用語説明 (あいうえお順).....	169

1. 公害行政の概要

(1) 公害の行政機構

①組織の推移

本市の環境行政機構の中で公害対策組織は、昭和44年4月の騒音規制法の施行に伴い、当時の経済部商工課に公害担当が置かれたのが始まりである。

以後法体系が整備され、公害対策が推進されるに従い本市の機構もそれに対応して拡充・縮小が図られ、昭和56年7月に公害課が廃止され、昭和62年4月には環境全般に主眼をおいた組織として環境保全課が誕生した。

平成8年4月、地球環境等新しい時代の要請に応じて長期的視点に立った機構改革が行われ、環境総務課として、より一層環境対策組織の充実が図られた。

さらに、平成15年4月には機構改革によって生活環境課となり、現在に至っている。

環境（公害部門）行政機構の推移

(表-1)

年 月	職員数 (課長を含む)	摘 要
昭和 44年 4月	3	経済部商工課に公害担当主査を置く
45年 4月	4	経済部商工課に公害係を置く
46年 4月	6	経済部に公害課を設置、対策係、調査係を置く
46年11月		庁舎内に公害実験室を設置
47年 4月	7	経済部から生活環境部公害課へ
48年 4月	8	技術職員2人増員
49年 4月	8	対策係（事務3人） 調査指導係（事務1人、技術3人）
50年 7月	7	生活環境部公害課から生活経済部公害課へ
54年 7月	7	生活経済部公害課から生活環境部公害課へ
56年 7月	6	生活環境部公害課から環境部安全対策課へ
62年 4月	6	環境部安全対策課から環境部環境保全課へ
平成 2年 4月	7	事務職1人増員（技術1人、事務6人）
6年 4月	7	環境政策担当課長代理を置く
7年 7月	9	環境政策担当職員2人、公害対策係へ
8年 4月	6	環境保全課から環境総務課へ（公害対策係5人）
9年 4月	7	環境総務課長代理を置く
14年 4月	8	課長代理を廃止、技術職1人増員 （技術2人、事務5人）
15年 4月	8	環境総務課から生活環境課へ（公害対策係7人）

② 主要測定機器等整備状況

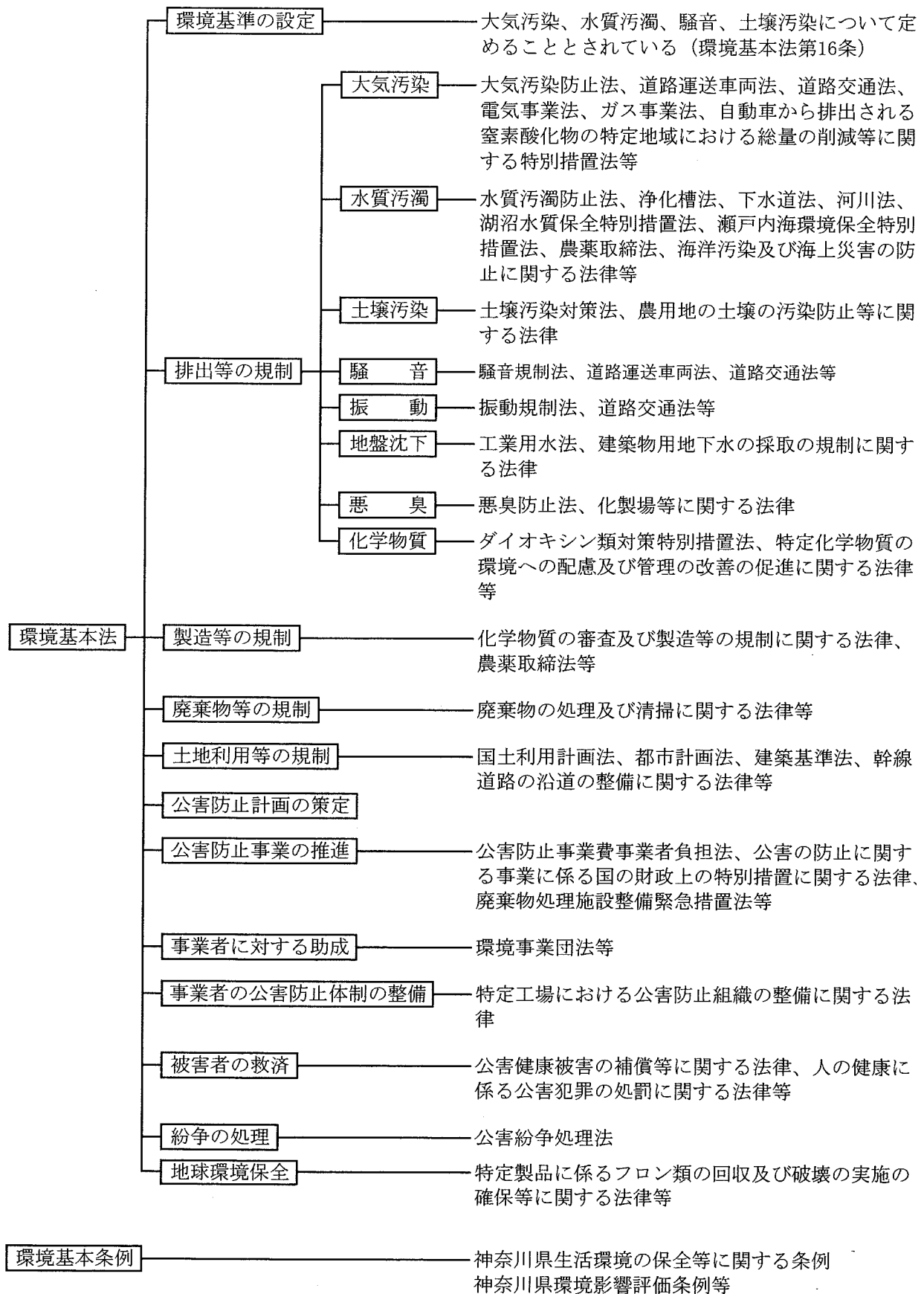
平成16年3月31日現在

	機器名	数量	型式	購入年月*
騒音・振動	インパルス精密騒音計	1	NA-61	S61.2
	マイクロホン延長コード100m	2	EC-04E100m	S61.2
	マイクロホン延長コード50m	2	EC-04E50m	S61.2
	オクターブフィルタ	1	NX-01A	S61.7
	オクターブフィルタユニット	1	NX-01A	H1.5
	プリンタユニット	1	CP-01	S61.7
	雑音発生器	1	SF-05	S62.5
	チャートワインダー	2	LB-16	S62.5/H1.5
	スピーカー	1	SS-02	S62.5
	3チャンネル振動レベル計	1	VM-16	S63.3
	振動レベル計	1	VM-52A	H12.8
	振動レベル計	1	VM-53A	H15.11
	振動レベル計用ピックアップ	1	VM	S56.5
	振動レベル計用ピックアップ	2	EC-02E	S63.6
	積分騒音計	1	NA-10A	S61.7
	デジタル騒音計	1	NA32	H2.6
	騒音計	3	NL-06	H12.3
	携帯実音モニター	1	XT-10SWS-03	H12.3
	レベルレコーダー	1	LR-07	H12.3
	大気	ガスクロマトグラフ一式	1	島津GC-8APF
悪臭物質簡易測定機		1	ポータブル型においセンサー	H2.6
大気採取用フレックスポンプ		1	近江オドエア-DCI-NA	H15.2
大気オキシダント測定装置		1	電気化学計器GXH-73M	H2.5
環境大気用オゾン測定機		2	島津UVAD-1000A	H12.2
環境大気用窒素酸化物測定機		3	島津CLAD-1000A	H12.2/H15.3
環境大気用浮遊粒子状物質測定機		1	島津BRAD-1000A	H15.8
水質	ケルタール窒素分解装置	1	6連式	S59.3
	原子吸光光度計	1	日立Z-6000	S59.8
	溶存酸素計	1	東芝UC-100M	S61.6
	ウォーターバス	1	BS-65	S61.9
	有機塩素系溶剤簡易測定機	1	荏原実業	H2.5
	pHメーター	1	ホリバH-7AD	S61.6
	pH-ORPメーター	1	セントラル科学	H2.7
	pHメーター	1	ホリバ	H3.5
その他	超音波洗浄機	1	ヤマト2型	S50.7
	薬品戸棚	1		S53.3
	資料保冷庫	1		S55.2
	顕微鏡	1	ウチダ115-0130	S56.2
	顕微鏡写真撮影装置	1	島津115-320	S56.2
	ホットプレート	1	HK41	S57.4
	分光光度計	1	日立ダブルビーム	S58.7
	電子天秤	1	メトラ-100型	S59.8
	電子上皿天秤	1	島津EB-H2000S	S59.11
	超音波ピペット洗浄機	1	シャープUT-55	S60.1
	エッペンドルフピペット	2		S60.3
	エッペンドルフピペット	3	10~100ml用	S60.3
	定温恒温槽	1	サンヨーMIR-251	S61.10
	冷蔵庫	1	東芝GR316AZV	S61.6
	遠心分離器	1	トミーLC-30	S61.6
	機具乾燥機	1	ヤマトDG-81	S61.6
	スイングローター	1	TS-7	S61.9

* 購入年月は「年、月」で表示

③環境関係法令の体系

(図-1)



(2) 公害関係法令に基づく届出等の状況

公害関係法令の体系は図-1のとおりであり、昭和42年8月に制定された公害対策基本法（現在は環境基本法）を基に、騒音規制法（昭和43年）、大気汚染防止法（昭和43年）、水質汚濁防止法（昭和45年）、悪臭防止法（昭和46年）、振動規制法（昭和51年）が立法化され、規制強化されてきた。また、平成14年5月29日には土壌汚染対策法が公布され、平成15年2月15日から施行されている。

当市においては、騒音規制法、振動規制法に係る届出事務を行っているほか、平成9年10月に改正された神奈川県生活環境の保全等に関する条例に係る申請届出事務を行っている。また、平成14年4月には、特例市への移行に伴い水質汚濁防止法に係る事務が委譲され、平成15年2月からは新たに土壌汚染対策法に係る事務を取り扱っている。

①神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出状況

平成15年度の届出件数は282件あり、内訳は表-1のとおりである。

新たに設置の申請をし許可された事業所数は10社あり、事業所の廃止届出が12件あった。

平成15年3月末日現在の指定事業所数は526社となっている。

・神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく届出件数

指定事業所関係

(表-1)

	届出等の種類	県条例	件数
指 定 事 業 所	設置許可申請	第3条	10
	事業開始届	第7条	2
	変更許可申請	第8条	25
	変更完了届	第8条	19
	変更計画中止届	第8条	0
	変更計画届	第9条	7
	変更届	第10条	45
	地位承継届	第11条	11
	廃止等届	第12条	12
	変更計画早期着手申請	規則第15条	0
	現況届	第15条	0
	指定事業所既設届	規則附則第17項	0
	環境管理事業所認定申請	第18条	4
	環境管理事業所変更届	第21条	13
	環境配慮書	第16条	22
	ポリエステル樹脂塗布作業開始届	第51条	0
	ポリエステル樹脂塗布作業変更届	第51条	0
	ポリエステル樹脂塗布作業中止届	第51条	0
	不飽和ポリエステル樹脂塗布作業既設届	規則附則第6項	0
小 計			170

	届出等の種類	県条例	件数
地 盤 沈 下	地下水採取許可申請	第75条	1
	地下水採取開始届	第77条	0
	地下水採取に係る変更許可申請	第78条	2
	地下水採取に係る変更完了届	第78条	1
	地下水採取に係る変更計画中止届	第78条	0
	地下水採取に係る変更届	第79条	2
	地下水採取に係る地位承継届	第80条	1
	地下水採取現況届	第81条	0
	地下水採取廃止届	第82条	2
	地下水採取量及び水位測定結果報告	第85条	36
	特別水位測定結果報告	第85条	34
	地下水採取量測定結果報告	第85条	23
	非常応急処置等完了報告	第113条	0
	地下水採取既設届	規則附則第21項	0
小 計			102
土 壌	特定有害物質使用事業所廃止報告	第59条の3	1
	同土地区画形質変更等届	第60条第1項	4
	同土壌調査報告	第60条第2項	4
小 計			9
他	大型小売店における夜間小売業開始届	第56条の2	1
小 計			1
県条例関係届出数合計			282

②騒音規制法に基づく届出状況（平成16年3月31日現在）

- ・特定工場数337社
- ・特定施設別届出数

(表-2)

特定施設の種類	施設数	工場等実数
金属加工機械	840	73
空気圧縮機、送風機	2,600	184
土石用破碎機等	77	14
織機	4	1
建設用資材製造機械	5	1
穀物用製粉機	0	0
木材加工機械	62	24
抄紙機	0	0
印刷機械	97	26
合成樹脂用射出成形機	128	14
鋳造型機	0	0
計	3,813	337

- ・平成15年度騒音規制法に基づく届出件数

(表-3)

届出の種類	騒音規制法	件数
特定施設設置届	第6条	8
数等の変更届	第8条	10
騒音の防止の方法変更届	第8条	0
氏名等の変更届	第10条	27
使用全廃届	第10条	3
承継届	第11条	6
特定建設作業届	第14条	99
計		153

③振動規制法に基づく届出状況（平成16年3月31日現在）

- ・特定工場数224社
- ・特定施設別届出数

(表-4)

特定施設の種類	施設数	工場等実数
金属加工機械	923	91
圧縮機	414	90
破砕機等	66	8
織機	5	1
コンクリートブロックマシン等	2	1
木材加工機械	2	2
印刷機械	52	13
ゴム練用又は合成樹脂練用ロール機	7	2
合成樹脂用射出成形機	175	16
鋳造型機	0	0
計	1,646	224

- ・平成15年度振動規制法に基づく届出件数

(表-5)

届出の種類	振動規制法	件数
特定施設設置届	第6条	6
数等の変更届	第8条	2
振動の防止の方法変更届	第8条	0
氏名等の変更届	第10条	25
使用全廃届	第10条	3
承継届	第11条	6
特定建設作業実施届出書	第14条	50
計		92

④水質汚濁防止法に基づく届出状況（平成16年3月31日現在）

- ・特定工場数343社
- ・特定施設別届出数

(表-6)

特定施設の種類の種類（施行令別表・業種別）	工場等実数
1の2 畜産農業又はサービス業	12
2 畜産食料品製造業	5
5 みそ、しょう油、食用アミノ酸、グルタミン酸ソーダ、ソースまたは食酢の製造業	1
10 飲料製造業	3
16 めん類製造業	3
17 豆腐又は煮豆の製造業	8
18の2 冷凍調理食品製造業	2
19 紡績業又は繊維製品製造・加工業	1
23の2 新聞業、出版業、印刷業、製版業	4
27 無機化学製品製造業	1
32 有機顔料又は合成染料の製造業	1
51 石油精製業	1
53 ガラス又はガラス製品の製造業	2
54 セメント製品製造業	2
55 生コンクリート製造業	7
59 砕石業	1
60 砂利採取業	4
62 非鉄金属製造業	1
63 金属製品製造業、機械器具製造業	13
65 酸又はアルカリによる表面処理施設	16
66 電気めっき施設	2
66の2 旅館業	47
66の3 共同調理場	2
66の4 弁当仕出屋又は弁当製造業	3
66の5 飲食店	5
66の6 そば店、うどん店、すし店、喫茶店	69
66の7 料亭、バー、キャバレー、ナイトクラブ	7
67 洗濯業	4
68 写真現像業	2
70の2 自動車分解整備事業に供する洗車施設	5
71 自動式車両洗浄施設	73
71の2 研究、試験、検査又は専門教育	30
71の3 一般廃棄物処理施設	2
71の4 産業廃棄物処理業	1
71の5 トリクロエチレン等による洗浄施設	2
72 し尿処理施設	1
計	343

・平成15年度水質汚濁防止法に基づく届出件数

(表-7)

届出の種類	水質汚濁防止法	件数
特定施設設置届	第5条	24
特定施設使用届	第6条	0
構造等変更届	第7条	3
特定施設使用廃止届	第10条	13
氏名等変更届	第10条	19
承継届	第11条	5
計		64

⑤土壤汚染対策法に基づく届出状況（平成16年3月31日現在）

・平成15年度土壤汚染対策法に基づく届出件数

(表-8)

届出の種類	土壤汚染対策法	件数
土壤汚染状況調査結果報告	第3条	0
3条1項ただし書の確認申請	第3条	2
土地利用方法変更届	規則第12条4項	0
承継届	規則第12条7項	0
土地の形質の変更届	第9条	0
計		2

(3) 環境影響評価制度

① 制度の概要

環境影響評価（環境アセスメント）は、大規模な開発事業が行われる際、それが周辺の環境にどのような影響を及ぼすかを事前に調査、予測、評価し、さらにその結果を地域住民に周知し、事業者、住民、行政が意見を出し合い環境を守ることを目的としている。

神奈川県では、昭和56年7月に環境影響評価条例を制定し、事務を進めてきたが、環境影響予測評価実施計画書を作成する前段階の周知や、事業完成後に事後調査を行う等の改正が平成10年7月に行われ、表-1に示す事業について手続きが必要となった。

国においては、環境影響評価法が平成11年6月12日に施行され県条例で定める事業より規模の大きな開発事業が対象となっている。

本市は、アセスメント対象事業に対する、調査方法、予測方法、評価方法について意見を求められるため、県への意見回答や縦覧場所の提供などを行っている。

・環境影響評価条例対象事業

(表-1)

事業の種類	規模など	事業の種類	規模など
1. 道路の建設	高速自動車国道…全事業 自動車専用道路…全事業 林道…幅員5m以上かつ 延長10km以上 その他の道路 …4車線以上かつ延長5km以上	8. 研究所の建設	敷地面積3ha以上
		9. 高層建築物の建設	高さ100m以上かつ延床面積 5万㎡以上
2. 鉄道、軌道の建設	線路の延長1km以上	10. 廃棄物処理施設の 建設	敷地面積3ha以上又は焼却・ 溶融処理能力200t/日以上
		11. 下水道終末処理場 の建設	敷地面積10ha以上
3. 鋼索鉄道、索道の建設	全事業	12. 都市公園の建設	敷地面積50ha以上
4. 操車場、検車場の建設	敷地面積10ha以上	13. 工業団地の造成	施行区域の面積10ha以上
5. 飛行場の建設	敷地面積1ha以上	14. 研究所団地の造成	施行区域の面積10ha以上
6. 工場、事業場の建設	敷地面積3ha以上又は排水 量1万m ³ /日以上若しくは燃 料使用量4kl/時以上	15. 流通団地の造成	施行区域の面積10ha以上
		16. ダムの建設	堤高15m以上
7. 電気工作物の建設	・変電所…敷地面積3ha以上 ・発電所 ①一般電気事業、卸電気事業 水力発電所…出力2万kW以上 火力発電所…出力10万kW以上 地熱発電所…出力7千kW以上 原子力発電所…全事業 ②特定電気事業、特定規模 ・電気事業、卸供給 …敷地面積3ha以上又は燃 料使用量4kl/時以上 ・送電線 …電圧17万ボルト以上の架 空送電線で自然公園地域等 に設置されるもの	17. 取水堰の建設	堤長200m以上
		18. 放水路の建設	土地形状変更面積20ha以上
		19. 土石の採取	採取場の面積10ha以上
		20. 発生土処分場の建設	処分場の面積20ha以上
		21. 墓地、墓園の造成	施行区域の面積20ha以上
		22. 住宅団地の造成	施行区域の面積20ha以上
		23. 学校用地の造成	施行区域の面積20ha以上
		24. レクリエーション 施設用地の造成	施行区域の面積20ha以上
		25. 浄水施設及び配水 施設用地の造成	施行区域の面積20ha以上
		26. 土地区画整理事業	施行区域の面積40ha以上
		27. 公有水面の埋立て	埋立区域の面積15ha以上
		28. 宅地の造成	施行区域の面積20ha以上
		29. 前各号に掲げるもののほか、これらに準ずる ものとして規則で定める事業	

②環境影響評価条例に基づく事務の状況

平成15年度は次の3事業について、環境影響評価条例に基づく事務を行った。

○相模興業採石場増設事業（事業者：相模興業株式会社）

- H15. 6. 10 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案についての公聴会の結果について
県から市へ通知（公聴会H15. 5. 10）
- 同 同評価書案に関して県から市へ意見照会
- H15. 7. 8 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案に関して市から県への意見回答
- H15. 9. 26 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案についての環境影響評価審査書について県から市へ通知
- H16. 3. 25 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書の写し及び環境影響評価審査書の写しについて県から市へ縦覧依頼（H16. 3. 30～H16. 4. 13）

○日産先行開発センター建設事業（事業者：日産自動車株式会社）

- H15. 4. 8 （仮称）日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書に対する実施計画審査意見書について県から市へ通知
- H15. 5. 28 （仮称）日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る対象事業の名称の変更の届出について県から市へ通知
- H15. 7. 8 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書の内容の変更について県から市へ通知
- H15. 8. 1 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書の内容に関する周知計画書に関して県から市へ意見照会
- H15. 8. 15 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書の内容に関する周知計画書に関して市から県へ意見回答
- H15. 8. 25 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価書案の写しについて県から市へ縦覧依頼（H15. 8. 29～H15. 10. 14）
- H15. 8. 27 日産先行開発センター建設事業に係る周知計画書の承認について県から市へ通知
- H15. 10. 16 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価書案に関する意見書について県から市へ通知
- H15. 10. 28 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価書案についての説明会概要報告書について県から市へ通知
- H16. 2. 2 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価書案についての意見・見解書の写しについて県から市へ縦覧依頼（H16. 2. 6～H16. 3. 8）
- H16. 2. 3 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価書案についての公聴会公述申出要領等について県から市へ配布依頼
- H16. 2. 5 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価書案についての意見・見解書について県から市へ通知
- H16. 3. 9 日産先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価書案についての公聴会における公述人の選定について県から市へ通知（公聴会H16. 3. 20）

○相模縦貫道路事業（事業者：日本道路公団東京建設局）

- H15. 5. 2 さがみ縦貫道路事業（愛川町中津～城山町川尻）に係る対象事業着手の届出について県から市へ通知

現在継続中の事業についての経過を以下に示す。

○相模興業採石場増設事業（事業者：相模興業株式会社）

- H11. 11. 25 相模興業採石場増設事業実施計画周知書に関して県から市へ意見照会
- H11. 12. 3 相模興業採石場増設事業実施計画周知書に関して市から県へ意見回答
- H11. 12. 15 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書について県から市へ承認通知
- H11. 12. 15 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書について県から市へ縦覧依頼
(H11. 12. 17～H13. 1. 31)
- H12. 2. 10 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書に対する市民等意見の内容について県から市へ通知
- H12. 3. 2 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書に関して県から市へ意見照会
- H12. 3. 24 相模興業採石場増設事業に係る実施計画周知書に関して市から県へ意見回答
- H12. 6. 21 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価計画書に対する実施計画審査意見書について県から市へ通知
- H14. 11. 18 相模興業採石場増設事業に係る周知計画書に関して県から市へ意見照会
- H14. 11. 29 相模興業採石場増設事業に係る周知計画書に関して市から県へ意見回答
- H14. 12. 4 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案の写しについて県から市へ縦覧依頼 (H14. 12. 6～H15. 1. 20)
- H14. 12. 4 相模興業採石場増設事業に係る周知計画書の承認
- H15. 1. 23 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案に関する意見書について県から市へ通知
- H15. 3. 25 相模興業採石場増設事業に係る環境影響予測評価書案についての意見・見解書の写しについて県から市へ縦覧依頼 (H15. 3. 28～H15. 4. 28)

○日産先行開発センター建設事業（事業者：日産自動車株式会社）

- H14. 10. 11 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る実施計画周知書に関して県から市へ意見照会
- H14. 10. 23 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る実施計画周知書に関して市から県へ意見回答
- H14. 10. 24 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る実施計画周知書について県から市へ承認通知
- H14. 10. 24 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書の写しについて県から市へ縦覧依頼 (H14. 11. 1～H14. 12. 16)
- H14. 12. 27 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書に関する実施計画意見書について県から市へ通知
- H14. 12. 27 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書に関して県から市へ意見照会
- H15. 1. 30 (仮称) 日産自動車株式会社先行開発センター建設事業に係る環境影響予測評価実施計画書に関して市から県へ意見回答

神奈川県環境影響評価条例が制定されてからの当市に関連する事業は次のとおりである。

事業名	事業者	手続開始	完了年度
神奈川県産業技術総合研究所	神奈川県	平成3年	継続
相模原都市計画地区画整理事業 しおだ土地地区画整理事業	神奈川県	平成3年	継続
相模取水施設建設事業	県広域水道企業団	平成3年	継続
さがみ縦貫道路事業	神奈川県	平成3年	継続
第2東名自動車道事業	日本道路公団	平成5年	継続
厚木秦野道路（一般国道246号バイパス）事業	神奈川県	平成5年	継続
第一東海自動車道（厚木―大井松田）事業	日本道路公団	平成6年	平成7年

※相模取水施設建設事業は平成11年度に完成したが、5年間の事後調査が必要となる。

神奈川県産業技術研究所も同じ扱いとなる。

(4) 合併処理浄化槽整備事業

公共用水域の水質汚濁源として大きな割合を占める生活排水対策として、「厚木市合併処理浄化槽整備事業補助金交付制度」を平成元年度に発足させ、し尿と生活排水を併せて処理する合併処理浄化槽の普及に努めている。

この制度は公共下水道処理予定区域外を対象とし、合併処理浄化槽の設置者にその費用の一部を補助するもので、平成15年度の実施状況は表-1、2及び図-1、2のとおりである。

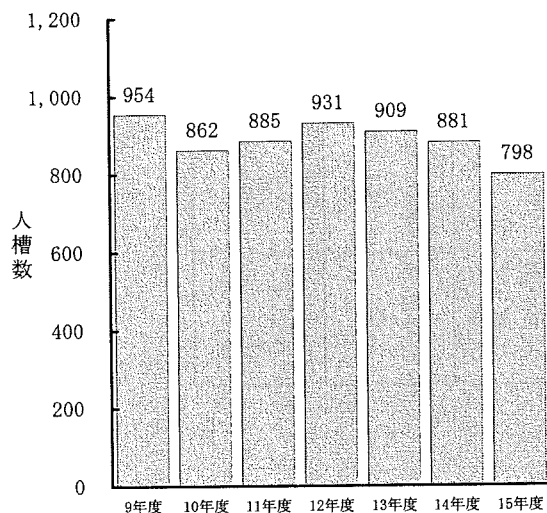
・平成15年度補助件数

(表-1)

区分	補助基数	人槽数	補助金額(円)
合計	129	798	60,640,000

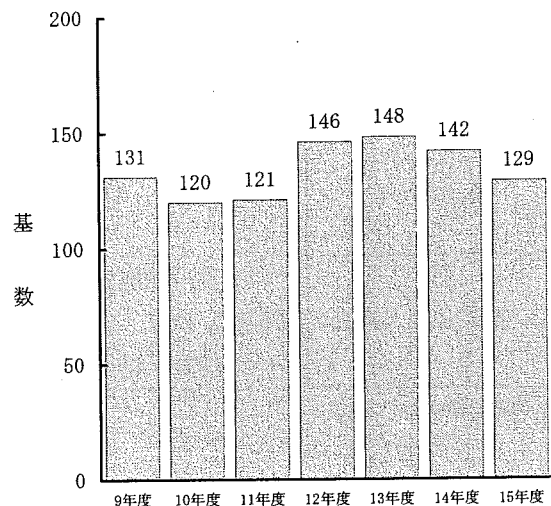
・合併処理浄化槽年度別補助人槽数

(図-1)



・合併処理浄化槽年度別補助基数

(図-2)



・年度毎合併処理浄化槽(設置基数)地区別実績

(表-2)

地区 \ 年度	年度							元年度～15年度 までの合計 ()は人槽数	
	9	10	11	12	13	14	15		
依知	16	7	13	13	11	9	4	98	(681)
睦合	33	26	38	50	45	33	39	377	(2,576)
荻野	27	26	20	34	34	31	24	333	(2,198)
小鮎	28	27	25	20	32	38	31	350	(2,546)
南毛利	7	9	9	6	4	4	5	100	(746)
玉川	17	22	13	20	21	25	23	258	(1,933)
相川	3	3	3	3	1	2	3	45	(332)
合計	131	120	121	146	148	142	129	1,561	(11,012)

(5) 広報・啓発

① かながわ環境月間

1972年6月スウェーデンの首都ストックホルムで開催された国連人間環境会議において、環境の汚染、資源の枯渇、開発途上国の開発といった数多くの問題が協議され、人間環境の保全と改善について積極的に努力することが決議された。

また、国連人間環境会議が開催された6月5日を記念して、その日を「世界環境デー」と定め、各国政府、国連機関が環境保全のための啓発活動を展開しようという決議が、同12月の国際会議で決定されるに至った。

我が国においては、平成5年に制定された環境基本法の中で、6月5日が「環境の日」と定められており、環境省所管の下に6月の1箇月間を「環境月間」と定めて、全国的な啓発活動を展開している。

また、神奈川県においても「かながわ環境月間」を定め、環境問題に対する意識の啓発のために、各種事業を実施している。これを受けて、本市においても次のような啓発活動を実施した。

平成15年度「かながわ環境月間」に伴う啓発活動

(表-1)

行事名称	行事内容	実施数	実施主体
工場・事業場立入調査	ボイラーや廃棄物焼却炉を設置する事業所に対し、施設の運転管理状況について調査・指導を行った。	11社	神奈川県 厚木市

※生活環境課扱いに限る。

② 厚木市冬期自動車交通量対策

本市における窒素酸化物による大気汚染が、依然として高レベル傾向にあることから、二酸化窒素濃度が高くなる冬期に自動車の使用の抑制、マイカー通勤の自粛などを行い、自動車からの窒素酸化物排出量の削減を全市、全庁的に行った。

期間中の毎週水曜日（11日間）を自動車の使用の抑制日とし、市内の比較的規模の大きな事業所に対して、自動車使用抑制の協力依頼及び啓発チラシの配布等を行った。また、市役所として職員のマイカー通勤の自粛、庁用車両の使用の抑制を行った。

・実施期間 平成15年11月17日から平成16年1月31日まで

(6) 公害苦情の状況

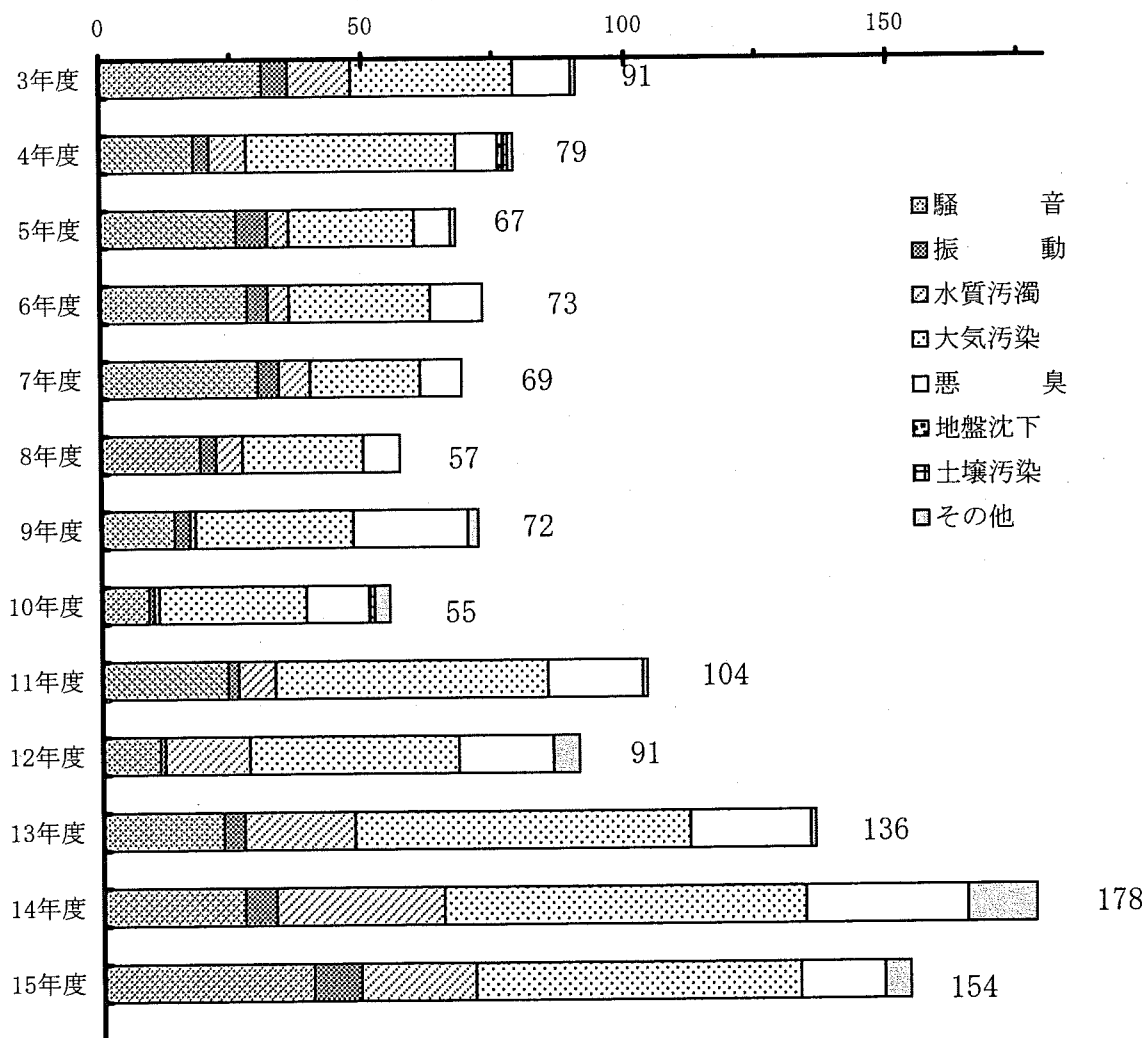
① 平成15年度の概況

公害苦情の受付件数は、昭和63年度に過去最高の141件を記録した後減少傾向にあったが、全国的にダイオキシン類の問題が提起されたこともあり、平成11年度以降焼却炉からのばい煙の苦情や野焼きの苦情が増大した。15年度の総苦情件数は154件と過去最高となった平成14年度より減少した。

15年度の苦情を種類別にみると、焼却炉からのばい煙や野焼きに関する苦情相談が最も多く寄せられた。

公害苦情経年変化

(図-1)



②公害苦情の発生状況

・年度別公害苦情の発生状況

(表-1)

種類		年度													
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
騒音		53	31	18	26	28	30	19	14	9	24	11	23	27	40
振動		3	5	3	6	4	4	3	3	1	2	1	4	6	9
水質汚濁		16	12	7	4	4	6	5	1	1	7	16	21	32	22
大気汚染	ばい煙	25	25	35	21	22	19	17	29	26	51	36	60	61	59
	粉じん	3	6	5	3	5	2	6	0	1	1	3	4	7	3
	ガス	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0
悪臭		12	11	8	7	10	8	7	22	12	18	18	23	31	16
地盤沈下		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土壌汚染		1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他		6	1	1	0	0	0	0	2	3	1	5	1	13	5
計		119	91	79	67	73	69	57	72	55	104	91	136	178	154

・平成15年度公害苦情の月別発生件数

(表-2)

種類		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
騒音		3	2	5	6	5	3	3	3	3	2	3	2	40
振動		0	3	2	0	1	1	0	0	1	0	0	1	9
水質汚濁		1	4	3	0	2	1	3	1	3	1	2	1	22
大気汚染	ばい煙	8	8	5	12	8	4	1	3	1	5	3	1	59
	粉じん	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	ガス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭		3	1	3	1	3	2	1	0	0	0	1	1	16
地盤沈下		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土壌汚染		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	5
計		17	19	18	21	20	12	8	7	8	8	9	7	154

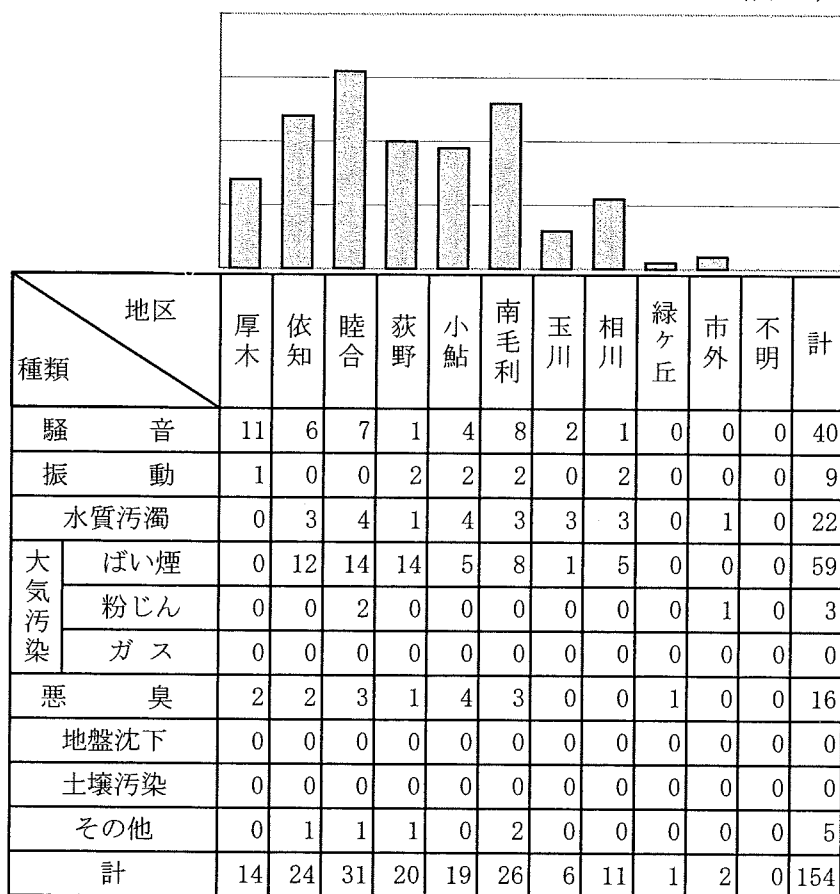
・平成15年度公害苦情業種別発生源

(表-3)

業 種	大 気 汚 染	水 質 汚 濁	騒 音	振 動	悪 臭	そ の 他	合 計
農業	2	2	0	0	2	0	6
林業	1	0	0	0	0	0	1
漁業	0	0	0	0	0	0	0
鉱業	0	0	0	0	0	0	0
建設業	28	4	11	7	3	2	55
製造業	6	1	3	0	4	0	14
電気・ガス・熱供給・水道業	0	1	1	0	0	0	2
運送・通信業	1	0	5	0	0	0	6
卸売・小売業・飲食店	2	0	8	0	2	0	12
サービス業	7	5	4	0	1	0	17
公務	1	0	2	0	0	0	3
家庭生活	4	0	0	0	0	1	5
事務所	0	0	0	0	0	0	0
道路	0	0	1	0	0	0	1
空地	0	0	0	0	0	0	0
公園	0	0	0	0	0	0	0
神社・寺院等	0	0	1	0	0	0	1
その他	3	0	3	0	0	0	6
不明	7	9	1	2	4	2	25
合 計	62	22	40	9	16	5	154

・平成15年度公害苦情の地区別発生状況

(表-4)



・公害苦情の用途地域別発生状況 (平成15年度受付分)

(表-5)

発生源に係る用途地域			被害等に係る用途地域		
用途地域	件数	割合(%)	用途地域	件数	割合(%)
第一種低層住居専用	1	0.6	第一種低層住居専用	3	1.9
第一種中高層住居専用	9	5.8	第一種中高層住居専用	19	12.3
第二種中高層住居専用	0	0.0	第二種中高層住居専用	2	1.3
第一種住居	16	10.4	第一種住居	21	13.6
第二種住居	7	4.5	第二種住居	6	3.9
準住居	3	1.9	準住居	3	1.9
近隣商業	6	3.9	近隣商業	4	2.6
商業	5	3.2	商業	3	1.9
準工業	10	6.5	準工業	10	6.5
工業	10	6.5	工業	9	5.8
工業専用	1	0.6	工業専用	0	0.0
市街化調整	60	39.0	市街化調整	35	22.7
市外	2	1.3	市外	0	0.0
不明	24	15.6	不明	39	25.3
合計	154	100.0	合計	154	100.0

③平成15年度公害苦情の被害・処理状況

(表-6)

生命・身体	財産	動物・植物	感覚・心理	その他	不明	計
0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	154(100.0%)	0(0%)	0(0%)	154(100.0%)

() 内数字は構成割合 (%) を示す。

生命・身体 … 体に直接被害を受けている場合、又は、精神的なもので医療を受けた場合をいう。

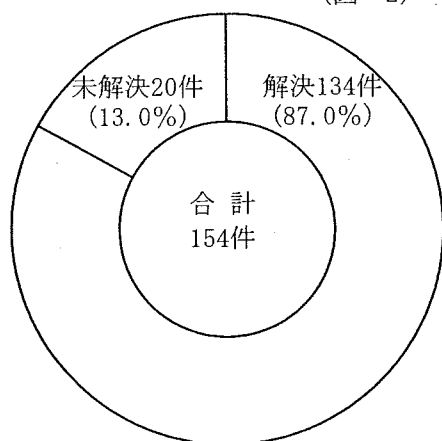
財産 … 家具や生活用品の破損、汚れ等による被害をいう。

動物・植物 … 家畜、愛がん用動物、米麦、野菜及び植物等の動植物被害並びに自然界に生育する動植物の生育環境の悪化による被害をいう。

感覚・心理 … うるさい、くさい、汚い、不快だ等の感覚的・心理的被害で心身の健康を害する程度に害する程度に至らない程度のものをいう。

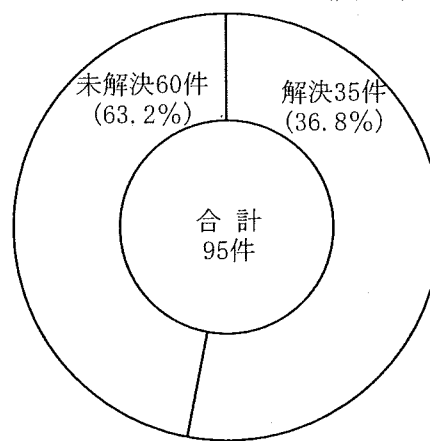
・平成15年度公害苦情の処理状況

(図-2)



・前年度繰越し苦情処理状況

(図-3)



・平成15年度公害苦情解決方法

(表-7)

解決の種類	平成15年度受付分の解決件数	前年度の繰越分の解決件数	合計	割合 (%)
工場の移転	0	5	5	3.0
工場の改善	2	1	3	1.8
機械施設の改善	2	0	2	1.2
故障の修理・復旧	0	0	0	0.0
作業・操業方法等の改善	62	23	85	50.3
操業時間の改善	0	0	0	0.0
操業行為の中止	19	0	19	11.2
その他	49	6	55	32.5
合計	134	35	169	100.0

2. 大気汚染

(1) 概況

大気汚染は、事業所等の活動や自動車の走行により排出される汚染物質によって引き起こされるものであり、昭和43年に大気汚染防止法が制定された。

その後、昭和44年に二酸化硫黄の環境基準が定められ、次いで一酸化炭素、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントの順で5物質が定められ、平成9年度にはベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレンの3物質の環境基準が定められた。さらに、平成11年度にダイオキシン類の環境基準が定められ、現在は9物質について大気環境基準が定められている。

大気汚染の監視事業については、大気汚染防止法に基づいて県の事務となっている。昭和46年6月には、市庁舎屋上に二酸化窒素など当時環境基準が定められた5物質の測定局（一般環境大気測定局、一般局）が、厚木市寿町1丁目に自動車排出ガス測定局（自排局）が設置された。寿町の自排局は、平成5年度から金田神社（厚木市金田）に移転され現在に至っている。その後、平成14年度には厚木市水引1丁目に国設（環境省）の自排局が設置され、二酸化窒素や浮遊粒子状物質等を測定している。

また、平成9年度から市庁舎屋上において神奈川県による有害大気汚染モニタリング調査が開始され、平成10年度から市内においてダイオキシン類の調査が開始されたが、平成15年度は市庁舎が耐震工事のため屋上が使えず、総合福祉センター屋上で実施した。

当市における大気汚染については、昭和40年代前半まで市内にばい煙発生施設が少ないこともあり、ほとんど問題となることはなかった。しかし、昭和46年7月に光化学スモッグによるものと思われる被害が発生し、昭和49年7月4日には厚木市林において酸性雨による被害が発生した。

このため、昭和53年7月から市独自に自動測定機による方法で、玉川中学校（厚木市七沢）において光化学オキシダントの調査を実施し、その後自動車排出ガスに係る窒素酸化物などの調査を市内5箇所で行っている。

また、平成11年度からは大規模廃棄物焼却炉を設置している事業所のばいじん等の調査を実施し、大気汚染防止対策事業の推進に努めている。

平成15年度の一般局及び市独自の測定結果では、光化学オキシダントと、二酸化窒素が環境基準を上回っているが、他の物質は環境基準を下まわっている。

自排局の結果では、金田神社において浮遊粒子状物質と二酸化窒素が環境基準を上まわり、不燃物処理場跡地（厚木市船子）の測定局においても二酸化窒素が環境基準を上まわった。

●大気汚染に係る環境基準について

大気汚染に係る環境上の条件について、人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準。物質及び環境上の条件は表-1のとおりである。

大気汚染に係る環境基準

(表-1)

物質	二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント
環境上の条件	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。

物質	ベンゼン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	ダイオキシン類
環境上の条件	年平均値が0.003mg/m ³ 以下であること。	年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。	年平均値が0.2mg/m ³ 以下であること。	年平均値が0.06pg-TEQ/m ³ 以下であること。

環境基準の達成評価方法（長期的評価）

物質	二酸化硫黄	一酸化炭素	浮遊粒子状物質	二酸化窒素	光化学オキシダント
環境上の条件	年間の1日平均値のうち、測定値の高い方から2%の範囲にあるものを除外した後の最高値を環境基準と比較する。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、不適合と評価する。			年間の1日平均値のうち、測定値の低い方から98%に相当するものを環境基準と比較する。	1時間値が0.06ppm以下であること。

(2) 県による大気汚染監視測定結果

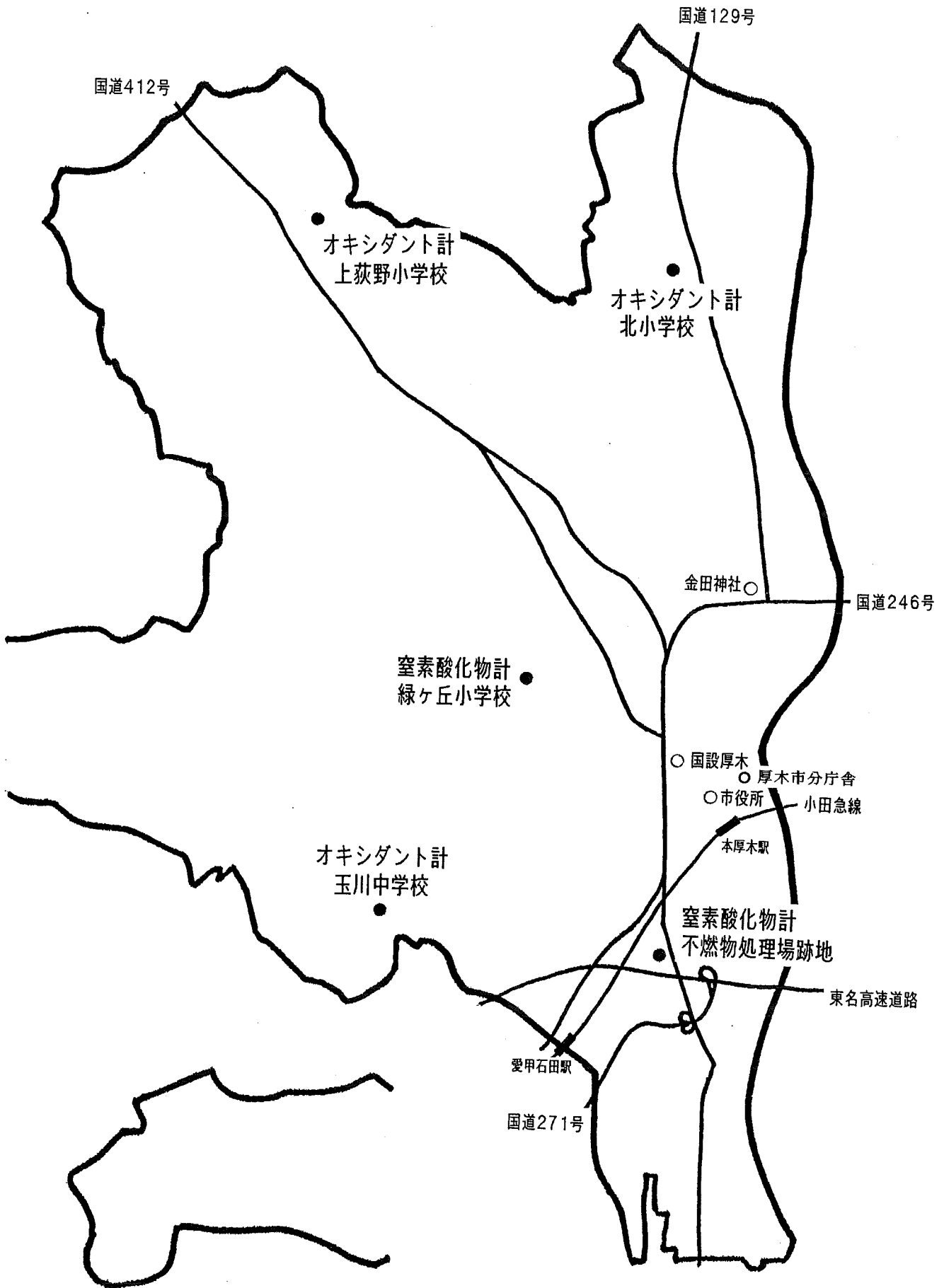
大気汚染の状況を監視するため、神奈川県環境科学センターを中心に県下の測定局がテレメータ化され、大気汚染の常時監視が行われている。

本市においては、図-1のとおり一般環境大気測定局（一般局）が厚木市分庁舎に、自動車排出ガス測定局（自排局）が金田神社に設置されている。

厚木市分庁舎では、硫黄酸化物、窒素酸化物、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントのほか気象等の測定をしており、金田神社では、窒素酸化物、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、気象の常時監視を行っている。また、国設厚木についても、同様の監視を行なっている。

大気汚染の自動測定点

(図-1)



①硫黄酸化物 (SO_x)

硫黄酸化物とは重油などの硫黄分を含む燃料が燃えて生じた二酸化硫黄、三酸化硫黄などの物質をいい、人体に対して慢性気管支炎・ぜん息性気管支炎などの影響を与える代表的な大気汚染物質である。

環境基準は二酸化硫黄について「1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること」と定められている。

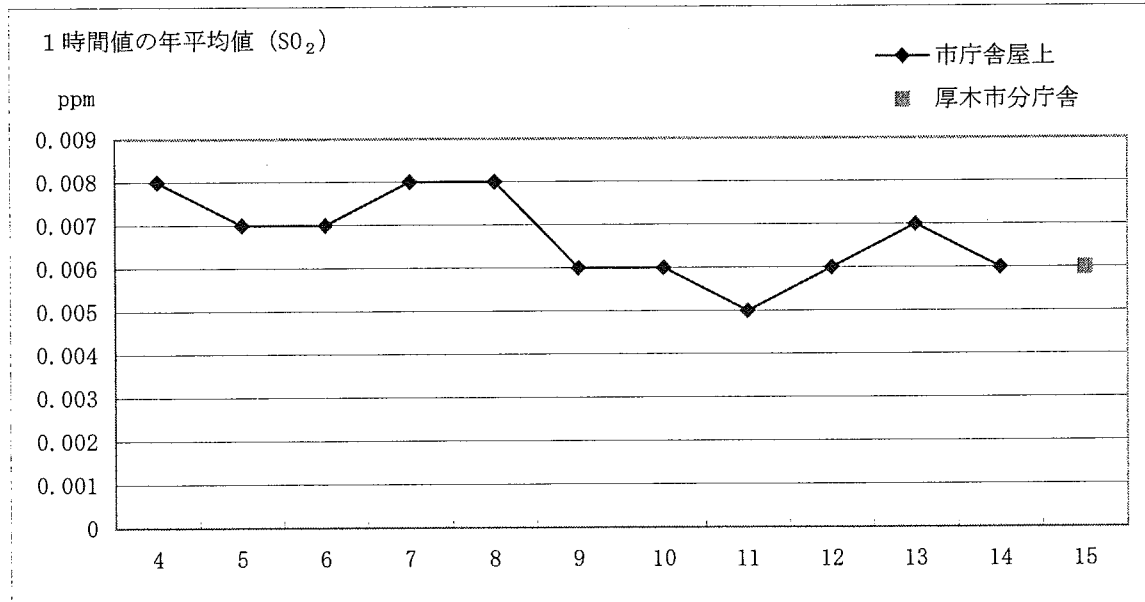
平成15年度は市庁舎屋上が耐震工事のため測定場所として使用できなくなったため、厚木市分庁舎で行った。

平成15年度の結果は、表-2に示すように「1時間値が0.1ppm」を超えた時間はなかった。

(表-2)

測定場所	厚木市分庁舎
有効測定日数	363日
測定時間	8652時間
1時間値の年平均値	0.006
1時間値が0.1ppmを越える時間数と割合	0時間 (0.0%)
1時間値の1日平均が0.04ppmを越える日数と割合	0日 (0.0%)
日平均値が0.04ppmを越えた日が2日以上連続した日の有無	無

(図-1)



年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
市庁舎屋上	0.008	0.007	0.007	0.008	0.008	0.006	0.006	0.005	0.006	0.007	0.006	—
厚木市分庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.006

②一酸化炭素（CO）

一酸化炭素は、血液中のヘモグロビンと結びついて体内の酸素交換を妨げるなどの影響を与える物質である。

環境基準は、「1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること」と定められている。

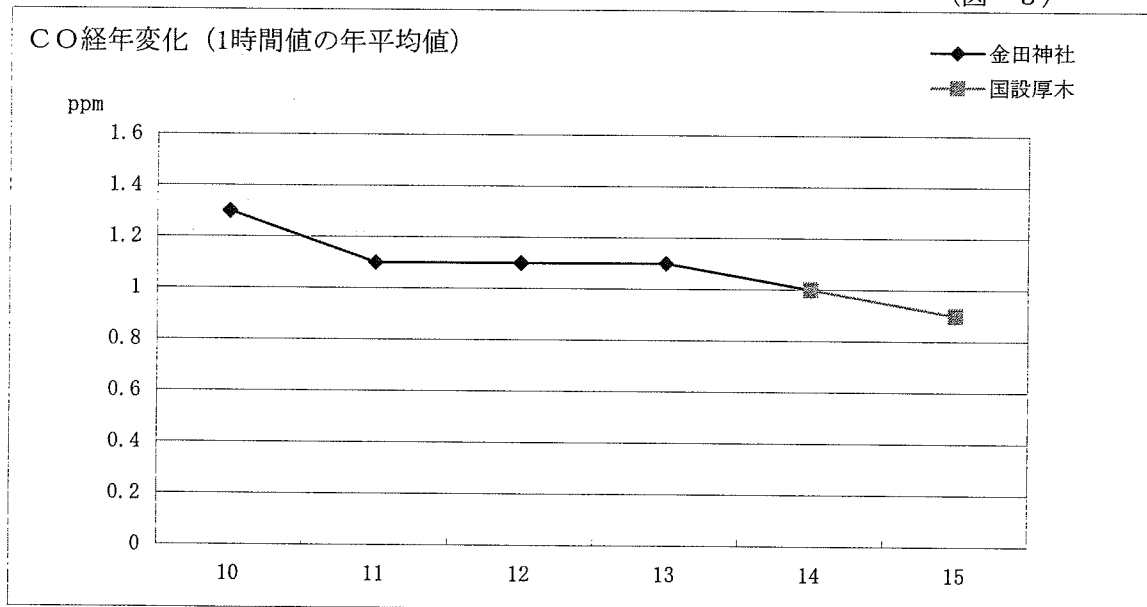
金田神社で測定を行っているほか、平成14年度からは国設厚木でも調査を行うこととなった。

平成15年度の結果は表-3に示すように環境基準を満足しており、これは、昭和48年から始まった自動車排出ガス規制やその後の排出ガス対策の技術革新によるものと思われる。

(表-3)

測定場所	金田神社	国設厚木
有効測定日数	357日	322日
測定時間数	8483時間	7691時間
1時間値の年平均値	0.9ppm	0.9ppm
8時間平均値20ppmを超える回数と割合	0回(0%)	0回(0%)
日平均値が10ppmを超える日数と割合	0回(0%)	0回(0%)
1時間値の最高値	3.0ppm	3.9ppm

(図-3)



年度	10	11	12	13	14	15
金田神社	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9
国設厚木	—	—	—	—	1.0	0.9

③浮遊粒子状物質（SPM）

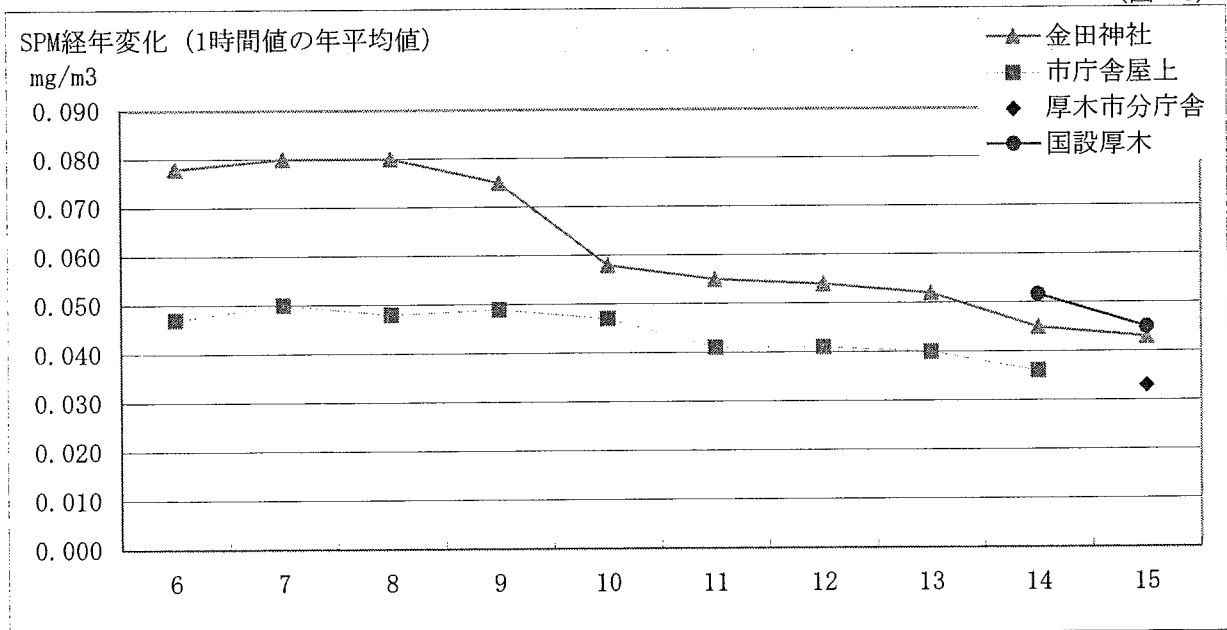
浮遊粒子状物質は、粉じん、ばいじん等を総称して呼び、環境基準では粒径 $10\mu\text{m}$ （マイクロン）以下のものを浮遊粒子状物質と定めている。過去に厚木市に設置されていた測定局では、粒径 $10\mu\text{m}$ 以上のものも測定していたため、環境基準との比較はできなかった。そのため、市庁舎屋上で昭和62年から、金田神社で平成5年から、環境基準に基づいた測定方法に変更された。また、平成14年からは、国設厚木でも測定が始まった。なお、平成15年度は市庁舎屋上が耐震工事のために測定場所として使用できなくなったため、厚木市分庁舎で測定を行った。

15年度の測定結果は、表-4に示すとおりである。環境基準「1時間値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること」に対して、基準を超える値が金田神社で2時間記録された。厚木市分庁舎、国設厚木では基準を超える時間はなかった。昨年度と比較すると、金田神社は1時間、国設厚木は3時間減少したことになる。また、もう一つの環境基準「日平均値の2%除外値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であること」に対しては、基準超過日数が、金田神社では5日、国設厚木では3日となった。昨年度と比較すると金田神社は4日、国設厚木は9日減少した。

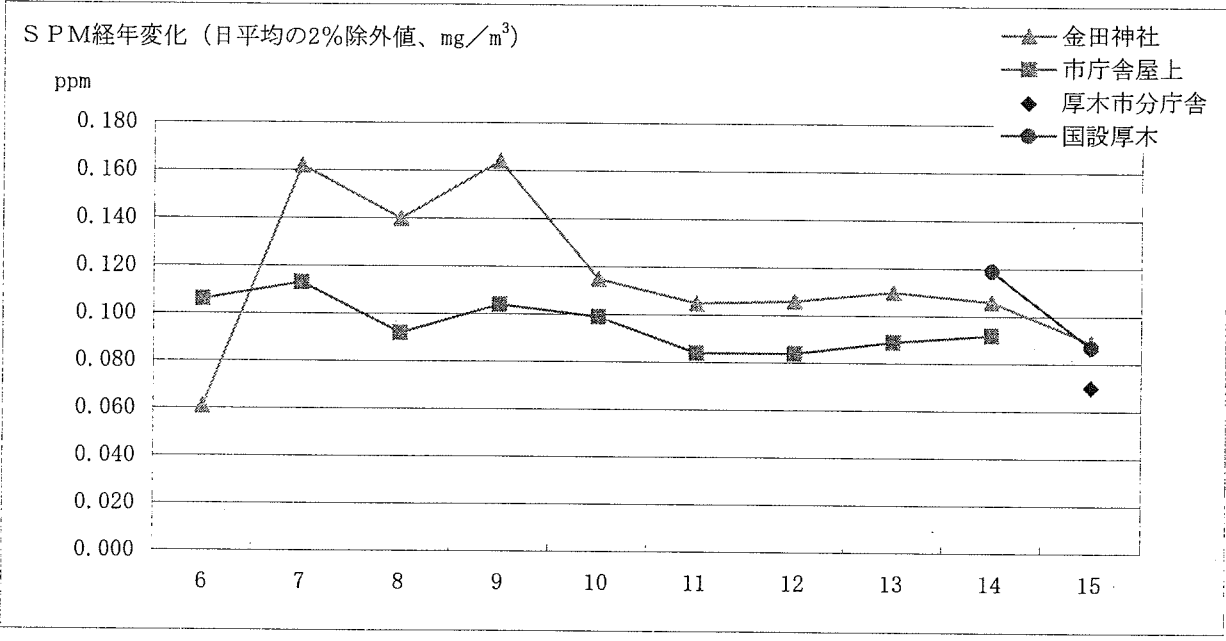
(表-4)

測定場所	厚木市分庁舎	金田神社	国設厚木
有効測定日数	366日	366日	361日
1時間値の年平均値	$0.033\text{mg}/\text{m}^3$	$0.043\text{mg}/\text{m}^3$	$0.045\text{mg}/\text{m}^3$
1時間値が $0.2\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた時間数と割合	0時間(0.0%)	2時間(0.0%)	0時間(0.0%)
日平均値が $0.1\text{mg}/\text{m}^3$ を超えた日数と割合	0日(0.0%)	5日(1.4%)	3日(0.8%)
日平均値の2%除外値	$0.070\text{mg}/\text{m}^3$	$0.089\text{mg}/\text{m}^3$	$0.087\text{mg}/\text{m}^3$

(図-4)



年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
金田神社	0.078	0.080	0.080	0.075	0.058	0.055	0.054	0.052	0.045	0.043
市庁舎屋上	0.047	0.050	0.048	0.049	0.047	0.041	0.041	0.040	0.036	—
厚木市分庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.033
国設厚木	—	—	—	—	—	—	—	—	0.052	0.045



年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
金田神社	0.061	0.162	0.140	0.164	0.115	0.105	0.106	0.110	0.106	0.089
市庁舎屋上	0.106	0.113	0.092	0.104	0.099	0.084	0.084	0.089	0.092	—
厚木市分庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.070
国設厚木	—	—	—	—	—	—	—	—	0.119	0.087

④二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素は、工場・事業場の燃料の焼却や廃棄物の焼却の他、特に幹線道路周辺の自動車排出ガスにより発生する。

環境基準は、「1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmのゾーン内又は、それ以下であること」と定められている。

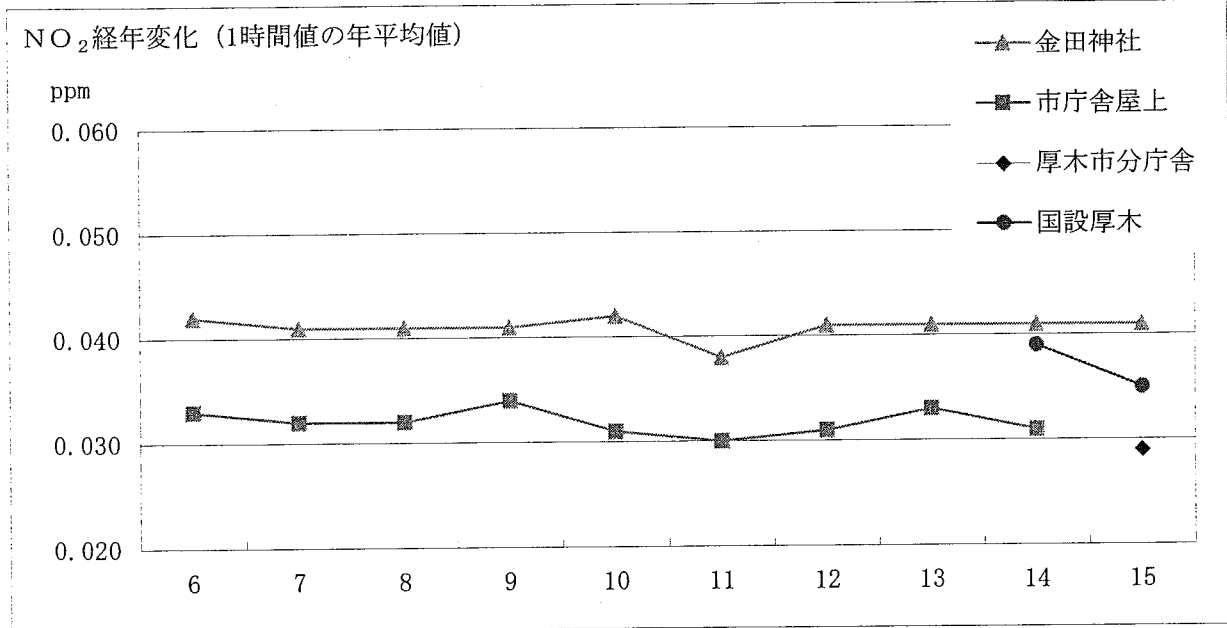
15年度は市庁舎屋上が耐震工事のために測定場所として使用できなくなったため、厚木市分庁舎で測定を行った。測定結果は表-5に示すように、厚木市分庁舎及び国設厚木において、98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日はなかった。金田神社では昨年より4日少ない3日記録された。

また、98%評価値が0.04~0.06ppmの範囲日数は、金田神社が昨年より2日、国設厚木が74日減少した。

(表-5)

測定場所	厚木市分庁舎	金田神社	国設厚木
有効測定日数	365日	366日	357日
測定時間数	8704時間	8706時間	8399時間
1時間値の年平均値	0.029ppm	0.041ppm	0.035ppm
1時間値の日平均値が0.04~0.06ppmの日数と割合	30日(8.2%)	190日(51.9%)	102日(28.6%)
1時間値の日平均値が0.06ppmを超える日数と割合	0日(0.0%)	10日(2.7%)	0日(0.0%)
98%値評価による日平均値が0.06ppmを超える日数	0日	3日	0日

(図-5)



年度	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
金田神社	0.042	0.041	0.041	0.041	0.042	0.038	0.041	0.041	0.041	0.041
市庁舎屋上	0.033	0.032	0.032	0.034	0.031	0.030	0.031	0.033	0.031	—
厚木市分庁舎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.029
国設厚木	—	—	—	—	—	—	—	—	0.039	0.035

⑤光化学オキシダント (Ox)

光化学オキシダントは、工場・事業場の燃焼施設や自動車の排出ガスなどに含まれている窒素酸化物と、ガス状の炭化水素系の物質が紫外線を受けて光化学反応を起こして生成される光化学スモッグの原因物質といわれている。

この物質は、濃度が高くなると、目やのどに対して刺激を与えたり、植物を枯らす等の被害を与えることで知られている。

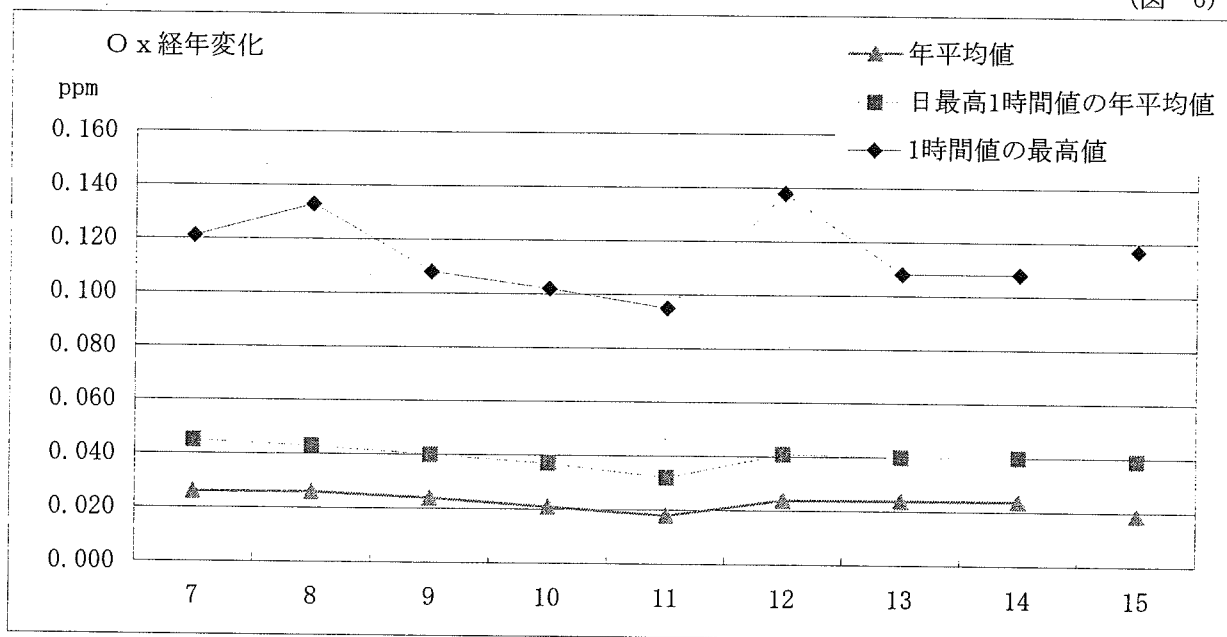
環境基準は、「1時間値が0.06ppm以下であること」と定められている。

15年度は、市庁舎屋上が耐震工事のために測定場所として使用できなくなったため、厚木市分庁舎で測定を行った。測定結果（午前5時から午後8時の報告）は表-6に示すように、環境基準を超えたのは42日、162時間であった。また、光化学スモッグ注意報の発令基準である0.12ppmを超えた日数及び時間はなかった。

(表-6)

測定場所	厚木市分庁舎
有効測定日数	361日
測定時間数	8288時間
日最高1時間値の年平均値	0.019ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間	42日、162時間
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間	0日、0時間
1時間値の年最高値	0.117ppm

(図-6)



年度	7	8	9	10	11	12	13	14	15
年平均値	0.026	0.026	0.024	0.021	0.018	0.024	0.024	0.024	0.019
日最高1時間値の年平均値	0.045	0.043	0.040	0.037	0.032	0.041	0.040	0.040	0.039
1時間値の最高値	0.121	0.133	0.108	0.102	0.095	0.138	0.108	0.108	0.117

※14年度までは市庁舎屋上で測定

	測定項目 [単位]	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	
厚木市分庁舎	一酸化炭素 (CO) [ppm]	(0.8)	(0.8)	(0.9)	(0.8)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	(0.7)	—	—	—	—	—		
	二酸化硫黄 (SO ₂) [ppm]	(0.008)	(0.008)	(0.009)	(0.008)	(0.007)	(0.007)	(0.008)	(0.008)	(0.006)	(0.006)	(0.005)	(0.006)	(0.007)	(0.006)	0.006	
	浮遊粒子状物質 (SPM) [mg/m ³]	(0.059)	(0.051)	(0.053)	(0.049)	(0.045)	(0.047)	(0.050)	(0.048)	(0.049)	(0.047)	(0.041)	(0.041)	(0.040)	(0.036)	0.033	
	二酸化窒素 (NO ₂) [ppm]	(0.031)	(0.031)	(0.032)	(0.032)	(0.032)	(0.033)	(0.032)	(0.032)	(0.032)	(0.034)	(0.031)	(0.030)	(0.031)	(0.033)	(0.031)	0.029
	オキシダント (Ox) [ppm]	(0.015)	(0.014)	(0.016)	(0.021)	(0.018)	(0.021)	(0.022)	(0.021)	(0.021)	(0.020)	(0.018)	(0.018)	(0.024)	(0.024)	(0.024)	0.019
金田神社	一酸化炭素 (CO) [ppm]	中央通りから測定局移設				1.5	1.4	1.4	1.4	1.2	1.3	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	
	浮遊粒子状物質 (SPM) [mg/m ³]					0.075	0.078	0.080	0.080	0.075	0.058	0.055	0.054	0.052	0.045	0.043	
	二酸化窒素 (NO ₂) [ppm]					0.042	0.042	0.041	0.041	0.041	0.042	0.038	0.041	0.041	0.041	0.041	
国設厚木	一酸化炭素 (CO) [ppm]	平成14年度に新設													1.0	0.9	
	浮遊粒子状物質 (SPM) [mg/m ³]														0.051	0.045	
	二酸化窒素 (NO ₂) [ppm]														0.039	0.035	

⑥ 市内測定点の項目別経年変化表（1時間値の年平均値）（表一七）

※ ()は市庁舎屋上での測定値
 ※ —は調査を終了した。

(3) 市の自動測定機によるオキシダント濃度調査

①玉川中学校におけるオキシダント濃度調査

調査期間 平成15年4月1日～平成16年3月31日

調査場所 厚木市小野301番地の10 市立玉川中学校

測定方法 島津製作所製UVAD-1000Aによる乾式方法で測定した。この測定局は、昭和59年7月から湿式による測定を開始し、平成12年2月から乾式の測定機器による方法に切替えた。

調査結果 15年度のオキシダント濃度を環境基準と比較すると、表-1に示すように0.06ppmを超えた時間数が307時間あった。全測定時間数8717時間に対する割合は3.5%で、昨年度の3.9%と比べ減少した。1時間値が0.06ppmを超えた日数は65日あり、昨年の62日と比べ増加した。

また、注意報発令基準の0.12ppmを超えた日は1日あり、1時間値が0.12ppmを超えた時間数は1時間あった。

なお、1時間値の年平均値は0.024ppmで、昨年より高い結果であった。

最高値は6月22日午後4時の0.125ppmであった。

(表-1)

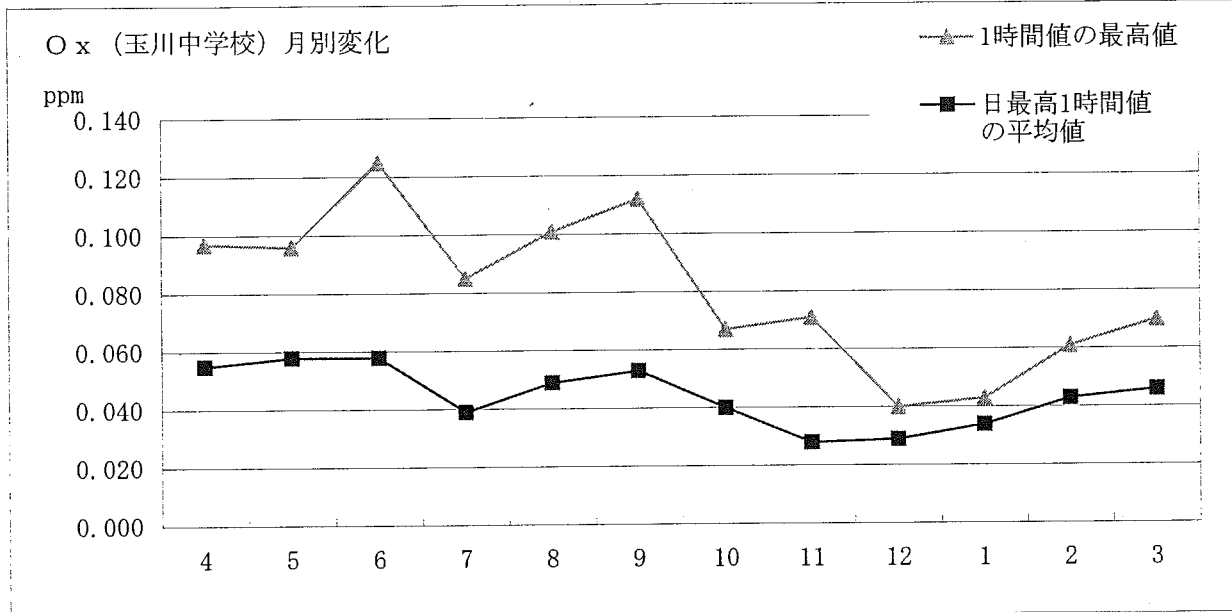
測定場所	玉川中学校
有効測定日数	366日
測定時間数	8717時間
日最高1時間値の年平均値	0.044ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間とその割合	65日(17.8%)、307時間(3.5%)
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間とその割合	1日(0.3%)、1時間(0.0%)
1時間値の年平均値	0.024ppm

オキシダント測定結果 (玉川中学校)

(表-2)

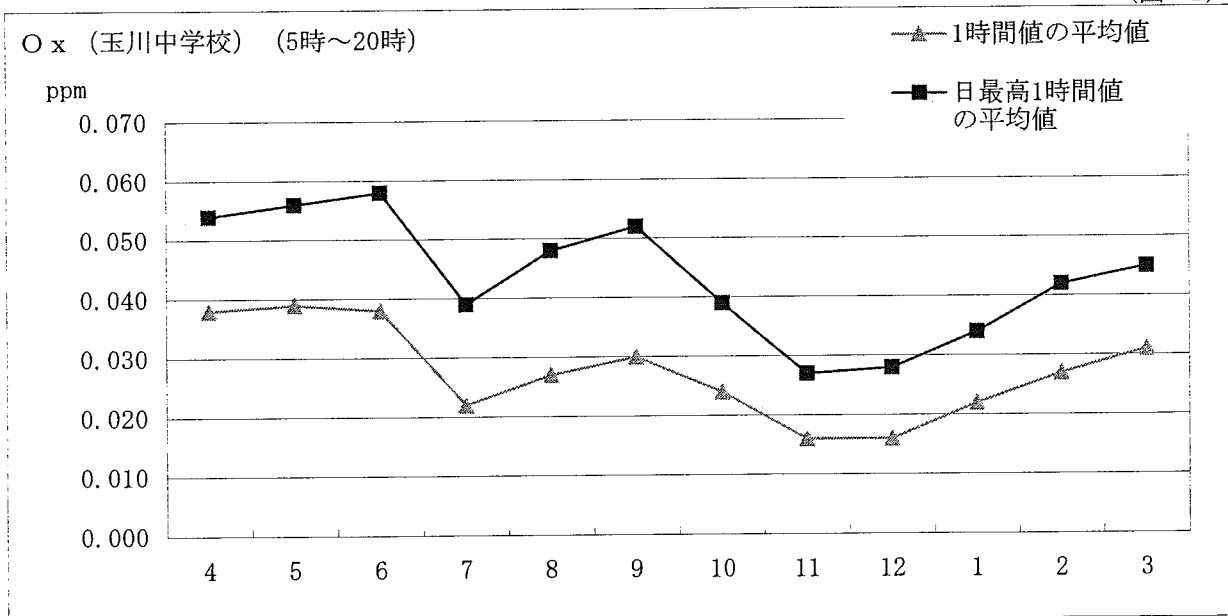
項目	月												全期間
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1時間値の平均値	0.035	0.035	0.032	0.018	0.022	0.025	0.022	0.014	0.015	0.02	0.025	0.029	0.024
1時間値の最高値	0.097	0.096	0.125	0.085	0.101	0.112	0.067	0.071	0.04	0.043	0.061	0.07	0.125
全測定時間	715	739	715	735	740	716	737	714	740	740	692	734	8717
0.06ppmを超える測定時間数	30	60	85	23	36	50	4	3	0	0	1	15	307
割合 (%)	4.2	8.1	11.9	3.1	4.9	7	0.5	0.4	0	0	0.1	2	3.5
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
昼間(5時～20時)の時間数	445	460	445	456	461	446	458	444	461	461	431	455	5423
0.06ppmを超える測定時間数	30	59	78	23	34	46	4	3	0	0	1	15	293
割合 (%)	6.7	12.8	17.5	5	7.4	10.3	0.9	0.7	0	0	0.2	3.3	5.4
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(図-1)



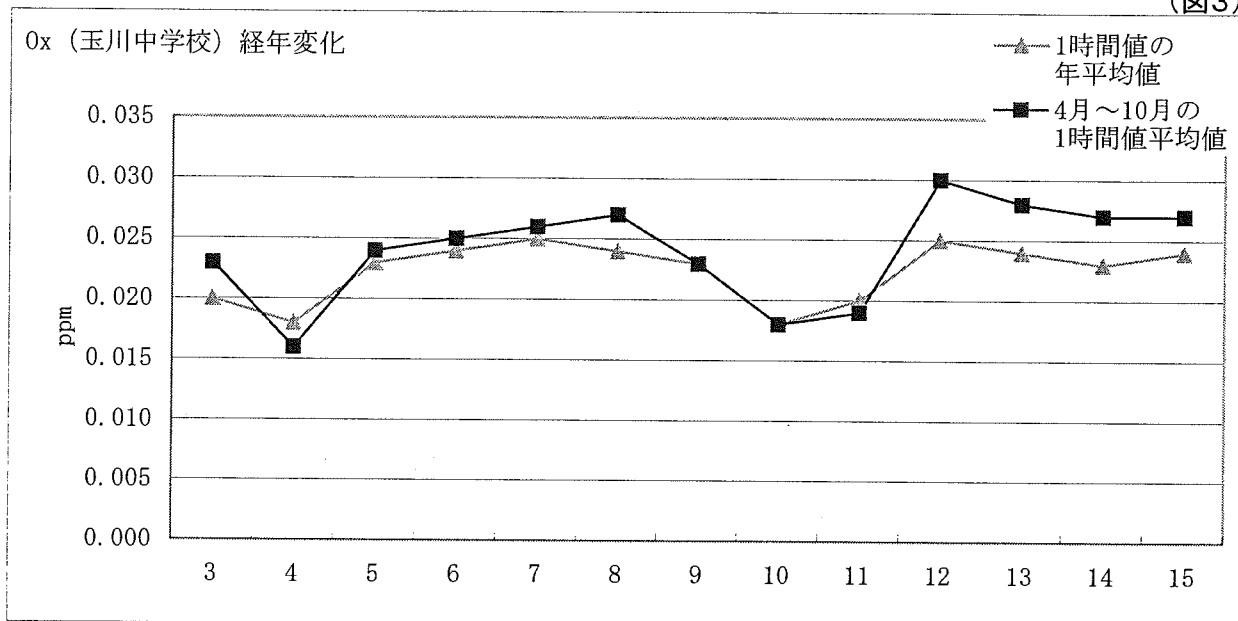
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.097	0.096	0.125	0.085	0.101	0.112	0.067	0.071	0.040	0.043	0.061	0.070
日最高1時間値の平均値	0.055	0.058	0.058	0.039	0.049	0.053	0.040	0.028	0.029	0.034	0.043	0.046

(図-2)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の平均値	0.038	0.039	0.038	0.022	0.027	0.030	0.024	0.016	0.016	0.022	0.027	0.031
日最高1時間値の平均値	0.054	0.056	0.058	0.039	0.048	0.052	0.039	0.027	0.028	0.034	0.042	0.045

(図3)



単位ppm (表3)

年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1時間値の年平均値	0.020	0.018	0.023	0.024	0.025	0.024	0.023	0.018	0.020	0.025	0.024	0.023	0.024
4月～10月の1時間値平均	0.023	0.016	0.024	0.025	0.026	0.027	0.023	0.018	0.019	0.030	0.028	0.027	0.027

②北小学校におけるオキシダント濃度調査

調査期間 平成15年4月1日～平成16年3月31日

調査場所 厚木市山際658番地 市立北小学校

測定方法 島津製作所製UVAD-1000Aによる乾式方法で測定した。この測定局は、昭和54年9月から湿式による測定を開始し、平成12年2月から乾式の測定機器による方法に切替えた。

調査結果 15年度のオキシダント濃度を環境基準と比較すると、表-4に示すように0.06ppmを超えた時間数は205時間あった。全測定時間数8694時間に対する割合は2.4%で、昨年度の3.6%と比べ減少した。1時間値が0.06ppmを超えた日数は46日あり、昨年度の55日と比べ減少した。

また、注意報発令基準の0.12ppmを超えた日は1日あり、1時間値が0.12ppmを超えた時間数は1時間あった。

1時間値の年平均値は0.016ppmと昨年と同じ濃度であった。

最高値は6月22日午後4時の0.126ppmであった。

(表-4)

測定場所	北小学校
有効測定日数	362日
測定時間数	8694時間
日最高1時間値の年平均値	0.037ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間とその割合	46日(12.7%)、205時間(2.4%)
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間とその割合	1日(0.3%)、1時間(0.0%)
1時間値の年平均値	0.016ppm

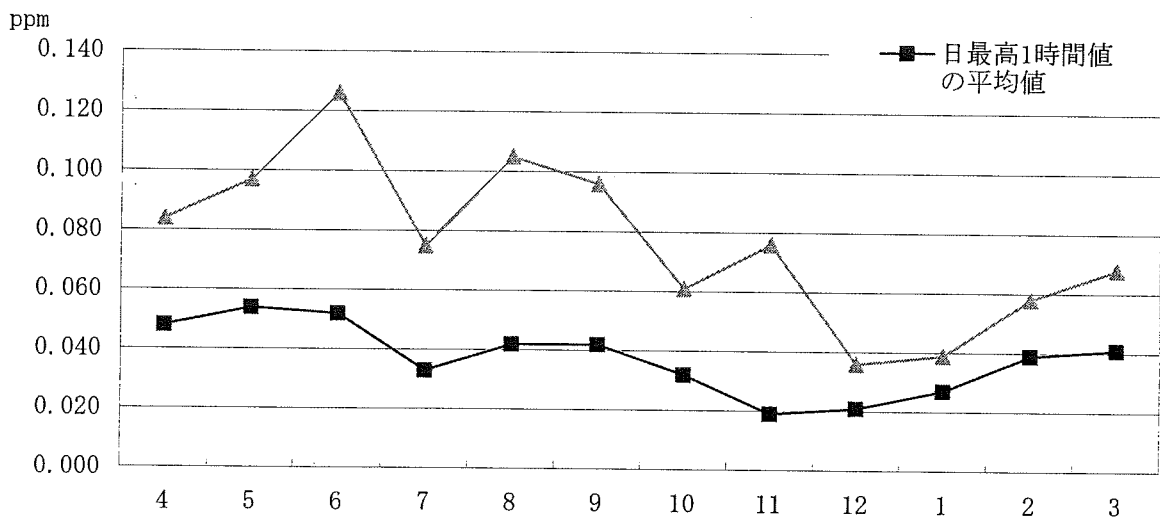
オキシダント測定結果(北小学校)

(表-5)

項目	月												全期間
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1時間値の平均値	0.026	0.028	0.025	0.013	0.016	0.017	0.011	0.006	0.007	0.011	0.016	0.020	0.016
1時間値の最高値	0.084	0.097	0.126	0.075	0.105	0.096	0.061	0.076	0.036	0.039	0.058	0.068	0.126
全測定時間	711	739	715	737	740	716	737	698	740	740	686	735	8694
0.06ppmを超える測定時間数	16	54	59	15	20	28	1	4	0	0	0	8	205
割合(%)	2.3	7.3	8.3	2	2.7	3.9	0.1	0.6	0	0	0	1.1	2.4
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
昼間(5時～20時)の時間数	441	460	445	458	461	446	458	437	461	461	425	456	5409
0.06ppmを超える測定時間数	16	54	58	15	20	28	1	4	0	0	0	8	204
割合(%)	3.6	11.7	13.0	3.3	4.3	6.3	0.2	0.9	0	0	0	1.8	3.8
0.12ppmを超える測定時間数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

(図-4)

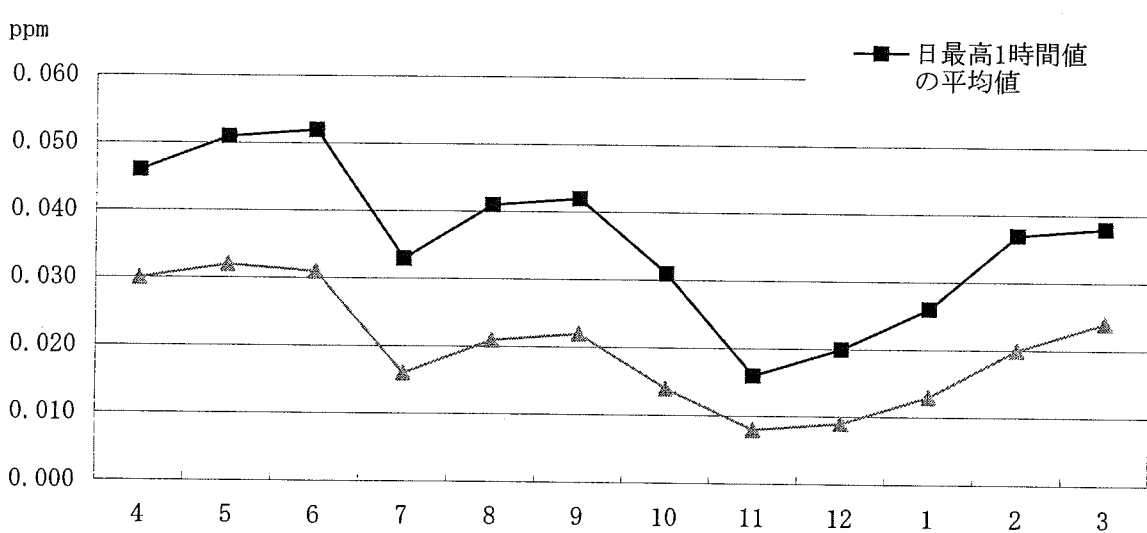
Ox (北小学校) 月別変化



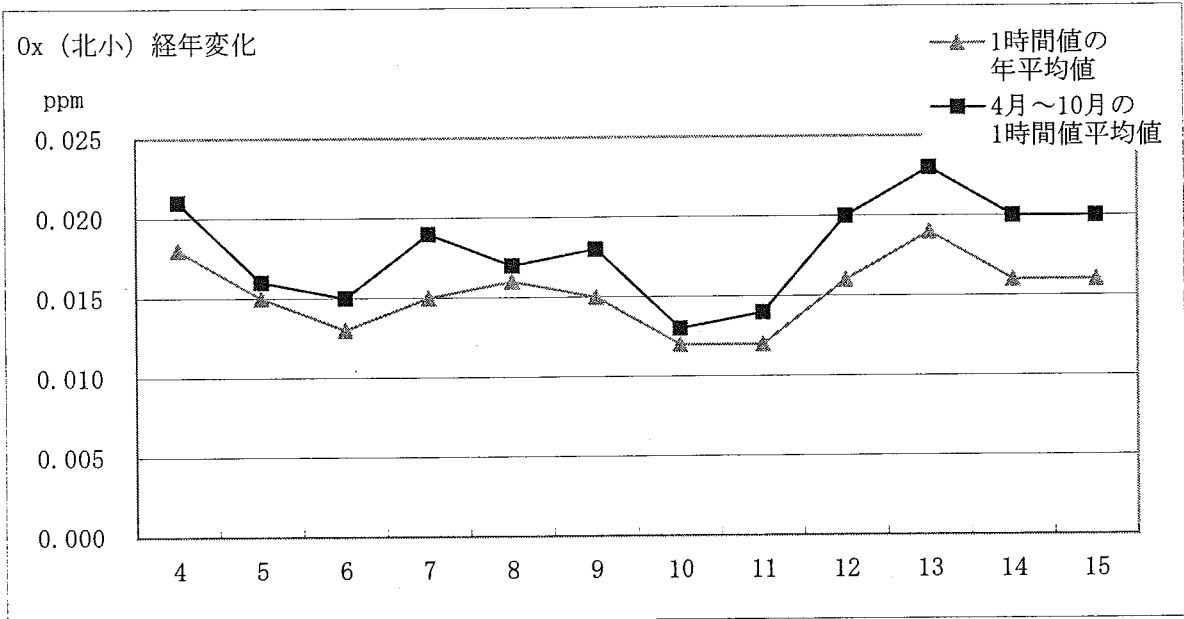
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.084	0.097	0.126	0.075	0.105	0.096	0.061	0.076	0.036	0.039	0.058	0.068
日最高1時間値の平均値	0.048	0.054	0.052	0.033	0.042	0.042	0.032	0.019	0.021	0.027	0.039	0.041

(図-5)

Ox (北小学校) (5時~20時)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の平均値	0.030	0.032	0.031	0.016	0.021	0.022	0.014	0.008	0.009	0.013	0.020	0.024
日最高1時間値の平均値	0.046	0.051	0.052	0.033	0.041	0.042	0.031	0.016	0.020	0.026	0.037	0.038



単位ppm (表-6)

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1時間値の年平均値	0.018	0.015	0.013	0.015	0.016	0.015	0.012	0.012	0.016	0.019	0.016	0.016
4月～10月の1時間値平均	0.021	0.016	0.015	0.019	0.017	0.018	0.013	0.014	0.020	0.023	0.020	0.020

③上荻野小学校におけるオキシダント濃度調査

調査期間 平成15年4月1日～平成16年3月31日
 調査場所 厚木市上荻野1429番地 市立上荻野小学校
 測定方法 電気化学計器製GXH-72M型全オキシダント自動測定機を使用し、中性ヨウ化カリウム反応液による吸光光度法にて測定。
 調査結果 この測定局は、昭和54年9月から測定を開始し、平成2年5月に機器を更新して、現在に至っている。

15年度のオキシダント濃度を環境基準と比較すると、表-7に示すように0.06ppmを超えた時間数が190時間あった。全測定時間数8299時間に対する割合は2.3%で、昨年度の1.8%と比べやや増加した。1時間値が0.06ppmを超えた日数は32日あり、昨年度の37日と比べて減少した。

また、注意報発令基準の0.12ppmを超えた日は1日あり、1時間値が0.12ppmを超えた時間数は3時間あった。

1時間値の年平均値は0.019ppmと昨年の0.20ppmと比べ若干減少した。

最高値は4月18日午後3時の0.124ppmであった。

(表-7)

測定場所	上荻野小学校
有効測定日数	362日
測定時間数	8299時間
日最高1時間値の年平均値	0.033ppm
1時間値が0.06ppmを超えた日数及び時間とその割合	32日(8.8%)、190時間(2.3%)
1時間値が0.12ppmを超えた日数及び時間とその割合	1日(0.3%)、3時間(0.0%)
1時間値の年平均値	0.019ppm

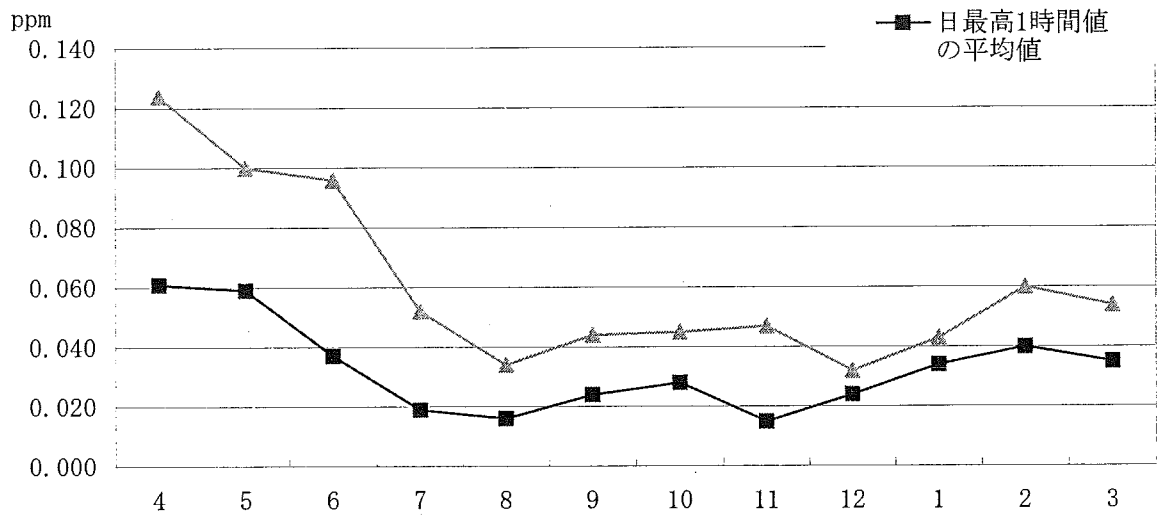
オキシダント測定結果(上荻野小学校)

(表-8)

項目	月												全期間
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1時間値の平均値	0.038	0.037	0.021	0.009	0.007	0.012	0.015	0.008	0.014	0.022	0.026	0.024	0.019
1時間値の最高値	0.124	0.1	0.096	0.052	0.034	0.044	0.045	0.047	0.032	0.043	0.06	0.054	0.124
全測定時間	680	705	682	705	692	681	701	682	706	703	659	703	8299
0.06ppmを超える測定時間数	79	83	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	190
割合(%)	11.6	11.8	4.1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2.3
0.12ppmを超える測定時間数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
昼間(5時～20時)の時間数	440	457	442	457	448	441	453	442	458	455	427	455	5375
0.06ppmを超える測定時間数	72	76	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	176
割合(%)	16.4	16.6	6.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.3
0.12ppmを超える測定時間数	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

(図-6)

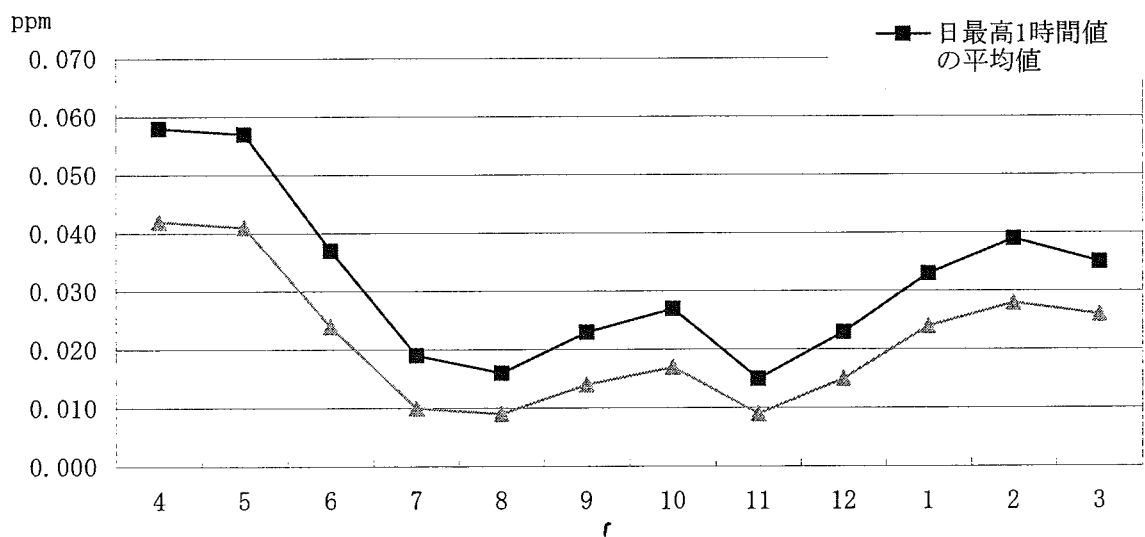
Ox (上荻野小学校) 月別変化



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.124	0.100	0.096	0.052	0.034	0.044	0.045	0.047	0.032	0.043	0.060	0.054
日最高1時間値の平均値	0.061	0.059	0.037	0.019	0.016	0.024	0.028	0.015	0.024	0.034	0.040	0.035

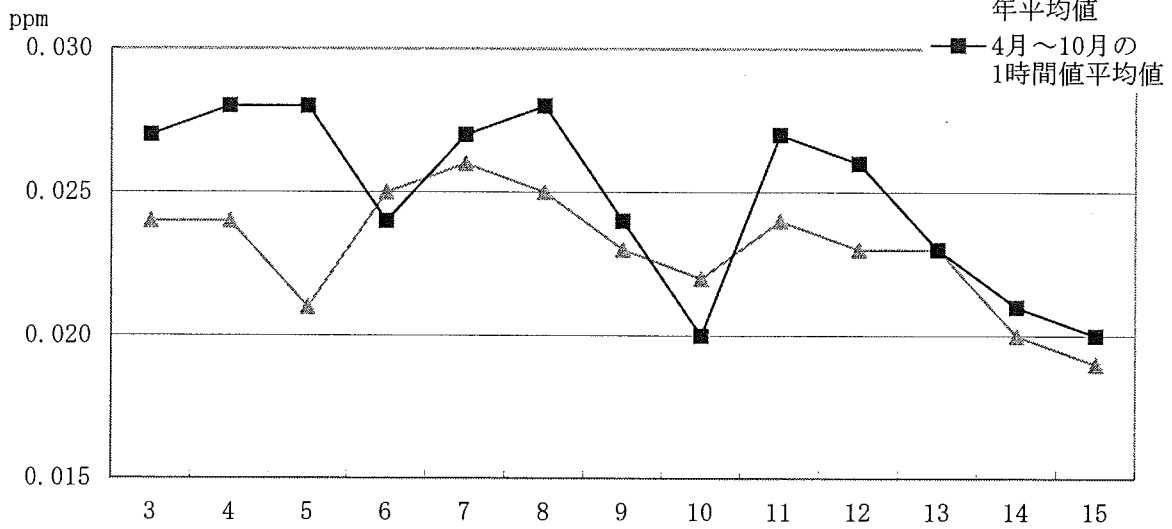
(図-7)

Ox (上荻野小学校) (5時~20時)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の平均値	0.042	0.041	0.024	0.010	0.009	0.014	0.017	0.009	0.015	0.024	0.028	0.026
日最高1時間値の平均値	0.058	0.057	0.037	0.019	0.016	0.023	0.027	0.015	0.023	0.033	0.039	0.035

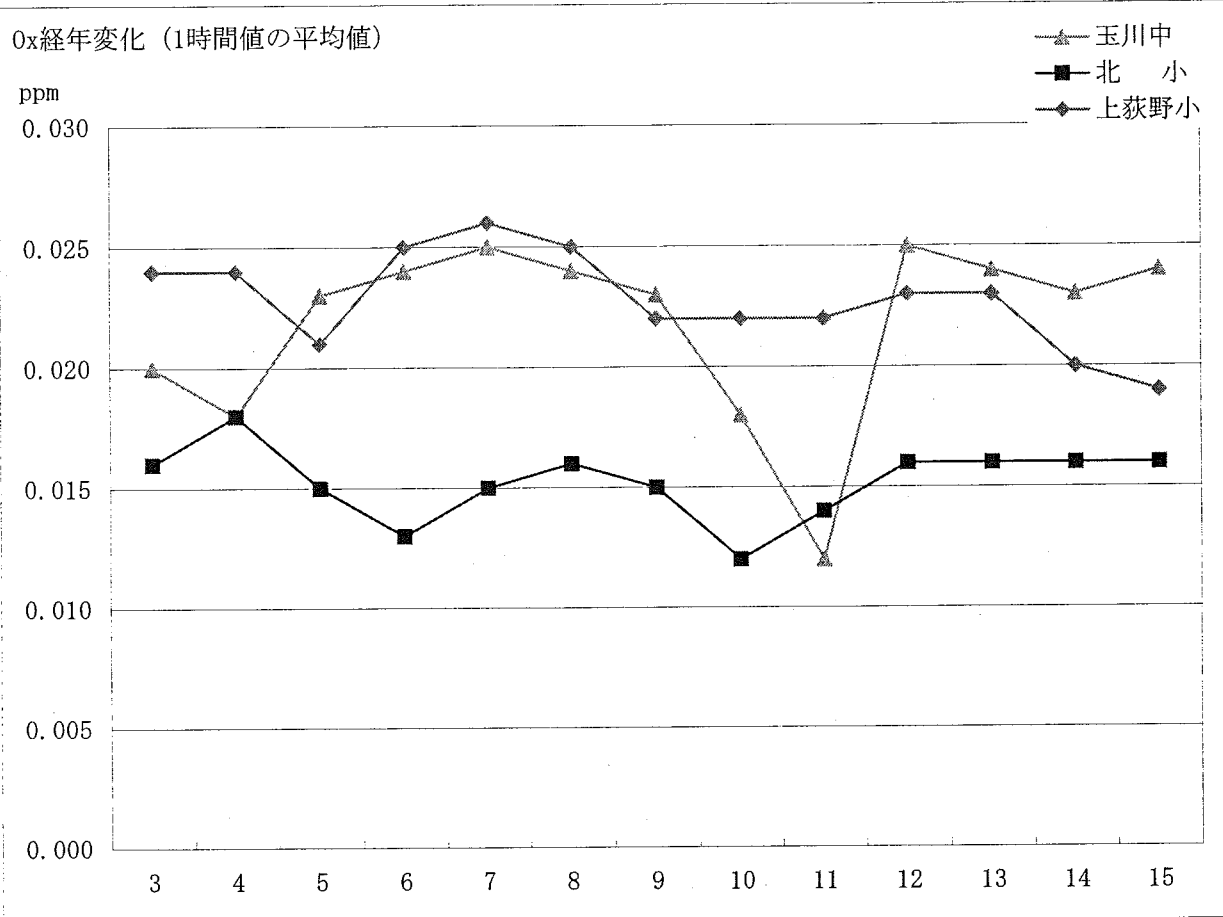
Ox (上荻野小) 経年変化



単位ppm (表-9)

年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
1時間値の年平均値	0.024	0.024	0.021	0.025	0.026	0.025	0.023	0.022	0.024	0.023	0.023	0.020	0.019
4月～10月の1時間値平均	0.027	0.028	0.028	0.024	0.027	0.028	0.024	0.020	0.027	0.026	0.023	0.021	0.020

(図-8)



年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
玉川中	0.020	0.018	0.023	0.024	0.025	0.024	0.023	0.018	0.012	0.025	0.024	0.023	0.024
北 小	0.016	0.018	0.015	0.013	0.015	0.016	0.015	0.012	0.014	0.016	0.016	0.016	0.016
上萩野小	0.024	0.024	0.021	0.025	0.026	0.025	0.022	0.022	0.022	0.023	0.023	0.020	0.019

測定局名		測定月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
玉川 中学校	1時間値の最高値	0.097	0.096	0.125	0.085	0.101	0.112	0.067	0.071	0.040	0.043	0.061	0.070	0.125	
	1時間値の平均値	0.035	0.035	0.032	0.018	0.022	0.025	0.022	0.014	0.015	0.020	0.025	0.029	0.024	
	日最高1時間値の平均値	0.055	0.058	0.058	0.039	0.049	0.053	0.040	0.028	0.029	0.034	0.043	0.046	0.044	
	環境基準を超えた日数	8	11	12	6	8	11	2	1	0	0	1	5	65	
上荻野 小学校	1時間値の最高値	0.124	0.100	0.096	0.052	0.034	0.044	0.045	0.047	0.032	0.043	0.060	0.054	0.124	
	1時間値の平均値	0.038	0.037	0.021	0.009	0.007	0.012	0.015	0.008	0.014	0.022	0.026	0.024	0.019	
	日最高1時間値の平均値	0.061	0.059	0.037	0.019	0.016	0.024	0.028	0.015	0.024	0.034	0.040	0.035	0.033	
	環境基準を超えた日数	14	13	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	
北 小学校	1時間値の最高値	0.084	0.097	0.126	0.075	0.105	0.096	0.061	0.076	0.036	0.039	0.058	0.068	0.126	
	1時間値の平均値	0.026	0.028	0.025	0.013	0.016	0.017	0.011	0.006	0.007	0.011	0.016	0.020	0.016	
	日最高1時間値の平均値	0.048	0.054	0.052	0.033	0.042	0.042	0.032	0.019	0.021	0.027	0.039	0.041	0.037	
	環境基準を超えた日数	4	11	9	5	4	8	1	1	0	0	0	3	46	

(4) 市の自動測定機による窒素酸化物濃度調査

①不燃物処理場跡地における窒素酸化物濃度調査

調査期間 平成15年4月1日～平成16年3月31日

調査場所 厚木市船子262番地 厚木市不燃物処理場跡地

測定方法 島津製作所製CLAD-1000Aによる乾式測定方法で測定した。

この測定局は、昭和55年9月から湿式による測定を開始し、平成12年2月から乾式の測定機器による方法に切替えた。

測定結果 15年度の測定結果は表-1に示すように、98%値評価による日平均値が0.06ppmを超えた日数は2日であり、昨年より5日減少した。

また、1時間値の年平均値は0.037ppmであり、環境基準の0.4ppm～0.6ppmのゾーンを下回った。

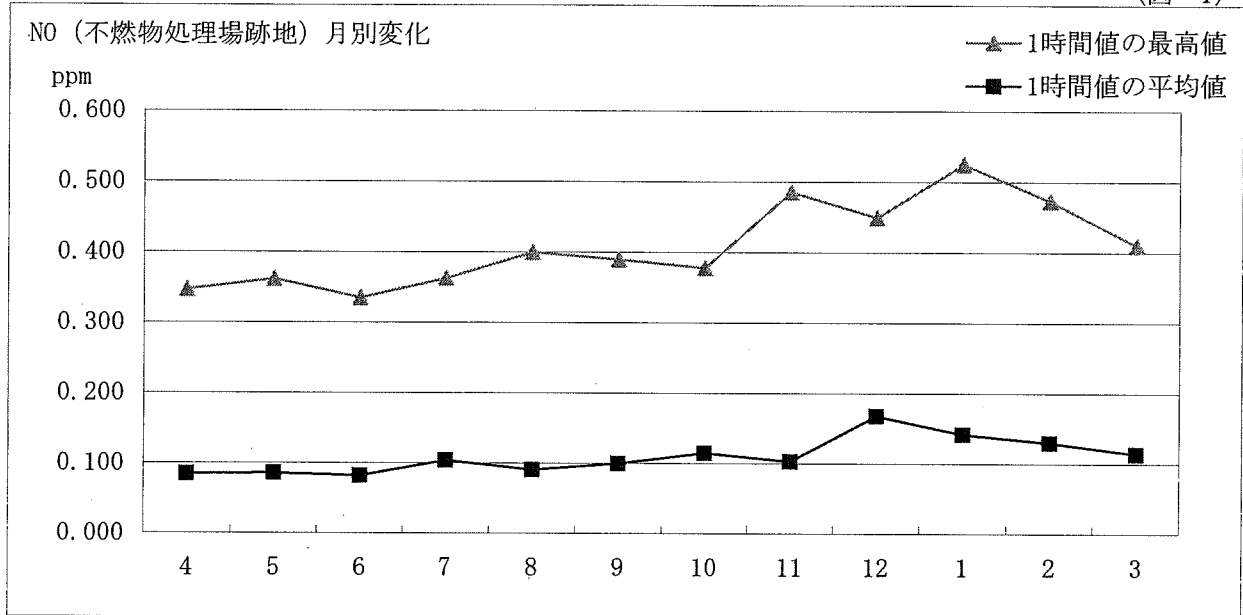
一酸化窒素については環境基準の設定がないが、15年度の1時間値の年平均値は0.108 ppmであり、昨年度と比べわずかに減少した。

二酸化窒素測定結果（不燃物処理場跡地）

(表-1)

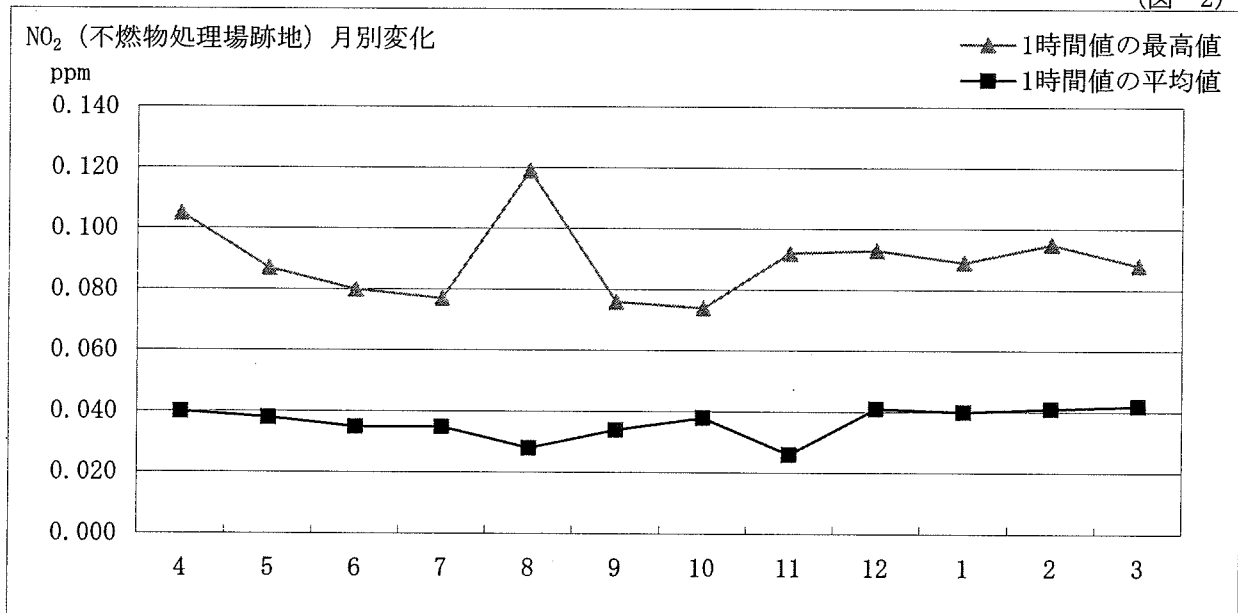
項目 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
1時間値の平均値	0.04	0.038	0.035	0.035	0.028	0.034	0.038	0.026	0.041	0.04	0.041	0.042	0.036
1時間値の最高値	0.105	0.087	0.08	0.077	0.119	0.076	0.074	0.092	0.093	0.089	0.095	0.088	0.119
日平均値の98%値	0.06	0.056	0.05	0.048	0.044	0.051	0.048	0.046	0.055	0.053	0.055	0.056	0.056
全測定日数	30	31	30	31	31	30	29	28	21	31	29	28	349
全測定時間数	714	739	711	736	738	712	710	688	511	735	689	685	8368
日平均値0.06ppmを超えた日数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
割合 (%)	3.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.6	0.6

(図-1)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.347	0.362	0.335	0.363	0.400	0.390	0.378	0.486	0.450	0.525	0.473	0.410
1時間値の平均値	0.085	0.086	0.082	0.104	0.091	0.100	0.115	0.103	0.168	0.142	0.130	0.114

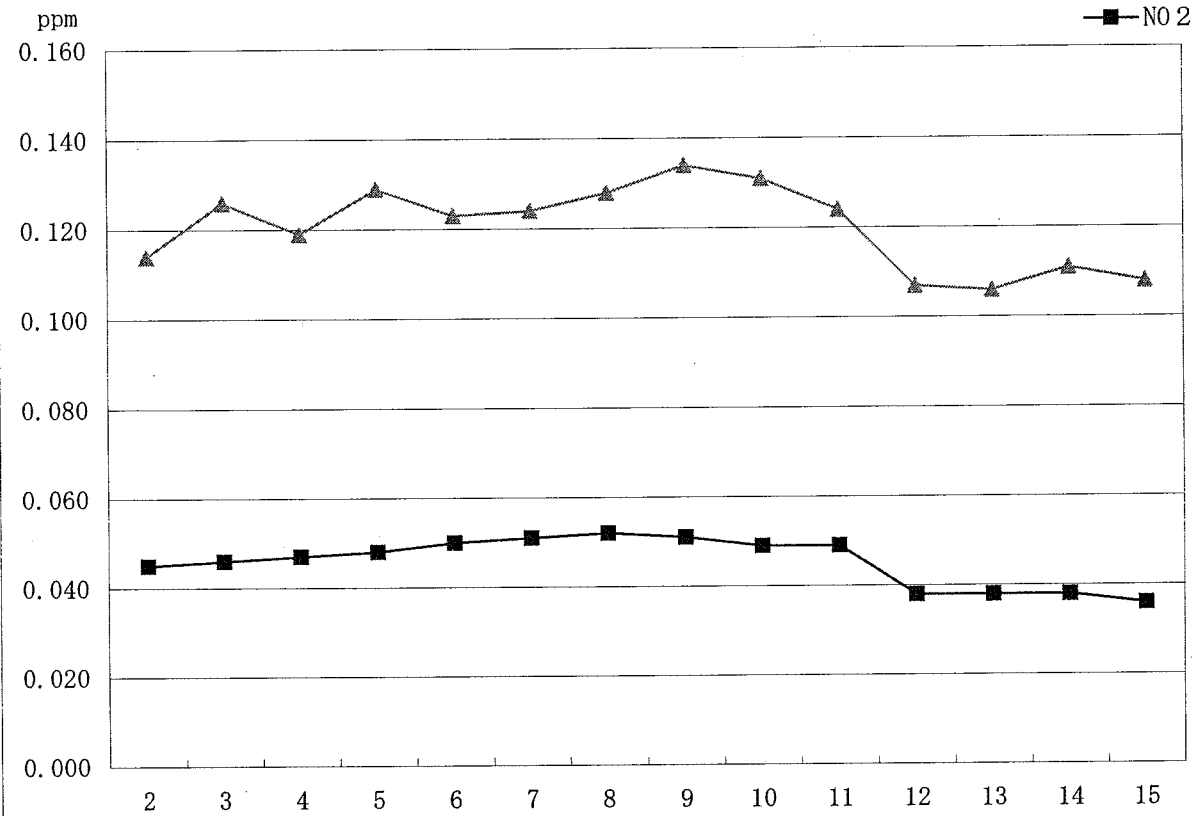
(図-2)



月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.105	0.087	0.080	0.077	0.119	0.076	0.074	0.092	0.093	0.089	0.095	0.088
1時間値の平均値	0.040	0.038	0.035	0.035	0.028	0.034	0.038	0.026	0.041	0.040	0.041	0.042

(図-3)

NOx (不燃物処理場) 経年変化 : 1時間値の年平均値



年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
NO	0.114	0.126	0.119	0.129	0.123	0.124	0.128	0.134	0.131	0.124	0.107	0.106	0.111	0.108
NO ₂	0.045	0.046	0.047	0.048	0.050	0.051	0.052	0.051	0.049	0.049	0.038	0.038	0.038	0.036

②緑ヶ丘小学校における窒素酸化物濃度調査

調査期間 平成15年4月1日～平成16年3月31日

調査場所 厚木市緑ヶ丘4-1-1 市立緑ヶ丘小学校

測定方法 電気化学計器製GPH-74M-1型窒素酸化物自動測定機を使用し、ザルツマン試薬を用いる吸光光度法にて測定した。

この測定局は、昭和60年9月から測定を開始し、平成4年8月と平成15年3月に機器の更新を行い、現在に至っている。

測定結果 15年度の測定結果は表-2に示すように、98%値評価による日平均値が0.06ppmを超える日数は1日もなく、昨年と同様、環境基準を満足する状況であった。また、1時間値の年平均値は0.018ppmであり、昨年に比べ若干減少した。

一酸化窒素については環境基準の設定がないが、15年度の1時間値の年平均値は0.006ppmであり、昨年より減少した。

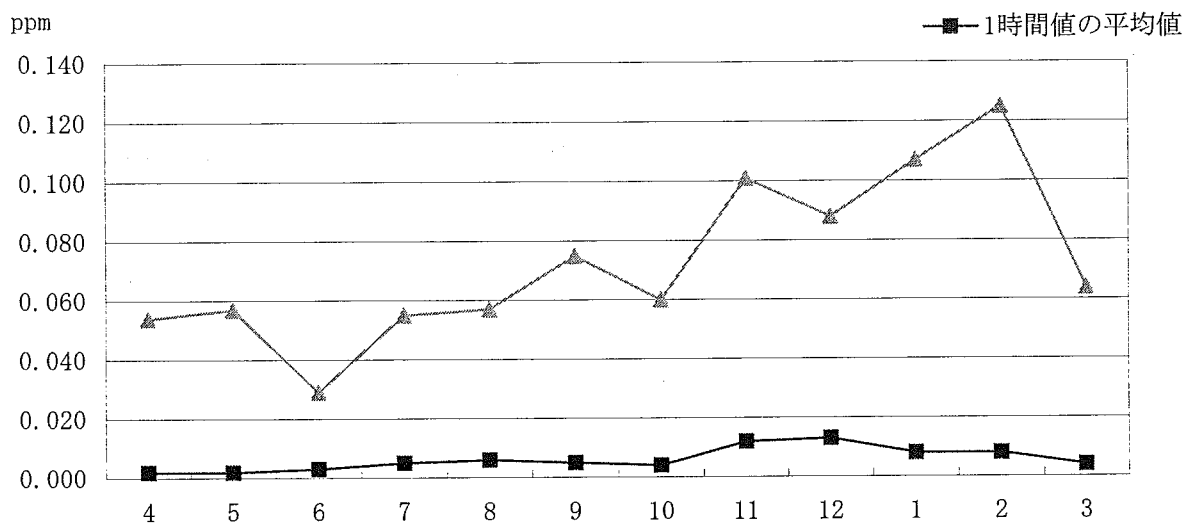
二酸化窒素測定結果（緑ヶ丘小学校）

（表-2）

月 項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	全期間
1時間値の平均値	0.017	0.015	0.016	0.020	0.015	0.016	0.014	0.022	0.021	0.020	0.020	0.019	0.018
1時間値の最高値	0.065	0.062	0.047	0.058	0.067	0.053	0.057	0.090	0.050	0.059	0.061	0.066	0.090
日平均値の98%値	0.031	0.027	0.030	0.029	0.030	0.028	0.025	0.035	0.029	0.032	0.027	0.029	0.033
全測定日数	30	31	30	31	31	30	31	30	30	31	29	29	363
全測定時間数	705	735	710	732	733	712	733	710	722	734	686	708	8620
日平均値0.06ppmを超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
割合 (%)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

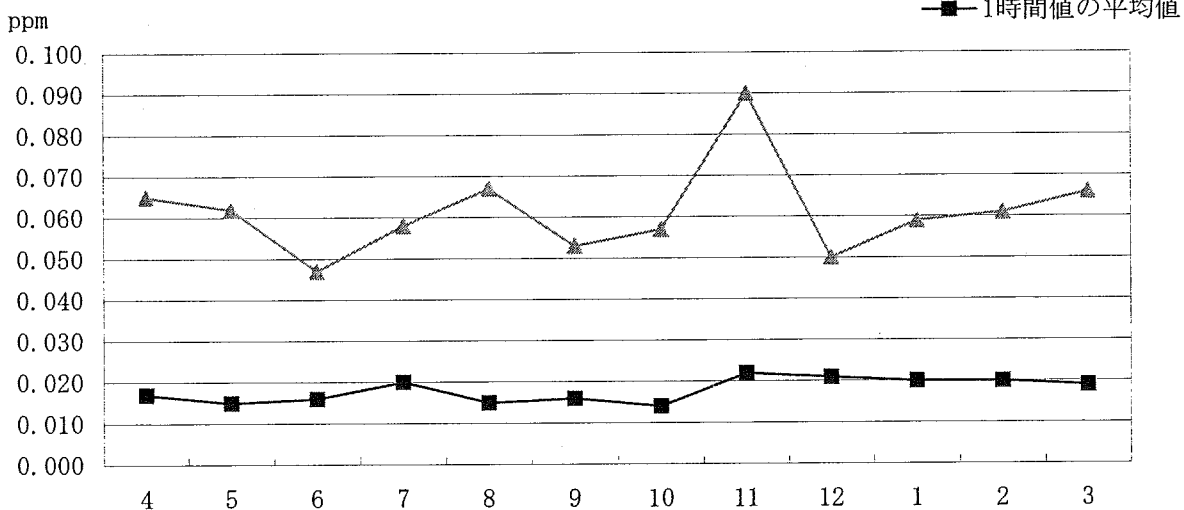
(図-4)

NO (緑ヶ丘小学校) 月別変化



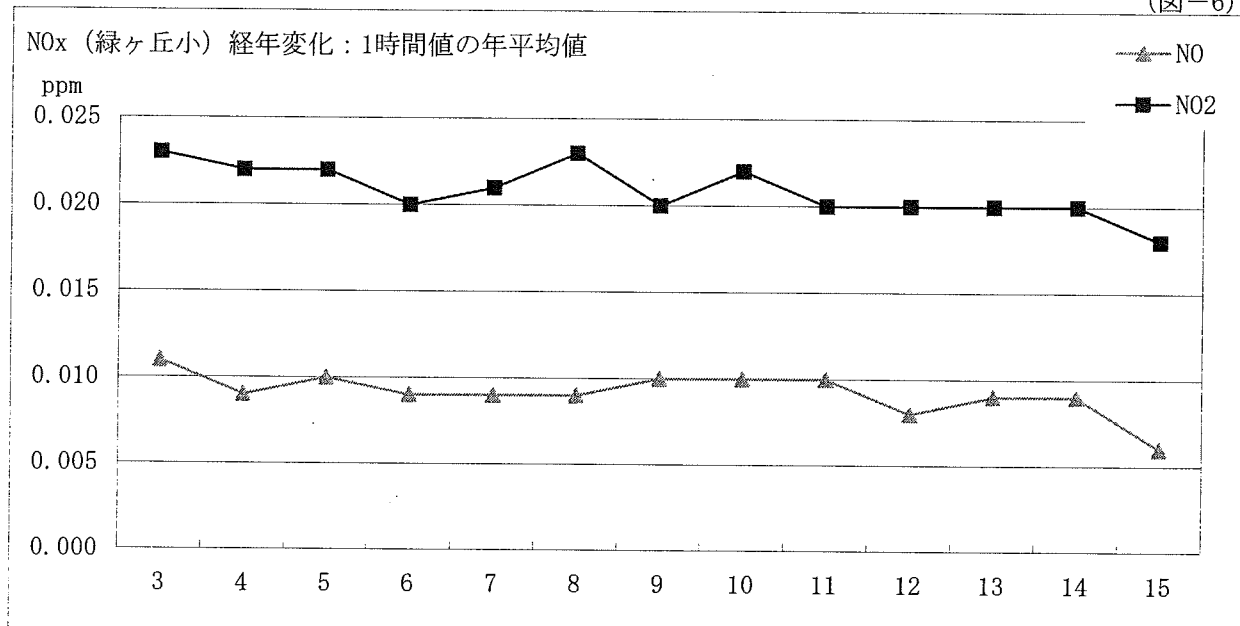
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.054	0.057	0.029	0.055	0.057	0.075	0.060	0.101	0.088	0.107	0.125	0.064
1時間値の平均値	0.002	0.002	0.003	0.005	0.006	0.005	0.004	0.012	0.013	0.008	0.008	0.004

(図-5)

NO₂ (緑ヶ丘小学校) 月別変化

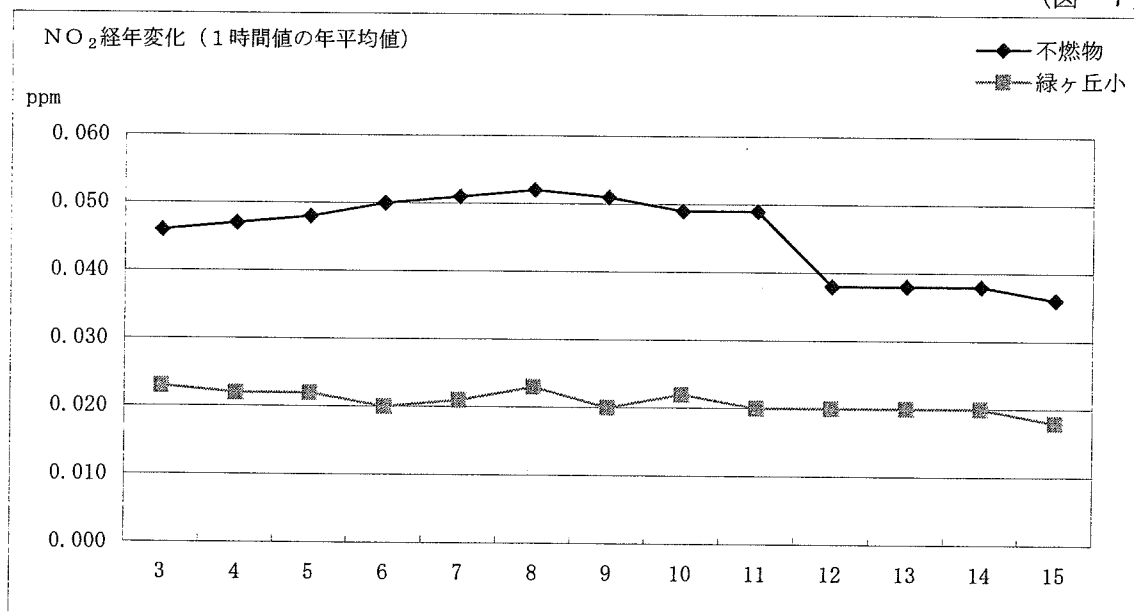
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1時間値の最高値	0.065	0.062	0.047	0.058	0.067	0.053	0.057	0.090	0.050	0.059	0.061	0.066
1時間値の平均値	0.017	0.015	0.016	0.020	0.015	0.016	0.014	0.022	0.021	0.020	0.020	0.019

(図-6)



年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
NO	0.010	0.011	0.009	0.010	0.009	0.009	0.009	0.010	0.010	0.010	0.008	0.009	0.009	0.006
NO ₂	0.022	0.023	0.022	0.022	0.020	0.021	0.023	0.020	0.022	0.020	0.020	0.020	0.020	0.018

(図-7)



年度	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
不燃物	0.045	0.046	0.047	0.048	0.050	0.051	0.052	0.051	0.049	0.049	0.038	0.038	0.038	0.036
緑ヶ丘	0.022	0.023	0.022	0.022	0.020	0.021	0.023	0.020	0.022	0.020	0.020	0.020	0.020	0.018

自動測定機による窒素酸化物濃度測定結果 (二酸化窒素) (表-3)

測定局名		測定月												全期間
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
不燃物処理場跡地	1時間値の最高値	0.105	0.087	0.080	0.077	0.119	0.076	0.074	0.092	0.093	0.089	0.095	0.088	0.119
	1時間値の平均値	0.040	0.038	0.035	0.035	0.028	0.034	0.038	0.026	0.041	0.040	0.041	0.042	0.036
	日平均値の最高値	0.062	0.056	0.058	0.053	0.049	0.052	0.048	0.051	0.055	0.060	0.056	0.062	0.062
	日平均値 0.06ppm を超えた日数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
緑ヶ丘小学校	1時間値の最高値	0.065	0.062	0.047	0.058	0.067	0.053	0.057	0.090	0.050	0.059	0.061	0.066	0.090
	1時間値の平均値	0.017	0.015	0.016	0.020	0.015	0.016	0.014	0.022	0.021	0.020	0.020	0.019	0.018
	日平均値の最高値	0.041	0.032	0.032	0.031	0.032	0.033	0.028	0.039	0.033	0.032	0.028	0.029	0.041
	日平均値 0.06ppm を超えた日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 光化学スモッグ

昭和45年東京都に発生した光化学スモッグは、翌昭和46年、厚木市立玉川中学校の生徒にも被害が発生するなど、全国的に大きな社会問題となった。

工場や自動車の排ガスなどに含まれている窒素酸化物と、ガス状の炭化水素系物質が、太陽の紫外線のもとで光化学反応を起こして二次的産物である光化学オキシダントを生成し、これが光化学スモッグ原因となって目やのどに対する刺激や、植物が枯れる等の被害が発生すると言われている。

光化学スモッグの発生は気象条件に左右されやすく、次のような条件が重なる夏期は特に発生しやすい。

- ・天候が晴れで日射量が多い
- ・風速が3m/秒未満
- ・視界が悪く4~6km以下
- ・最高気温が25℃以上

光化学スモッグ緊急時の発令基準

(表-1)

予 報		注 意 報	警 報	重大緊急時警報
前 日 (午後5時)	当 日 (午前10時)	特 別 (随時)		
注意報の発令基準の程度に汚染するおそれがあると予測した時		1時間値0.12ppm以上である大気の汚染の状態になった時	1時間値0.24ppm以上である大気の汚染の状態になった時	1時間値0.4ppm以上である大気の汚染の状態になった時

①光化学スモッグ注意報発令状況

神奈川県では4月から10月までの7ヶ月間を光化学スモッグの発令期間としている。

平成15年度は県下に6回緊急時措置（注意報）が発令され、うち厚木市の属する県央地域には1回発令された。

県下における発令回数は、平成13年度以後減少傾向にある。

なお、平成4年度以降は、市内において被害者は出ていない。

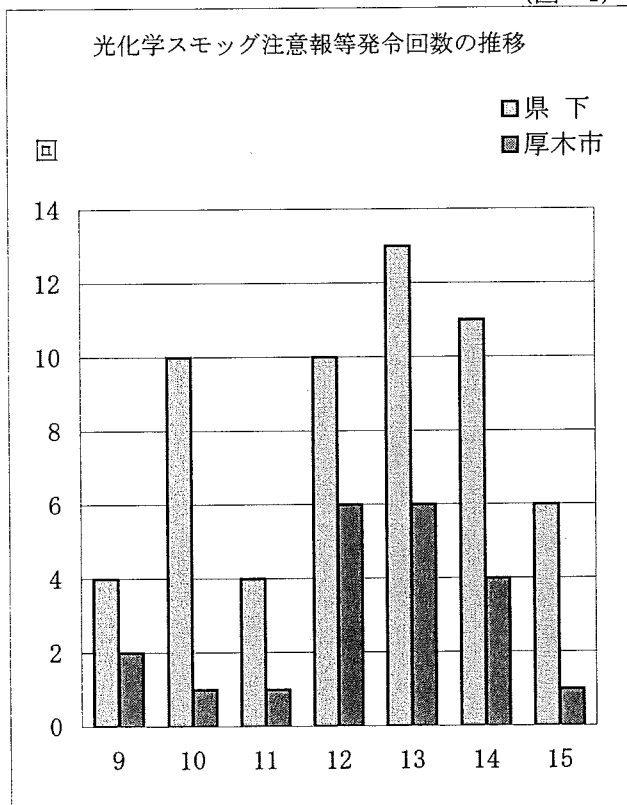
※ 県央地域とは、厚木市・相模原市・座間市・大和市・伊勢原市・秦野市・海老名市・綾瀬市・愛川町の区域を示す。

②平成15年度光化学スモッグ注意報発令状況（県央地域）

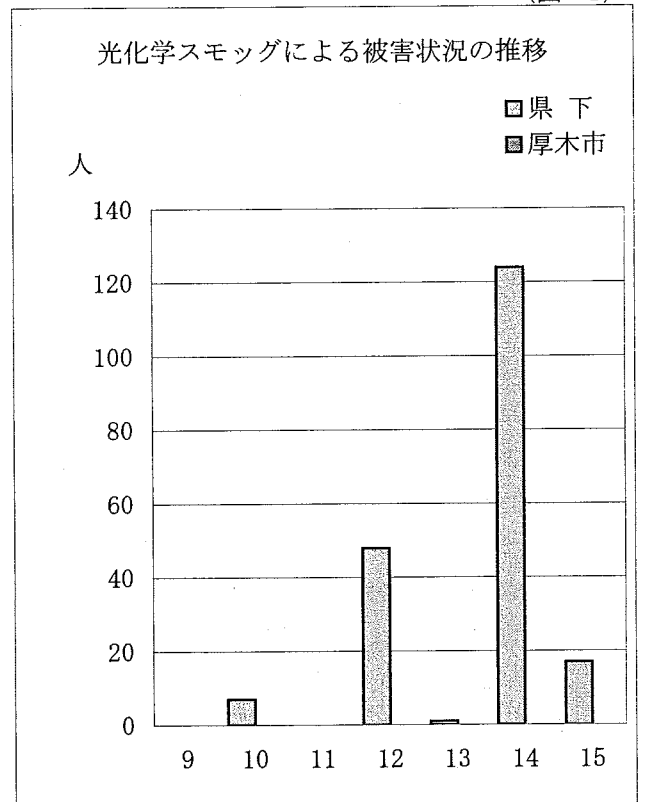
(表-2)

回数	発令日	発令時刻 ～解除時刻	発令場所	O x 最高濃度	
				(ppm)	時間
1	8月22日（金）	13:20～15:10	相模原市橋本	0.137	14:00

(図-1)



(図-2)



年度	9	10	11	12	13	14	15
県下	4	10	4	10	13	11	6
厚木市	2	1	1	6	6	4	1

年度	9	10	11	12	13	14	15
県下	0	7	0	48	1	124	17
厚木市	0	0	0	0	0	0	0

③光化学スモッグ対策

光化学スモッグによる被害防止のため、神奈川県では、昭和46年5月に「光化学公害緊急時の暫定措置要綱」を定め、緊急時の体制を整備するとともに、47年6月には「神奈川県大気汚染緊急時措置要綱」を制定施行した。厚木市においても、昭和46年7月に「厚木市光化学スモッグ公害対策実施要綱」を定めた。その後、更にこの体制を強化するため、昭和58年4月に全面改正を行ない、新たに「厚木市光化学スモッグ緊急時対策実施要綱」とし、県から注意報等の緊急措置が発令された際の被害防止の措置を定めている。

光化学スモッグによる被害防止対策として、県からの注意報発令等の情報を、次のような方法で周知している。

●防災行政無線による放送

市内267箇所に設置された、防災行政無線網を使用する。昭和57年度から運用。

●インターネットによる情報公開 (URL <http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/>)

厚木市のホームページ「マイタウンあつぎ情報システム」に光化学スモッグ注意報発令情報を掲載する。

●メールマガジンによる情報配信

あつぎメールマガジン（防災行政無線情報）で光化学スモッグ注意報発令情報を登録者に配信する。最新5件のバックナンバーは、厚木市のホームページから誰でも閲覧が可能。

●表示板の掲示

市内32箇所に「光化学スモッグ注意報発令中」等の表示板を掲出する。

掲出場所：市庁舎・第二庁舎、市消防本部、総合福祉センター、保健センター・パートナーセンター、市役所駅連絡所（本厚木駅・愛甲石田駅）、文化会館、七沢自然教室、中央図書館、市立公民館（15館）、荻野運動公園、市営グラウンド、市営玉川野球場、及川球技場、南毛利テニスコート、資源化センター、勤労福祉センター、市立病院

●神奈川県テレホンサービス（電話番号：0463-24-3322）

4月から10月までの期間、注意報発令情報等を自動音声により毎日提供している。

●報道機関に対する情報提供

注意報等が発令された場合に、神奈川県環境農政部大気水質課が行なう。

●小・中学校への周知

生活環境課から市教育委員会保健給食課を通じて周知する。なお、市内の高校へは、県大気水質課が緊急時連絡網によって周知する。

●保育園・保育所

生活環境課から児童福祉課を通じて周知する。

●幼稚園

生活環境課から周知する。

緊急時等の措置

(表-3)

予 報		注 意 報	警 報	重大緊急時 警 報
前 日	当日及び特別			
<p>1. ばい煙排出者に対し、</p> <p>(1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底し、不要不急の燃焼を中止すること</p> <p>(2) 翌日午前6時から通常燃料使用量の削減若しくは、同程度の措置、燃焼を伴わずに窒素酸化物が発生する作業の自粛及び炭化水素系物質を取り扱っている場合は、その排出防止に努めること</p> <p>について協力を要請する。</p> <p>2. 一般県民に対し</p> <p>(1) 自動車の使用の自粛</p> <p>(2) 学童、生徒の特に過激な運動の自粛</p> <p>について協力を要請する。</p>	<p>1. 主要ばい煙排出者に対し、ばい煙減少計画の注意報段階の措置を実施することについて協力を要請する。</p> <p>2. 1以外のばい煙排出者に対し、</p> <p>(1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底すること</p> <p>(2) 不要不急の燃焼を中止すること</p> <p>について協力を要請する。</p> <p>3. 一般県民に対し</p> <p>(1) 自動車の使用の自粛</p> <p>(2) 学童、生徒の特に過激な運動の自粛</p> <p>について協力を要請する。</p>	<p><第一種措置></p> <p>1. 主要ばい煙排出者に対し、</p> <p>(1) 原則として、通常燃料使用量の20%減若しくは、それと同程度の効果を有する措置をとること</p> <p>(2) 燃料の燃焼を伴わず、窒素酸化物が発生する施設の場合にあっては、その施設の作業を自粛すること</p> <p>(3) 炭化水素系物質を取り扱っている場合（貯蔵を含む。）は、その排出防止に努めることを勧告する。</p> <p>2. 1以外のばい煙排出者に対し、</p> <p>(1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底すること</p> <p>(2) 不要不急の燃焼を中止すること</p> <p>を勧告する。</p> <p>3. 自動車使用者に対し、必要に応じ発令地域を通過しないことを要請する。</p> <p>4. 一般県民に対し</p> <p>(1) 自動車の使用、外出の自粛</p> <p>(2) 学童、生徒の過激な運動の自粛</p> <p>を要請する。</p>	<p><第二種措置></p> <p>1. 主要ばい煙排出者に対し、</p> <p>(1) 原則として、通常燃料使用量の25%減若しくは、それと同程度の効果を有する措置をとること</p> <p>(2) 燃料の燃焼を伴わず、窒素酸化物が発生する施設の場合にあっては、その施設の作業を自粛すること</p> <p>(3) 炭化水素系物質を取り扱っている場合（貯蔵を含む。）は、その排出防止に努めることを勧告する。</p> <p>2. 1以外のばい煙排出者に対し、</p> <p>(1) ばい煙発生施設の燃焼管理を徹底すること</p> <p>(2) 不要不急の燃焼を中止すること</p> <p>を勧告する。</p> <p>3. 自動車使用者に対し、必要に応じ発令地域を通過しないことを要請する。</p> <p>4. 一般県民に対し</p> <p>(1) 自動車の使用、外出の自粛</p> <p>(2) 学童、生徒の過激な運動の中止</p> <p>を要請する。</p>	<p><第三種措置></p> <p>1. 主要ばい煙排出者に対し、</p> <p>(1) 原則として、通常燃料使用量の40%減若しくは、それと同程度の効果を有する措置をとることを命令する。</p> <p>(2) 燃料の燃焼を伴わず、窒素酸化物が発生する施設の場合にあっては、その施設の作業中止を勧告する。</p> <p>(3) 炭化水素系物質を取り扱っている場合（貯蔵を含む。）は、その作業の中止を勧告する。</p> <p>2. 必要に応じ公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとることを要請する。</p> <p>3. 一般県民に対し</p> <p>(1) 自動車の使用、外出の自粛</p> <p>(2) 学童、生徒の屋外運動の中止</p> <p>を要請する。</p>

(6) ダイオキシン類環境調査

物を燃やしたり、塩素を含む有機化合物を製造する過程等で、副生成物として自然に生成されてしまうダイオキシン類は、特に廃棄物の焼却施設から大気中に放出されるものが最大の要因とされている。

煙などと一緒に空気中に排出されたダイオキシンは、次第に地面に落ち、土砂とともに強い雨などにより河川や海に流出し、プランクトンから始まる食物連鎖を通じて、次第に魚介類の体内に蓄積されるものと考えられている。また、ダイオキシンが植物の葉に付着する場合があります、これらをえさとする動物の体の中にも取り込まれるものと考えられている。このような結果、ダイオキシンを含む食品を食べたり、ダイオキシンを含む空気を吸ったりすることにより人体に取込まれるものと考えられている。

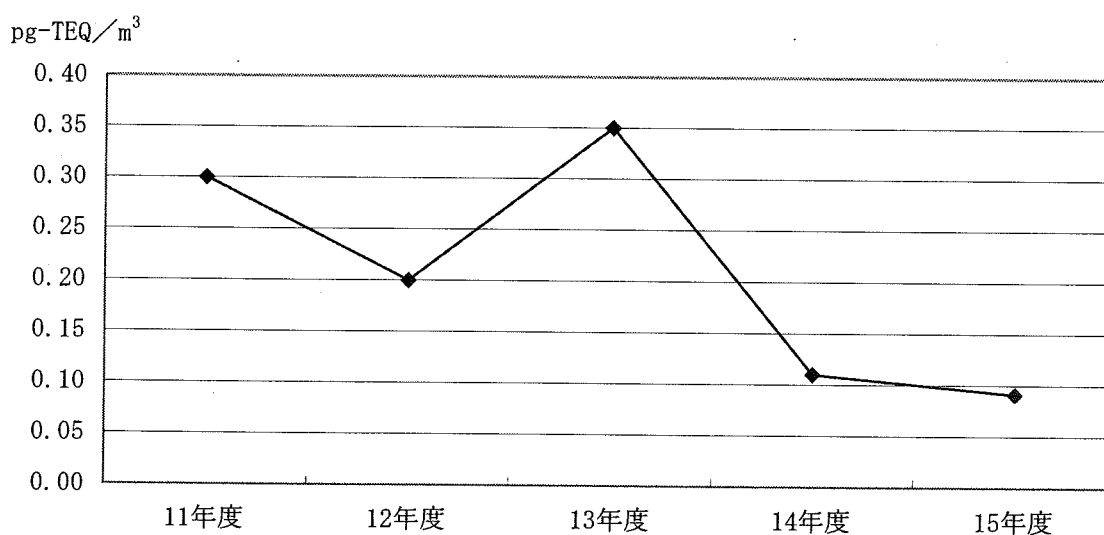
ダイオキシン類対策特別措置法は平成11年7月に制定され、大気、水質、土壤に係る環境基準が定められ、平成12年1月15日から基準が適用されることとなった。

市内における大気中のダイオキシン濃度は平成10年度から調査を開始し、表-1に示すように15年度の平均値は、 $0.091\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ であり、大気環境基準値 $0.60\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$ を下回る結果であった。

(表-1)

調査年度	調査場所	5月	8月	11月	2月	平均値
11年度	市庁舎屋上	0.39	0.17	0.55	0.10	0.30
12年度	市庁舎屋上	0.29	0.17	0.12	0.23	0.20
13年度	市庁舎屋上	0.14	0.15	0.75	0.35	0.35
14年度	市庁舎屋上	0.092	0.10	0.14	0.12	0.11
15年度	総合福祉センター	0.080	0.089	0.12	0.073	0.091

大気中のダイオキシン類（年平均値）経年変化



(7) 有害大気汚染モニタリング調査結果

有害大気汚染物質は、「継続的に摂取されると、人の健康を損なう恐れがある物質で大気汚染の原因となるもの」（大気汚染防止法第2条第9項）と定義されるもので、この有害大気汚染物質による健康被害の未然防止を目的として改正された大気汚染防止法が平成9年4月1日から施行されたことにより、平成9年度から調査が実施された。

平成15年度は一般環境調査地点11箇所、固定発生源周辺7箇所、沿道5箇所の合計23箇所の調査を神奈川県等が実施した。

厚木市は、総合福祉センター屋上が一般環境調査地点となっており、15年度は表-1に示すようにベンゼンを含め19物質の調査が年12回行われ、環境基準値の定められている4物質は基準を満足している結果であった。

なお、環境基準値の定めのない15物質については、県内他の調査場所とほぼ同じかやや上回る濃度であった。

単位… $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (表-1)

物質名	15年度結果	15年度県内平均	環境基準	14年度結果
ベンゼン	1.9	1.7	3	2.1
トリクロロエチレン	0.84	0.95	200	1.2
テトラクロロエチレン	0.53	0.61	200	0.68
ジクロロメタン	8.8	3.1	150	4.7
アクリロニトリル	0.11	0.081	—	0.069
塩化ビニルモノマー	0.028	0.027	—	0.048
クロロホルム	0.29	0.18	—	0.18
1,2-ジクロロエタン	0.084	0.065	—	0.085
1,3-ブタジエン	0.23	0.22	—	0.25
アセトアルデヒド	2.1	2.3	—	3.6
ホルムアルデヒド	5.3	2.8	—	4.7
水銀及びその化合物	0.0021	0.0022	—	2.3
ニッケル化合物	0.0064	0.0048	—	8.3
ヒ素及びその化合物	0.0014	0.0011	—	2.6
ベリリウム及びその化合物	0.000017	0.000021	—	0.052
マンガン及びその化合物	0.029	0.025	—	41
クロム及びその化合物	0.0081	0.0058	—	8.5
ベンゾ [a] ピレン	0.00024	0.00022	—	0.58
酸化エチレン	0.084	0.10	—	0.11

※重金属類および、ベンゾ [a] ピレンの単位は ng/m^3

14年度結果は市庁舎屋上

●有害大気汚染物質について

物質名	用途	毒性
ベンゼン	有機合成原料、絶縁油、染料・合成ゴム、スチレンモノマー等原料、溶剤	麻酔作用、造血機能障害 発ガン性
トリクロロエチレン	金属脱脂洗浄、各種溶剤、殺虫剤、羊毛脱脂洗浄	麻酔作用、神経障害
テトラクロロエチレン	脱脂洗浄剤、ドライクリーニング溶剤 香料、各種溶剤	めまい、頭痛、肝機能障害
ジクロロメタン	ペイントはく離剤、金属脱脂洗浄剤 冷媒、抽出溶剤	麻酔作用、めまい、吐き気
アクリロニトリル	アクリル系合成繊維、合成ゴム 合成樹脂原料、塗料	めまい、嘔吐、中枢神経系麻痺 腹痛、下痢、皮膚炎
塩化ビニルモノマー	ポリ塩化ビニル原料	麻酔作用、発ガン性
クロロホルム	フッ素系冷媒・樹脂原料、溶剤、有機合成原料、血液防腐剤、麻酔剤等	麻酔作用、肝機能障害、消化器障害
1,2-ジクロロエタン	塩化ビニルモノマー原料	肝・腎・副腎障害、中枢神経抑制作用、消化器障害
1,3-ブタジエン	合成ゴム原料、ABS樹脂原料 ナイロン66原料	頭痛、めまい、耳鳴り、意識障害
アセトアルデヒド	有機合成原料、防腐剤、写真現像溶液 燃料配合剤	結膜炎、気管支炎、肺浮腫 麻酔作用
ホルムアルデヒド	合成樹脂原料、界面活性剤、農薬 消毒剤、防腐剤、有機合成原料	皮膚炎、気管支炎、ぜん息様 症状
水銀及びその化合物	蛍光灯、体温計、触媒、医薬品 分析試薬	腎障害、中枢神経障害 催奇形性
ニッケル化合物	電気メッキ、電鍍、触媒 着色剤	金属熱、気管支炎、皮膚炎 発ガン性
ヒ素及びその化合物	高純度半導体、防腐剤、農薬 染料、原料、触媒	体重減少、悪心、皮膚の色素沈着、肝障害、発ガン性
ベリリウム及びその化合物	工業用製品原料 (X線窓、航空機部品等)	皮膚炎、結膜炎、気管支炎 ベリリウム肺、発ガン性
マンガン及びその化合物	乾電池、酸化剤、フェライト、マッチ 原料、ガラス着色剤、アンチロック剤	精神障害、呼吸器障害
六価クロム化合物	研磨剤、顔料、皮なめし剤 写真製版	発ガン性
ベンゾ〔a〕ピレン	非意図的の生成物質	発ガン性、変異原性
酸化エチレン (エチレンオキシド)	有機合成原料、界面活性剤 顔料、燻蒸、消毒、殺菌剤	催奇形性、変異原性 強い全身刺激性あり

用途については、PRTRパイロット事業中間報告－環境汚染物質排出・移動量集計結果－（環境庁環境保険部環境安全課、平成10年5月）から引用

毒性については、環境科学辞典（第1版、1985年（株）東京化学同人）及びPRTRパイロット事業中間報告－環境汚染物質排出・移動量集計結果－（環境庁環境保険部環境安全課、平成10年5月）等から引用

(8) 廃棄物焼却施設排煙調査結果

神奈川県生活環境の保全等に関する条例に排煙に関する規制基準が定められており、平成12年4月1日からばいじんの規制が強化されたことから市内7事業場のばいじん及び塩化水素の調査を実施した。

調査結果については、表-1に示すように、6事業場のうち2事業場が排出基準値を超えたため、改善の指導を行なった。

調査期間 平成16年1月26日から平成16年3月12日まで

調査事業場数 6社

施設の概要

事業所	所在地	施設及び能力
A	厚木市金田	廃棄物焼却炉 能力 3,000 kg/h
B	厚木市金田	廃棄物焼却炉 能力 860 kg/h
C	厚木市金田	廃棄物焼却炉 能力 190 kg/h
D	厚木市緑ヶ丘	廃棄物焼却炉 能力 120 kg/h
E	厚木市及川	廃棄物焼却炉 能力 1,250 kg/h
F	厚木市上古沢	廃棄物焼却炉 能力 170 kg/h

調査結果

(表-1)

事業所	ばいじん量 g/h	基準 g/h	塩化水素濃度 mg/Nm ³	基準 mg/Nm ³	調査年月日
A	2,200	3,295	41未満	700	H16.2.16
B	2,400	2,177	110未満		H16.2.20
C	190	703	45未満		H16.2.17
D	180	475	78未満		H16.2.23
E	710	1,393	46未満		H16.2.27
F	510	298	82未満		H16.3.1

3. 水質汚濁

(1) 概況

①水質規制の概況

昭和46年12月に水質汚濁に係る環境基準が制定され、現在までに「人の健康の保護に関する基準」26項目、「生活環境の保全に関する基準」5項目が定められている。

市内を北から南に流下する相模川は「生活環境の保全に関する基準」のA類型に指定されており、相模大堰や寒川取水堰で飲料水として取水され、内水面漁業なども行われているため、工場・事業所排水については厳しい規制を行なっている。

平成14年度には、厚木市が特例市になったことに伴い、これまで神奈川県が取扱っていた水質汚濁防止法に基づく事務権限が市に移譲され、従来の神奈川県生活環境の保全等に関する条例と併せて、市内事業所の監視・指導等を行なっている。

また、規制が緩やかな家庭排水の浄化対策として、市独自に補助金制度を設け、平成元年度から合併処理浄化槽の普及促進に努めるなど、水質浄化事業に取り組んでいる。

水質汚濁防止法の権限移譲に伴い、従前は県が実施していた相模川等4河川の水質調査が市の事務に組み込まれたため、毎月、一日2回の河川常時監視事業を実施している。

河川常時監視の結果、環境基準が設定されている相模川については「人の健康の保護に関する環境基準項目」は、すべて環境基準を満足していた。「生活環境の保全に関する環境基準項目」についても、大腸菌群数を除き基準を満足していた。

相模川以外の、環境基準が定められていない一級河川や準用河川、その他水路などについても市独自に14河川、24箇所調査を実施している。

工場・事業場の排水については、水質汚濁防止法や県生活環境の保全等に関する条例に基づき14社の調査を実施し、9社に基準を上回る結果が記録された。

②水質汚濁に係る環境基準

水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）のうち、人の健康の保護に関する環境基準は23項目定められていたが、平成11年2月22日付け、環境庁告示第14号により、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素、ふっ素、ほう素の3項目が追加された。その後、ダイオキシン類対策特別措置法が制定され平成12年1月15日からダイオキシン類についても環境基準が適用されることとなった。

人の健康の保護に関する基準（健康項目） (表-1)

項 目	基 準 値	項 目	基 準 値
カドミウム	0.01 mg/1以下	1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/1以下
全シアン	検出されないこと	トリクロロエチレン	0.03 mg/1以下
鉛	0.01 mg/1以下	テトラクロロエチレン	0.01 mg/1以下
六価クロム	0.05 mg/1以下	1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/1以下
砒素	0.01 mg/1以下	チウラム	0.006 mg/1以下
総水銀	0.0005 mg/1以下	シマジン	0.003 mg/1以下
アルキル水銀	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02 mg/1以下
PCB	検出されないこと	ベンゼン	0.01 mg/1以下
ジクロロメタン	0.02 mg/1以下	セレン	0.01 mg/1以下
四塩化炭素	0.002 mg/1以下	硝酸性窒素 及び	あわせて
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/1以下	亜硝酸性窒素	10 mg/1以下
1,1-ジクロロエチレン	0.02 mg/1以下	ふっ素	0.8 mg/1以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/1以下	ほう素	1 mg/1以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/1以下	ダイオキシン類	1 pg-TEQ/1以下

生活環境の保全に関する環境基準は、①河川、②湖沼、③海域の3種類について、9項目の基準値が定められており、その水域の利用目的の適応性別に類型が定められている。本市東側を流れる相模川は、表-2に示すように①河川のA類型に指定されている。

生活環境の保全に関する基準 相模川中流（城山ダムから寒川取水堰まで） (表-2)

類型	水素イオン濃度(pH)	生物化学的酸素要求量(BOD)	浮遊物質(SS)	溶存酸素量(DO)	大腸菌群数
A	6.5以上 8.5以下	2mg/1以下	25mg/1以下	7.5mg/1以上	1,000 MPN/100ml以下

※本市にかかわる水域に限定

河川水質調査採水地点図

(図-1)

採水地点		種類
No	採水箇所名	
1	相模川	常時監視
2	中津川	
3	小鮎川	
4	玉川	
5	中津川上流	市内河川水質調査
6	荻野川上流	
7	荻野川中流 1	
8	荻野川中流 2	
9	荻野川下流	
10	小鮎川上流	
11	小鮎川中流 1	
12	小鮎川中流 2	
13	恩曾川上流	
14	恩曾川中流 1	
15	恩曾川中流 2	
16	恩曾川下流	
17	玉川上流	
18	玉川中流 1	
19	玉川中流 2	
20	細田川	
21	尼寺排水路	
22	真弓川	
23	干無川	
24	善明川	
25	山際川	
26	境田川	
27	華巖排水路	
28	笠張川	



(2) 河川常時監視

平成14年度から、厚木市が水質汚濁防止法の権限事務を取扱うこととなったため、水質汚濁防止法第15条に基づき、相模川等4河川について毎月調査を実施した。

調査日（採水日） 平成15年4月から平成16年3月までの期間で、各月1回

採水場所

NO	調査箇所名	種類	場所名	流入河川名
1	相模川	一級河川	厚木市上依知字鬼ヶ谷2924番地東（昭和橋）	—
2	中津川	一級河川	厚木市妻田東1丁目5番4号東（第一鮎津橋）	相模川
3	小鮎川	一級河川	厚木市妻田東1丁目3番2号南（第二鮎津橋）	相模川
4	玉川	一級河川	厚木市酒井2088-40番地南（相川水位観測所）	相模川

調査結果

○相模川（さがみがわ）〔一級河川〕

～昭和橋

相模川は源を遠く富士山麓の山中湖に発しており、山梨県南部から神奈川県に入り、津久井湖を経て相模川となる。厚木市内で山際川、中津川、小鮎川、玉川と合流し平塚市を経て相模湾に流入している。本市域を流下する延長距離は約16kmであり、上水道、農業用水、レクリエーション等多方面に利用されている。特に県民の水ガメとして相模湖、津久井湖で取水するほかに市内相模大堰や下流の寒川で飲料水用として取水しているため、水質の保全が必要とされている。

相模川についての調査は、上依知地区の1箇所（昭和橋）を実施したが、人の健康の保護に関する環境基準項目は全ての測定で満足しており、良好な結果であった。

また、生活環境の保全に関する基準との比較では、生物化学的酸素要求量（BOD）、大腸菌群数について基準よりも高い値を記録することがあるほかは、浮遊物質（SS）及び溶存酸素量（DO）は概ね良好な結果であった。

※ 環境基準は日間平均値で定められている。

○中津川（なかつがわ）〔一級河川〕

～第一鮎津橋

中津川は丹沢山塊の唐沢堰、布川、本谷川、塩水川、青藤沢、矢田沢、川音川、宮ヶ瀬金沢、早戸川等の集水を源としており、宮ヶ瀬湖から清川村、愛川町を経て厚木市に入り、途中で善明川を合流し厚木市の相模大橋の上流地点で相模川に合流する延長32.8kmの河川である。このうち、市内を流れる区間は約7.5kmであり、相模川支流の中では最も水量が豊富で、水質状況も良好なため、漁業や農業用水等に利用されている。

調査は、妻田地区（第一鮎津橋・下流）で実施したが、人の健康の保護に関する項目はすべて基準を満足していた。

生活環境の保全に関する調査結果は、生物化学的酸素要求量（BOD）、大腸菌群数が基準を上回った月があった。

※ 環境基準は相模川に設定されているものであるが、当市の河川は多くが相模川に流入しているため、環境基準を目標値として比較したもの。以下同じ。

○小鮎川（こあゆがわ）〔一級河川〕

～第二鮎津橋

小鮎川は清川村の三峰山塊の8箇所沢と、谷太郎川、柿の木平川、法論川の3河川を源として東に流下して厚木市に入り、途中荻野川、干無川と合流して相模川へ流入する延長13.8kmの河川で、その名の示すように昔からたくさんの鮎が棲むきれいな川であった。

大正元年には、当市初の水力発電が飯山5115番地付近尾台橋下流で行われていた。当時は農業水や生活用水、木材を運ぶ水路などに活用されていたが、現在は主に農業用水に使用されている。公共下水道の処理区域以外の区域を流下しており、有機性の水質汚濁が見受けられる。

調査は、妻田地区（第二鮎津橋・下流）で実施した。

人の健康の保護に関する項目は、すべて環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する項目については、大腸菌群数が夏をはじめとして四季を通じて高く、有機性汚濁の指標として有効なBODも比較的高い状況にある。

○玉川（たまがわ）〔一級河川〕

～相川水位観測所

玉川は厚木市の二の足沢、山の神沢を源に七沢川となり、七沢の奨学橋付近で大山北部からの日向川、玉川地区で細田川と合流、愛甲を経て相川地区の八木間で恩曾川と合流し、下流の酒井橋下で相模川に流入する約8kmの河川であり、主に農業用水として利用されるほか、観光地に近い憩いの場として親しまれている。

調査は酒井地区（相川水位観測所・下流）で実施している。

人の健康の保護に関する調査結果は全て良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、生物化学的酸素要求量（BOD）、大腸菌群数がほぼ全ての月で基準を超えている他、浮遊物質量（SS）も基準を超えている月があった。

	河川名	相 模 川													
	測定地点	昭和橋													
	年月日	15. 4. 15		15. 5. 7		15. 6. 3		15. 7. 1		15. 8. 5		15. 9. 2			
項 目	環境基準 ^{*1}	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00		
水温 (°C)	—	10.9	11.0	16.5	18.5	18.2	17.6	20.3	20.0	21.0	21.2	20.2	20.4		
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	18	>30	>30		
pH	6.5以上8.5以下	7.6	7.7	8.0	8.2	7.9	7.6	7.8	7.4	7.7	7.6	7.9	7.8		
BOD (mg/l)	2以下	1.4	2.0	1.0	1.3	1.7	1.6	1.1	1.9	1.7	2.2	1.0	0.9		
COD (mg/l)	—	1.8	2.2	1.5	1.9	2.3	2.5	1.7	3.1	2.1	4.7	1.5	1.4		
SS (mg/l)	25以下	3	3	4	4	7	7	2	10	5	43	3	3		
DO (mg/l)	7.5以上	10.9	10.5	10.8	8.8	10.3	9.0	9.2	8.1	9.2	8.4	9.7	8.4		
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.7×10 ²	—	1.1×10 ²	—	1.1×10 ²	—	1.7×10 ³	—	1.3×10 ³	—	7.9×10 ²	—		
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—		
全りん (mg/l)	—	0.062	0.077	0.035	0.073	0.072	0.076	0.052	0.10	0.042	0.11	0.040	0.048		
りん酸性りん (mg/l)	—	0.047	—	0.030	—	0.037	—	0.047	—	0.027	—	0.017	—		
全窒素 (mg/l)	—	1.7	1.7	1.4	1.5	1.5	1.5	1.3	1.5	1.6	1.7	1.7	1.6		
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.05	—	<0.04	—	0.09	—	0.05	—	0.15	—	<0.04	—		
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—		
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.4	—	1.1	—	1.1	—	1.1	—	1.2	—	1.2	—		
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—		
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—		
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—		
銅 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	0.02	—	—	—		
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	0.05	—	—	—	—	—	0.11	—	—	—		
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—		
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.4	—	1.1	—	1.1	—	1.1	—	1.2	—	1.2	—		
塩化物イオン (mg/l)	—	5	5	5	4	4	4	4	4	4	3	3	3		
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—		

項目	河川名	相模川											
	測定地点	昭和橋											
	年月日	15.10.7		15.11.5		15.12.9		16.1.6		16.2.12		16.3.2	
	環境基準 ^{*1}	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00	9:00	21:00
水温 (°C)	—	17.6	17.8	15.3	15.9	9.8	9.5	8.0	8.0	6.7	7.5	6.6	8.4
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.9	7.8	7.7	7.7	7.7	7.7	7.9	7.9	8.0	7.9	7.9	8.3
BOD (mg/l)	2以下	1.5	1.0	1.2	0.9	1.1	1.4	1.8	1.8	2.1	1.9	2.6	2.5
COD (mg/l)	—	2.0	1.5	1.5	2.2	1.6	1.8	1.9	1.7	1.9	1.6	3.4	3.0
SS (mg/l)	25以下	2	1	2	6	3	3	3	2	4	6	10	12
DO (mg/l)	7.5以上	10.0	8.5	9.9	9.4	11.1	10.8	13.3	11.1	13.0	11.4	11.9	10.9
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	4.9×10 ²	—	4.9×10 ²	—	4.9×10 ²	—	68	—	2.3×10 ²	—	1.3×10 ²	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.057	0.064	0.068	0.079	0.057	0.049	0.074	0.074	0.053	0.052	0.067	0.069
りん酸性りん (mg/l)	—	0.034	—	0.045	—	0.037	—	0.039	—	0.024	—	ND	—
全窒素 (mg/l)	—	1.7	1.7	1.8	1.5	1.4	1.6	1.6	1.5	1.8	1.8	1.8	1.8
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.10	—	<0.04	—	0.05	—	0.05	—	<0.04	—	0.13	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.4	—	1.3	—	1.3	—	1.3	—	1.4	—	1.1	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	0.03	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	0.02	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.4	—	1.3	—	1.3	—	1.3	—	1.4	—	1.1	—
塩化物イオン (mg/l)	—	5	3	4	4	3	4	5	5	5	5	4	5
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	中 津 川											
	測定地点	第一鮎津橋											
	年月日	15. 4. 15		15. 5. 7		15. 6. 3		15. 7. 1		15. 8. 5		15. 9. 2	
環境基準 ^{*1}	10:30	22:30	10:00	22:00	10:30	22:30	10:00	22:00	10:30	22:00	10:30	22:30	
水温 (°C)	—	10.9	10.6	18.0	18.5	18.4	17.0	20.0	19.3	22.8	23.0	21.2	20.8
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	13	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.6	7.9	7.5	7.7	7.7	7.7	7.6	7.8	7.5	7.9	7.7
BOD (mg/l)	2以下	1.4	1.7	0.8	1.2	1.4	1.5	1.2	1.4	1.1	3.5	1.0	1.2
COD (mg/l)	—	1.4	1.4	1.5	1.9	1.9	1.7	1.7	2.4	1.5	9.7	1.4	1.3
SS (mg/l)	25以下	2	2	1	3	4	4	3	4	1	1.3×10 ⁶	1	1
DO (mg/l)	7.5以上	11.0	10.6	10.0	8.5	9.8	9.3	9.2	8.6	9.0	7.7	9.6	8.1
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.3×10 ³	—	1.7×10 ³	—	1.1×10 ³	—	7.9×10 ²	—	2.6×10 ³	—	2.6×10 ³	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.017	0.028	0.026	0.042	0.030	0.046	0.025	0.042	0.020	0.19	0.021	0.035
りん酸性りん (mg/l)	—	0.006	—	0.013	—	0.010	—	0.018	—	0.012	—	0.012	—
全窒素 (mg/l)	—	1.1	1.2	1.0	1.2	0.90	0.85	1.1	1.1	1.5	3.0	1.8	1.9
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.08	—	0.05	—	0.09	—	0.07	—	0.09	—	<0.04	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.97	—	0.90	—	0.79	—	0.93	—	1.3	—	1.5	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	0.03	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	0.04	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	0.97	—	0.90	—	0.79	—	0.93	—	1.3	—	1.5	—
塩化物イオン (mg/l)	—	2	3	2	3	2	2	2	2	3	2	3	3
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	中 津 川											
	測定地点	第一鮎津橋											
	年月日	15.10.7		15.11.5		15.12.9		16.1.6		16.2.12		16.3.2	
	環境基準 ^{*1}	10:30	22:30	10:00	22:00	10:30	22:30	10:00	22:00	10:00	22:00	9:45	21:45
水温 (°C)	—	17.2	16.3	16.2	16.4	11.1	10.8	10.0	9.4	9.3	7.9	8.3	8.4
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.9	7.6	7.6	7.5	7.7	7.6	8.2	7.6	7.6	7.5	7.7	7.6
BOD (mg/l)	2以下	0.9	1.3	1.0	1.4	1.1	1.7	1.5	1.5	1.7	2.7	1.7	2.2
COD (mg/l)	—	0.9	1.3	1.0	1.6	1.3	1.3	1.6	1.7	1.2	1.9	1.1	1.5
SS (mg/l)	25以下	<1	<1	<1	2	1	2	2	2	1	4	3	4
DO (mg/l)	7.5以上	9.7	8.7	10.1	9.6	10.8	10.4	12.5	10.4	11.6	10.2	11.8	11.0
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.1×10 ³	—	1.4×10 ³	—	3.3×10 ²	—	3.3×10 ²	—	4.9×10 ²	—	4.6×10 ²	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.025	0.046	0.051	0.10	0.019	0.040	0.025	0.058	0.038	0.10	0.031	0.048
りん酸性りん (mg/l)	—	0.015	—	0.033	—	0.006	—	0.008	—	0.027	—	0.006	—
全窒素 (mg/l)	—	1.6	1.6	2.3	2.2	1.1	1.5	1.7	1.8	1.9	2.2	1.5	1.4
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.05	—	0.15	—	0.05	—	0.07	—	0.13	—	0.11	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.4	—	1.7	—	1.0	—	1.4	—	1.5	—	0.90	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	0.03	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.4	—	1.7	—	1.0	—	1.4	—	1.5	—	0.90	—
塩化物イオン (mg/l)	—	3	3	4	4	2	3	3	4	3	4	2	3
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	小 鮎 川											
	測定地点	第二鮎津橋											
	年月日	15. 4. 15		15. 5. 7		15. 6. 3		15. 7. 1		15. 8. 5		15. 9. 2	
環境基準*	11:00	23:00	11:00	23:00	11:30	23:30	10:30	22:30	11:00	22:30	11:00	23:00	
水温 (°C)	—	12.9	12.1	21.5	19.0	21.4	18.3	21.0	19.5	24.4	23.2	23.1	21.0
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.6	7.6	7.9	7.7	7.7	7.7	7.8	7.6	8.1	7.6	8.1	7.8
BOD (mg/l)	2以下	5.1	2.9	2.6	2.1	2.3	1.6	2.0	2.0	2.7	2.5	1.6	1.2
COD (mg/l)	—	4.2	2.9	3.7	3.3	2.6	2.3	2.5	4.3	3.2	4.5	2.1	1.8
SS (mg/l)	25以下	8	12	6	8	6	5	3	11	4	14	2	3
DO (mg/l)	7.5以上	10.1	10.1	9.1	8.6	8.9	8.6	9.1	8.1	8.6	7.4	8.6	8.2
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.4×10 ³	—	1.3×10 ⁴	—	7.9×10 ³	—	4.6×10 ³	—	1.3×10 ⁴	—	1.3×10 ⁴	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.35	0.15	0.37	0.21	0.16	0.14	0.23	0.17	0.25	0.099	0.16	0.13
りん酸性りん (mg/l)	—	0.24	—	0.31	—	0.14	—	0.19	—	0.22	—	0.13	—
全窒素 (mg/l)	—	3.9	3.0	3.2	2.6	2.6	2.7	3.1	3.0	3.1	2.8	2.8	3.1
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.41	—	0.15	—	0.15	—	0.15	—	0.52	—	<0.04	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.06	—	0.09	—	<0.05	—	0.05	—	0.06	—	<0.05	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.6	—	2.9	—	2.3	—	2.7	—	2.3	—	2.5	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	0.02	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	0.02	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.7	—	3.0	—	2.3	—	2.8	—	2.4	—	2.5	—
塩化物イオン (mg/l)	—	6	5	7	6	9	5	6	5	5	5	5	5
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	0.04	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	小 鮎 川											
	測定地点	第二鮎津橋											
	年月日	15.10.7		15.11.5		15.12.9		16.1.6		16.2.12		16.3.2	
項目	環境基準 ^{*1}	11:00	23:00	10:30	22:30	11:15	23:15	10:30	22:30	10:45	22:45	10:15	22:15
水温 (°C)	—	17.8	15.7	16.2	16.6	14.9	9.1	9.8	8.8	10.5	8.6	9.3	8.2
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	8.1	7.7	7.8	7.6	7.6	7.7	8.3	7.6	7.9	7.7	7.8	7.7
BOD (mg/l)	2以下	1.6	1.7	3.1	1.7	3.0	1.9	3.7	3.0	2.2	2.6	2.7	3.1
COD (mg/l)	—	2.2	2.2	3.7	4.1	2.7	1.8	3.8	3.1	2.7	2.9	3.0	3.0
SS (mg/l)	25以下	2	3	6	24	4	2	4	3	2	5	4	7
DO (mg/l)	7.5以上	9.6	8.6	9.9	8.2	10.4	10.8	12.4	10.8	12.0	10.7	11.1	9.9
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.3×10 ³	—	2.4×10 ⁴	—	2.2×10 ³	—	1.1×10 ³	—	3.3×10 ²	—	7.9×10 ²	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.21	0.17	0.38	0.21	0.22	0.11	0.37	0.24	0.18	0.19	0.22	0.27
りん酸性りん (mg/l)	—	0.19	—	0.30	—	0.16	—	0.29	—	0.14	—	0.19	—
全窒素 (mg/l)	—	4.1	3.2	5.3	3.3	4.3	3.2	3.7	3.6	3.9	4.1	4.4	4.2
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.15	—	0.28	—	0.51	—	0.51	—	0.28	—	0.56	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.08	—	0.12	—	<0.05	—	0.07	—	0.06	—	0.07	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	3.0	—	2.8	—	3.0	—	2.9	—	3.0	—	2.8	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	0.03	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	0.02	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	0.03	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	3.1	—	2.9	—	3.0	—	3.0	—	3.1	—	2.9	—
塩化物イオン (mg/l)	—	6	6	7	6	6	6	8	8	8	8	8	8
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

	河川名	玉 川											
	測定地点	相川水位観測所											
	年月日	15. 4. 15		15. 5. 7		15. 6. 3		15. 7. 1		15. 8. 5		15. 9. 2	
項 目	環境基準 ^{*1}	12:00	0:00	11:30	23:30	12:00	0:00	11:00	23:00	11:30	23:00	11:30	23:30
水温 (°C)	—	13.4	13.2	20.3	19.6	23.8	20.0	22.2	20.5	26.1	24.4	24.0	22.6
透視度 (cm)	—	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.8	7.7	7.8	7.9	7.8	7.7	7.8	7.6	8.2	7.6	7.9	7.8
BOD (mg/l)	2以下	2.4	2.6	2.4	3.1	1.8	1.9	5.4	3.1	1.5	3.0	2.1	3.3
COD (mg/l)	—	3.0	2.9	3.6	3.8	3.4	3.5	3.6	5.4	2.9	3.4	2.8	3.3
SS (mg/l)	25以下	3	3	15	13	8	9	5	18	6	7	4	6
DO (mg/l)	7.5以上	10.2	9.3	9.5	8.3	8.7	8.0	8.8	7.6	9.6	7.0	9.8	7.3
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.7×10 ³	—	1.7×10 ⁴	—	3.3×10 ⁴	—	1.3×10 ⁴	—	2.8×10 ⁴	—	1.7×10 ⁵	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.095	0.084	0.16	0.11	0.078	0.086	0.19	0.14	0.060	0.16	0.14	0.12
りん酸性りん (mg/l)	—	0.082	—	0.12	—	0.047	—	0.16	—	0.055	—	0.12	—
全窒素 (mg/l)	—	4.1	3.7	3.0	2.1	2.4	2.5	3.6	3.1	2.4	2.5	3.2	3.1
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	1.1	—	0.67	—	0.10	—	2.1	—	0.13	—	1.0	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.08	—	0.06	—	<0.05	—	0.11	—	<0.05	—	0.07	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.7	—	1.6	—	2.2	—	1.3	—	1.7	—	1.9	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	0.05	—	—	—	—	—	0.09	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	0.02	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	0.2	—	—	—	0.1	—	—	—	ND	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	0.03	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.8	—	1.7	—	2.2	—	1.4	—	1.7	—	2.0	—
塩化物イオン (mg/l)	—	14	11	19	12	7	8	32	23	7	25	20	22
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

項目	河川名	玉 川											
	測定地点	相川水位観測所											
	年月日	15.10.7		15.11.5		15.12.9		16.1.6		16.2.12		16.3.2	
	環境基準*1	11:30	23:30	11:00	23:00	11:45	23:45	11:00	23:00	11:15	23:15	10:45	22:45
水温 (°C)	—	18.8	17.1	17.2	16.4	12.4	8.9	10.3	9.0	10.1	10.7	9.5	9.5
透視度 (cm)	—	>30	>30	11	25	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30	>30
pH	6.5以上8.5以下	7.9	7.8	7.7	7.7	7.9	7.8	8.1	7.8	8.0	7.8	7.8	7.8
BOD (mg/l)	2以下	4.5	7.0	3.4	2.8	1.8	3.6	2.3	1.9	2.6	2.6	3.2	3.7
COD (mg/l)	—	3.3	3.8	5.8	6.0	1.9	3.7	3.0	2.6	2.9	3.5	3.7	4.9
SS (mg/l)	25以下	2	5	35	36	3	5	2	2	4	5	3	13
DO (mg/l)	7.5以上	9.8	7.6	9.3	8.1	9.3	10.2	12.5	10.2	13.9	9.7	11.7	9.6
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	4.9×10 ¹	—	3.5×10 ¹	—	1.7×10 ²	—	3.3×10 ²	—	7.9×10 ²	—	2.4×10 ³	—
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	<0.5	—	—	—
全りん (mg/l)	—	0.40	0.27	0.37	0.21	0.14	0.11	0.19	0.097	0.17	0.18	0.24	0.26
りん酸性りん (mg/l)	—	0.37	—	0.25	—	0.13	—	0.17	—	0.14	—	0.21	—
全窒素 (mg/l)	—	8.2	4.7	4.9	5.0	4.8	3.8	6.9	5.9	5.1	5.4	7.2	5.7
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	3.5	—	0.46	—	1.6	—	1.2	—	0.86	—	2.2	—
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.18	—	0.11	—	<0.05	—	0.10	—	0.11	—	0.10	—
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.6	—	2.9	—	3.1	—	3.4	—	3.1	—	2.9	—
カドミウム (mg/l)	0.01以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	ND	—	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—	ND	—
銅 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	0.04	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	0.54	—	—	—	—	—	0.15	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	0.06	—	—	—	—	—	0.04	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	0.7	—	—	—	0.3	—	—	—	0.2	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	0.09	—	—	—	—	—	0.06	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.8	—	3.0	—	3.1	—	3.5	—	3.2	—	3.0	—
塩化物イオン (mg/l)	—	56	38	19	19	16	29	20	14	17	36	19	35
陰イオン界面活性剤 (mg/l)	—	—	—	ND	—	—	—	—	—	ND	—	—	—

(3) 河川水質調査

本市における水系は、大部分の河川が相模川に流入するが、笠張川などごく一部が相模川以外の河川に流入する。

平成15年度は、5流域の一級河川と、恩曾川などの3準用河川、都市下水路など8箇所について年4回の水質調査を実施した。

調査日（採水日）

第1回（春季） 平成15年5月22日 第2回（夏季） 平成15年8月25日
 第3回（秋季） 平成15年11月17日 第4回（冬季） 平成16年2月16日

採水場所

NO	調査箇所名	種類	場所名	流入河川名
1	中津川上流	一級河川	三田3198番地北	相模川
2	小鮎川上流	一級河川	飯山5747-2番地東	相模川
3	小鮎川中流1	一級河川	飯山4265番地北	相模川
4	小鮎川中流2	一級河川	飯山860-1番地北	相模川
5	荻野川上流	一級河川	上荻野5755番地東	小鮎川
6	荻野川中流1	一級河川	中荻野929番地北	小鮎川
7	荻野川中流2	一級河川	及川912-1番地東側	小鮎川
8	荻野川下流	一級河川	妻田西2丁目22番52号西側	小鮎川
9	恩曾川上流	準用河川	上古沢1711番地南	玉川
10	恩曾川中流1	準用河川	温水1534番地東	玉川
11	恩曾川中流2	準用河川	温水570番地西	玉川
12	恩曾川下流	準用河川	酒井3070番地西	玉川
13	玉川上流	一級河川	七沢163番地南	相模川
14	玉川中流1	一級河川	長谷840番地南	相模川
15	玉川中流2	一級河川	酒井3026番地東	相模川
16	細田川	一級河川	小野2227番地南	玉川
17	尼寺排水路	都市下水路	恩名1522-1番地南	恩曾川
18	真弓川	水路	上荻野6104番地北	荻野川
19	干無川	都市下水路	妻田東1丁目2番26号東	小鮎川
20	善明川	準用河川	関口字西河原地内	中津川
21	境田川	都市下水路	岡田5丁目地内	相模川
22	華巖排水路	水路	飯山5779-2番地南	小鮎川
23	山際川	準用河川	関口字棧敷地内	相模川
24	笠張川	雨水幹線	下津古久279-1番地東	金目川

○中津川（なかつがわ）〔一級河川〕

調査は、三田地区（松羅公園北・上流）で実施したが、人の健康の保護に関する項目はすべて基準を満足していた。

生活環境の保全に関する項目も、大腸菌群数が夏にやや高い傾向はあるが、常時監視の結果（下流部）とあわせても、中津川は清澄な川であるといえる。

※ 環境基準は相模川に設定されているものであるが、当市の河川はいずれも相模川に流入しているため、環境基準を目標値として比較したものの。以下同じ。

○小鮎川（こあゆがわ）〔一級河川〕

調査は、飯山相模華厳橋（上流）と飯山久保橋（中流1）飯山小鮎橋（中流2）の3箇所を実施した。

人の健康の保護に関する調査結果は、上流のみ実施したが、環境基準を満たす良好な結果であった。また、下流における常時監視業務でも調査しており、そちらも、環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、全ての調査場所で生物化学的酸素要求量（BOD）及び大腸菌群数が、環境基準を満足していない結果であった。

○荻野川（おぎのがわ）〔一級河川〕

荻野川は厚木市北部と清川村境の経ヶ岳付近が源となり途中で柄沢川、真弓川が合流し南東へ流下し、林地区で小鮎川に流入する延長約8.9kmの河川である。この河川は昔砂鉄が取れ、古来より鋳物が盛んで、当時の鋳物が妻田薬師や中津八菅神社に残っている。

現在は、農業用水に利用されるが、上流は水量も少なく、魚影も見られない。調査は、上荻野地区（上流）と中荻野地区（中流1）及川地区（中流2）妻田西地区（下流）の4箇所を実施した。

人の健康の保護に関する調査結果は、上流と下流で調査しており、環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、BODが1箇所環境基準を超えた他は良好な結果であったが、大腸菌群数は年間を通じ、高い結果であった。

○恩曾川（おんぞがわ）〔準用河川・普通河川〕

恩曾川は厚木市内、白山を水源として南東へ流下し、相川地区の八木間で玉川に合流する延長約7kmの準用河川であり、中流部は農業用水として利用され、平成3年度から、神奈川県相模川西部用水右岸幹線から相模川の水が温水字三反町及び温水字上耕地に供給されるようになり、水田耕作期間のみ水量が増加し、水質の良化が見られるようになった。

調査は、上古沢地区（上流）と温水地区（中流1、高坪堰 中流2、地藏橋親水広場）、酒井地区（下流）の4箇所を実施した。

人の健康の保護に関する調査結果は、下流で調査しており、環境基準を満足する良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数が全ての地点で環境基準を超えた他、BODも高坪堰、地藏橋親水広場で高い状況にある。

○玉川（たまがわ）〔一級河川〕

玉川は厚木市の二の足沢、山の神沢を源に七沢川となり、七沢の奨学橋付近で大山北部からの日向川、玉川地区で細田川と合流、愛甲を経て相川地区の八木間で恩曾川と合流し、下流の酒井橋下で相模川に流入する約8kmの河川であり、主に農業用水として利用されるほか観光地に近い憩いの場として親しまれている。

調査地点は、七沢地区（奨学橋・上流）、長谷地区（川久保橋・中流1）、酒井地区（八木間橋・中流2）の3地点で実施しており、常時監視の下流部と併せて4箇所調査を実施している。

人の健康の保護に関する調査結果は、すべて良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数がすべての調査地点で環境基準を満たしていないほか、BOD濃度が冬期に高い傾向にある

○細田川（ほそだがわ）〔一級河川〕

細田川は、「ニューシティ」森の里の開発以前は、開発中央の谷を流れる普通河川であったが、公共下水道事業として整備され、主に開発区域内の雨水が流入する一級河川になった厚木市上古沢字丸山を源として南に流下し、小野字榎田で玉川に合流する延長2.1kmの河川である。

人の健康の保護に関する調査結果は、良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、5月と2月でBODが環境基準を超えたほか大腸菌群数が四季を通じて高い傾向にある。

○尼寺排水路（あまでらはいすいろ）〔都市下水路〕

緑ヶ丘5丁目えひめ飲料東京工場北側から南東に流下し、恩名字沖原の恩曾川に流入する延長約1.6kmの都市下水路で、尼寺工業団地の雨水が流入する。以前は、工場排水が流入していたが現在工場排水は公共下水道に排除されており、一般家庭等雑排水が流れており、BODも10ppmを超えることがあり汚れが目立つ下水路である。

大腸菌群数が四季を通じて高い状況にあるが、人の健康の保護に関する調査結果は、良好な結果であった。

○真弓川（まゆみがわ）〔水路〕

厚木市上荻野字真弓を源として南東に流下し、上荻野字横林で荻野川に合流する延長2.3kmの水路である。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数が四季を通じて環境基準を超えたほかは全て良好な結果であったものの、PHが高めである。

pHが高めであることについては、水草による光合成によるものと思われる。

○干無川（ひなしがわ）〔水路〕

厚木市三田字屋際を源として南に流下し、妻田南1丁目で小鮎川に合流する約2.3kmの都市下水路である。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数が四季を通じて環境基準を超えているほか、冬期にBODやPHが環境基準を満たしていなかった。

○善明川（ぜんみょうがわ）〔準用河川〕

善明川は、愛川町中津から厚木市棚沢を経て、厚木市関口で中津川に合流する延長2.4kmの河川であり、毎年4月上旬から9月末まで愛川町字坂本の中津川から農業用水として取水されるため、この時期水量が増加する。

生活環境の保全に関する調査結果のうち、尿尿による汚染と言われる亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の結果が冬季で5.7mg/リットルと全調査場所の中で一番高い結果であり、大腸菌群数も四季を通じて高濃度である。

○境田川（さかいだがわ）〔公共下水道雨水路〕

公共下水道相模川右岸水系第6排水区の第1号幹線及び第2号幹線を境田川と称している。第1号幹線は岡田3丁目から相模川までの約1kmの水路であり、第2号幹線は岡田4丁目から5丁目までの約1.2kmの水路で、一部事業場排水も流入する。

人の健康の保護に関する調査結果は、良好な結果であった。

生活環境の保全に関する基準との比較は、四季を通じて大腸菌群数が環境基準を超えているほか、全体的にPHが高い。この原因として透視度が50以上あり、BODも低く、水路の水深も20cm程度と浅く水草が多量に繁茂していることから光合成によるものと判断される。

○華厳排水路（けごんはいすいろ）〔水路〕

清川村煤ヶ谷を源として南東に流下し、厚木市飯山字砂場で小鮎川に合流する約1kmの砂防水路である。以前畜産排水が放流されていたが、現在は菓子製造業工場の排水が放流されている。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数以外ではすべて良好な状況にある。

○山際川（やまぎわがわ）〔準用河川、普通河川〕

山際川は、愛川町中津原大地東側のすそ野を源とし、厚木市関口字棧敷所で相模川に流入する延長1.97kmの河川で、毎年5月から10月までは相模川小沢頭首工からの農業用水が流入するほか、内陸工業団地の工場排水が流入する。

近年公共下水道の急激な普及に伴い工場排水が流入しなくなり、農業用水が流入しない時期は河川水が流れていない状況にあるため、春季と夏季の調査を実施した。

生活環境の保全に関する調査結果は、夏季のpHが8.7と高く、春季・夏季共、大腸菌群数が高い結果であった。

pHの異常値については、昨年と同様水草による光合成によるものと思われた。

○笠張川（かさはりがわ）〔公共下水道雨水路〕

笠張川は小野地区の玉川、竹の内堰から取水され、農業用水路、都市下水路、公共下水道雨水幹線と名称を変え、平塚市大神地区から花水川に流入する水路で、厚木市上落合地区から下流の公共下水道雨水幹線部分約1.8kmを示す。

人の健康の保護に関する調査結果は、良好な結果であった。

生活環境の保全に関する調査結果は、大腸菌群数が四季を通じて高い数値である。また冬季のBODが尼寺排水路に次ぐ高い数値である。

(表-3-1)

	河川名	中 津 川				小 鮎 川			
	測定地点	上 流 (松 羅 公 園 北)				上 流 (相 模 華 厳 橋)			
	年月日	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16
項 目	環境基準*1	9:00	9:20	9:10	9:40	10:50	11:45	10:50	9:55
水温 (°C)	—	16.5	20.4	14.3	7.7	17.2	22.6	12.9	6.9
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	13
pH	6.5以上8.5以下	7.9	7.8	7.8	7.6	7.7	7.8	7.7	7.7
BOD (mg/l)	2以下	1.3	1.0	1.1	1.4	2.9	2.7	2.7	23
COD (mg/l)	—	1.4	1.4	1.3	1.3	3.2	3.1	3.2	15.0
SS (mg/l)	25以下	2	3	<1	2	8	5	6	26
DO (mg/l)	7.5以上	9.8	9.4	11.2	12.6	9.0	8.3	9.9	11.4
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.2×10 ³	4.9×10 ³	1.1×10 ³	2.3×10 ²	4.9×10 ³	7.9×10 ³	1.4×10 ³	7.9×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	1.1
全りん (mg/l)	—	0.020	0.022	0.025	0.017	0.24	0.25	0.27	1.30
りん酸性りん (mg/l)	—	0.009	<0.005	0.011	0.005	0.20	0.18	0.22	0.70
全窒素 (mg/l)	—	0.99	1.5	1.9	1.8	2.4	2.8	2.4	7.2
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	<0.04	0.05	0.07	<0.04	0.51	0.48	0.53	2.70
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.08	0.07	0.09	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.89	1.3	1.8	1.3	1.6	1.8	1.7	1.3
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	0.08	—	ND	—	ND	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	ND	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	ND	—	0.03	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	0.89	1.3	1.8	1.3	1.7	1.9	1.8	1.3

(表-3-2)

項目	河川名	小 鮎 川							
	測定地点	中 流 1 (久 保 橋)				中 流 2 (小 鮎 橋)			
	年月日	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16
	環境基準	10:00	10:15	10:00	9:25	9:15	9:30	9:10	9:00
水温 (°C)	—	16.4	22.1	13.0	7.4	18.2	21.8	13.8	8.8
透視度 (cm)	—	45	40	>50	>50	23	>50	33	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.8	7.7	7.6	7.4	7.4	7.5	7.3
BOD (mg/l)	2以下	4.8	3.0	2.4	9.8	15	2.9	5.6	6.0
COD (mg/l)	—	4.6	2.9	3.5	8.3	7.9	3.0	3.8	5.3
SS (mg/l)	25以下	13	5	6	9	19	4	9	5
DO (mg/l)	7.5以上	8.6	9.2	10.3	11.6	8.1	8.5	9.8	9.8
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.5×10 ⁴	3.3×10 ³	2.8×10 ³	7.0×10 ³	1.3×10 ⁴	4.6×10 ³	1.1×10 ⁴	4.0×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	0.8	—	<0.5	—	0.6
全りん (mg/l)	—	0.40	0.21	0.28	0.78	0.85	0.26	0.47	0.51
りん酸性りん (mg/l)	—	0.32	0.15	0.24	0.59	0.56	0.18	0.37	0.42
全窒素 (mg/l)	—	3.0	2.7	2.5	5.3	4.1	3.3	3.3	4.1
アモニア性窒素 (mg/l)	—	0.56	0.17	0.22	2.20	0.61	0.17	0.30	1.10
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.12	0.07	0.12	0.07	0.13	0.07	0.14	0.09
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.0	2.0	2.0	1.5	2.2	2.5	2.2	2.3
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.1	2.1	2.1	1.6	2.3	2.6	2.3	2.4

(表-3-3)

項目	河川名	荻野川							
	測定地点	上流 (横林橋下)				中流 ¹ (権現堂橋)			
	年月日	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16
環境基準	11:30	14:00	11:25	11:00	13:55	15:15	13:30	13:10	
水温 (°C)	—	19.8	22.8	14.6	10.2	20.3	25.4	16.2	15.1
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	8.0	7.9	7.7	7.6	7.9	8.1	8.0	8.7
BOD (mg/l)	2以下	2.0	1.0	1.2	4.1	1.7	1.2	1.0	1.9
COD (mg/l)	—	2.1	1.6	1.7	4.0	2.4	1.8	1.3	2.2
SS (mg/l)	25以下	<1	<1	<1	2	2	1	<1	5
DO (mg/l)	7.5以上	9.1	9.0	9.9	10.0	9.5	9.0	10.4	12.6
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.1×10 ⁴	3.3×10 ⁴	7.9×10 ³	2.4×10 ⁴	7.9×10 ³	1.3×10 ⁴	4.9×10 ³	2.3×10 ²
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.071	0.052	0.081	0.20	0.066	0.062	0.060	0.043
りん酸性りん (mg/l)	—	0.053	0.032	0.075	0.170	0.043	0.026	0.048	0.012
全窒素 (mg/l)	—	2.5	3.0	3.0	4.1	3.0	3.0	2.9	3.8
アモニア性窒素 (mg/l)	—	0.04	<0.04	0.06	1.10	0.05	<0.04	<0.04	<0.04
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	0.08	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.1	2.4	2.5	2.2	2.7	2.6	2.8	3.4
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	ND	ND	ND	ND	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	0.02	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.1	2.4	2.5	2.3	2.7	2.6	2.8	3.4

(表-3-4)

項目	河川名	荻野川							
	測定地点	中流 2 (十二天橋)				下流 (小鮎川合流前)			
	年月日	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16
環境基準	14:35	16:00	14:00	13.45	13:10	13:10	11:10	13:15	
水温 (°C)	—	21.8	24.7	16.3	15.2	23.3	25.2	16.2	13.7
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.7	7.9	9.0	8.0	8.0	8.1	8.7
BOD (mg/l)	2以下	1.3	1.0	1.1	1.6	1.6	1.0	0.9	1.8
COD (mg/l)	—	1.9	1.5	1.4	2.4	2.6	1.3	1.4	2.2
SS (mg/l)	25以下	2	<1	<1	6	6	<1	<1	4
DO (mg/l)	7.5以上	8.7	8.4	10.1	13.9	8.6	8.8	10.4	12.8
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.4×10 ⁴	2.4×10 ⁴	2.1×10 ³	3.1×10 ²	7.9×10 ³	1.1×10 ⁴	3.3×10 ³	2.4×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.053	0.035	0.057	0.055	0.10	0.057	0.065	0.066
りん酸性りん (mg/l)	—	0.036	0.019	0.043	0.018	0.064	0.021	0.051	0.042
全窒素 (mg/l)	—	3.5	3.5	3.4	4.6	3.7	3.0	3.4	4.5
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	<0.04	<0.04	0.15	<0.04	0.05	<0.04	<0.04	0.05
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	3.3	2.6	3.2	3.8	3.2	2.7	3.2	4.0
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	3.3	2.6	3.2	3.8	3.2	2.7	3.2	4.0

(表-3-5)

項目	河川名	恩 曾 川							
	測定地点	上 流				中 流 (高 坪 堰)			
	年月日	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16
環境基準		10:40	10:50	10:10	11:00	9:50	10:20	9:55	10:30
水温 (°C)	—	19.0	21.2	14.5	9.6	20.2	24.6	15.0	9.8
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.7	7.8	7.8	7.6	7.4	7.9	7.7	7.8
BOD (mg/l)	2以下	1.1	0.9	0.8	1.4	5.5	1.8	3.9	5.6
COD (mg/l)	—	1.6	1.9	1.1	2.1	5.4	3.2	4.6	9.9
SS (mg/l)	25以下	1	4	1	1	3	3	2	5
DO (mg/l)	7.5以上	9.2	8.9	10.3	11.1	7.0	8.2	8.3	10.0
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	4.9×10^3	4.9×10^3	1.7×10^4	4.9×10^2	3.3×10^4	1.3×10^5	1.1×10^4	1.2×10^4
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	0.6
全りん (mg/l)	—	0.044	0.047	0.14	0.039	0.21	0.14	0.28	0.89
りん酸性りん (mg/l)	—	0.026	0.028	0.10	0.033	0.14	0.085	0.24	0.78
全窒素 (mg/l)	—	2.0	1.9	2.0	2.2	8.0	5.0	7.3	19
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.04	<0.04	<0.04	0.13	4.4	1.4	2.8	13.0
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.27	0.17	0.30	0.20
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.8	1.6	1.9	1.7	2.9	3.0	3.2	0.41
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.8	1.6	1.9	1.7	3.2	3.2	3.5	0.61

(表-3-6)

項目	河川名	恩 曾 川							
	測定地点	中 流 (地蔵橋親水広場)				下 流 (新八木間橋)			
	年月日	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16
	環境基準	8:50	9:00	9:00	9:00	14:20	15:10	13:55	15:00
水温 (°C)	—	19.6	23.7	14.7	9.0	22.3	27.0	17.3	12.6
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.6	7.7	7.6	7.7	7.7	7.9	7.7	8.0
BOD (mg/l)	2以下	3.2	1.7	4.1	2.3	2.1	1.5	1.4	2.3
COD (mg/l)	—	3.7	3.8	3.5	4.4	3.0	2.9	3.2	3.8
SS (mg/l)	25以下	7	7	3	3	9	6	3	3
DO (mg/l)	7.5以上	8.3	7.9	8.3	9.9	8.5	8.4	8.8	12.0
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.7×10 ⁴	3.3×10 ⁴	5.4×10 ⁴	1.4×10 ⁴	4.9×10 ⁴	2.2×10 ⁴	3.3×10 ³	4.9×10 ²
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.50
全りん (mg/l)	—	0.12	0.12	0.22	0.36	0.093	0.092	0.18	0.25
りん酸性りん (mg/l)	—	0.070	0.087	0.20	0.32	0.062	0.046	0.15	0.21
全窒素 (mg/l)	—	4.0	3.9	6.2	11.0	2.7	2.9	4.9	8.1
アモニア性窒素 (mg/l)	—	1.2	0.6	1.1	4.7	0.26	0.04	0.34	1.90
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.13	0.19	0.27	0.45	0.07	0.07	0.17	0.27
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.6	2.7	3.7	4.7	2.1	2.3	4.0	5.1
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	0.07	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.7	2.9	4.0	5.2	2.2	2.4	4.2	5.4

(表-3-7)

項目	河川名	玉川							
	測定地点	上流 (奨学橋)				中流 ¹ (川久保橋)			
	年月日	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16
	環境基準	11:20	13:10	11:00	13:10	13:15	13:50	12:45	13:50
水温 (°C)	—	25.9	24.2	15.5	10.2	23.2	26.3	16.7	13.3
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	30
pH	6.5以上8.5以下	7.9	8.0	7.9	8.3	7.9	8.0	8.0	8.5
BOD (mg/l)	2以下	1.9	1.0	1.6	2.9	1.9	1.1	1.2	2.3
COD (mg/l)	—	2.5	2.2	2.3	2.9	2.5	1.8	2.1	3.6
SS (mg/l)	25以下	3	4	2	2	2	3	<1	17
DO (mg/l)	7.5以上	8.8	8.6	10.5	11.6	9.0	8.2	10.1	11.7
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.5×10 ⁴	1.3×10 ⁴	7.0×10 ³	2.4×10 ⁴	2.2×10 ³	2.2×10 ⁴	3.3×10 ³	2.2×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	0.6
全りん (mg/l)	—	0.11	0.075	0.12	0.25	0.095	0.064	0.090	0.130
りん酸性りん (mg/l)	—	0.093	0.046	0.11	0.21	0.071	0.035	0.079	0.082
全窒素 (mg/l)	—	2.5	2.8	2.6	3.6	2.9	2.6	3.1	3.0
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.06	<0.04	0.11	0.09	0.06	<0.04	<0.04	0.29
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.08
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.1	2.0	2.2	2.9	2.5	2.2	2.2	2.4
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	0.05	—	—	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.1	2.0	2.2	3.0	2.5	2.2	2.2	2.5

(表-3-8)

項目	河川名	玉川				細田川			
	測定地点	中流 ² (八木間橋)				玉川合流前			
	年月日	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16
	環境基準	13:50	14:40	13:30	14:30	11:00	11:30	10:35	11:30
水温 (°C)	—	23.5	28.0	17.7	13	25.6	24.3	17.1	12.8
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	8.1	8.0	8.1	8.8	7.8	7.7	7.9	8.7
BOD (mg/l)	2以下	1.8	1.3	0.9	2.0	2.5	1.2	0.8	2.7
COD (mg/l)	—	2.5	2.0	1.9	2.9	3.5	3.4	2.0	3.4
SS (mg/l)	25以下	4	3	2	4	4	2	2	6
DO (mg/l)	7.5以上	9.3	8.3	10.3	13.2	9.9	8.3	10.6	15.8
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	2.8×10 ³	2.4×10 ⁴	1.3×10 ³	4.9×10 ²	4.7×10 ³	2.2×10 ⁴	2.8×10 ³	2.8×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.093	0.056	0.083	0.110	0.047	0.058	0.057	0.053
りん酸性りん (mg/l)	—	0.070	0.034	0.076	0.076	0.006	0.028	0.046	0.037
全窒素 (mg/l)	—	2.6	2.5	2.5	3.0	1.7	2.5	1.9	1.6
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.09	0.09	<0.04	0.05	0.04	<0.04	0.07	<0.04
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素 (mg/l)	—	2.3	1.9	2.2	2.4	1.3	2.1	1.5	1.1
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	ND
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	ND
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	ND
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.06
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.02
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	ND
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	ND
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	ND
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	—	—	ND
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	—	—	ND
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	—	—	ND
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	0.02	—	ND
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	2.3	1.9	2.2	2.5	1.3	2.1	1.5	1.1

(表-3-9)

項目	河川名	尼寺排水路				真弓川			
	測定地点	恩曾川合流前				荻野川合流前			
	年月日	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16
項目	環境基準	9:30	9:50	9:30	10:00	13:30	14:30	12:40	11:10
水温 (°C)	—	20.0	25.1	16.3	15.0	20.3	26.3	13.8	9.8
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	41	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	7.3	7.2	7.2	7.2	8.1	8.1	8.0	8.4
BOD (mg/l)	2以下	2.4	12	33	16	1.8	1.0	1.3	2.1
COD (mg/l)	—	2.8	13	31	17	3.0	1.8	1.9	2.7
SS (mg/l)	25以下	1	10	3	6	6	<1	2	1
DO (mg/l)	7.5以上	8.8	6.6	5.1	3.7	8.4	8.7	10.8	14.4
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.3×10^4	4.6×10^4	3.5×10^5	9.2×10^5	2.2×10^4	3.3×10^4	1.1×10^4	7.9×10^2
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	1.1	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.029	0.059	0.049	0.063	0.12	0.071	0.075	0.12
りん酸性りん (mg/l)	—	<0.005	<0.005	0.010	0.007	0.089	0.048	0.064	0.10
全窒素 (mg/l)	—	3.2	3.3	3.2	3.1	3.1	2.7	2.6	3.4
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.06	<0.04	<0.04	0.1	0.19	0.05	<0.04	0.1
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	0.11	0.41	0.24	<0.05	<0.05	<0.05	0.07
硝酸性窒素 (mg/l)	—	3.0	2.3	2.4	2.3	2.2	2.3	1.8	2.8
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	ND	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	0.04	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	0.28	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	0.05	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	0.1	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	ND	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	ND	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	0.0006	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	ND	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	ND	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	ND	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	ND	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	3.0	2.4	2.8	2.5	2.2	2.3	1.8	2.9

(表-3-10)

	河川名	干 無 川				善 明 川			
	測定地点	小鮎川合流前				長坂青少年広場南			
	年月日	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16	15.5.22	15.8.25	15.11.17	16.2.16
項 目	環境基準	11:15	11:15	10:40	11:20	10:10	9:55	10:00	10:30
水温 (°C)	—	20.4	24.5	16.8	13.2	19.8	23.2	15.5	11.7
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	40	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	8.0	8.2	8.3	9.3	7.8	7.7	8.0	7.8
BOD (mg/l)	2以下	1.9	1.3	1.2	2.2	2.0	1.1	1.6	1.6
COD (mg/l)	—	2.8	2.0	1.6	2.9	3.2	2.1	1.8	1.8
SS (mg/l)	25以下	9	4	<1	2	11	6	2	1
DO (mg/l)	7.5以上	9.8	9.3	13.0	15.5	9.1	8.5	10.3	11.4
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.1×10 ⁴	3.3×10 ⁴	1.4×10 ³	2.3×10 ²	7.9×10 ³	7.0×10 ³	1.1×10 ⁴	1.1×10 ⁴
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.065	0.047	0.054	0.043	0.080	0.042	0.084	0.10
りん酸性りん (mg/l)	—	0.021	0.022	0.048	0.036	0.021	0.014	0.064	0.085
全窒素 (mg/l)	—	1.7	2.2	4.0	4.5	1.7	3.1	4.5	6.7
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.10	<0.04	0.06	<0.04	0.06	0.10	0.09	0.35
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.05	<0.05	0.07
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.5	2.0	3.2	3.4	1.2	2.5	3.4	5.6
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	—	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	—	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	0.0006	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
チラウム (mg/l)	0.006以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	—	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.5	2.0	3.2	3.5	1.2	2.5	3.4	5.7

(表-3-11)

項目	河川名	境 田 川				華巖排水路			
	測定地点	相模川合流前				小鮎川合流前			
	年月日	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16
	環境基準	13:50	14:00	13:20	14:00	10:20	11:10	10:25	10:10
水温 (°C)	—	23.5	24.0	15.8	11.5	17.2	22.3	14.4	8.3
透視度 (cm)	—	>50	>50	>50	>50	41	>50	23	>50
pH	6.5以上8.5以下	8.4	8.7	8.8	9.8	8.1	8.1	8.1	8.1
BOD (mg/l)	2以下	1.8	1.2	1.6	3.5	1.5	1.0	1.0	1.6
COD (mg/l)	—	3.4	1.9	4.0	6.6	3.0	2.3	3.2	2.8
SS (mg/l)	25以下	<1	4	2	6	12	4	20	3
DO (mg/l)	7.5以上	9.3	9.8	12.4	18.9	8.5	9.0	10.0	11.9
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	3.3×10 ³	7.9×10 ³	1.1×10 ³	3.3×10 ³	3.3×10 ³	1.7×10 ⁴	7.9×10 ²	1.1×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	<0.5	—	<0.5	—	0.5
全りん (mg/l)	—	0.093	0.056	0.10	0.22	0.32	0.22	0.24	0.36
りん酸性りん (mg/l)	—	0.065	0.029	0.096	0.15	0.30	0.20	0.23	0.34
全窒素 (mg/l)	—	1.9	2.0	2.2	3.2	2.8	2.1	2.5	2.4
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.06	<0.04	<0.04	0.06	<0.04	0.05	<0.04	0.06
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	0.07	0.09	<0.05	<0.05	<0.05	0.10
硝酸性窒素 (mg/l)	—	1.6	1.6	1.8	2.3	2.4	1.9	1.7	1.9
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
銅 (mg/l)	—	—	0.01	—	—	—	—	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	0.09	—	—	—	—	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	—	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	—	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	—	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	0.02	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.6	1.6	1.9	2.4	2.4	1.9	1.7	2.0

(表-3-12)

項目	河川名	山 際 川				笠 張 川			
	測定地点	相模川合流前				下津古久地内			
	年月日	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 16	15. 5. 22	15. 8. 25	15. 11. 17	16. 2. 26
環境基準	10:40	10:35	—	—	14:20	14:40	14:00	14:45	
水温 (°C)	—	22.1	22.5	—	—	19.3	28.0	17.1	10.0
透視度 (cm)	—	>50	>50	—	—	>50	>50	>50	>50
pH	6.5以上8.5以下	8.2	8.7	—	—	7.6	7.6	7.5	7.7
BOD (mg/l)	2以下	2.4	1.3	—	—	1.8	1.2	1.7	11.0
COD (mg/l)	—	3.4	2.1	—	—	2.7	3.0	2.8	16.0
SS (mg/l)	25以下	8	10	—	—	6	5	3	7
DO (mg/l)	7.5以上	9.0	9.7	—	—	8.4	10.2	10.7	10.2
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	1.1×10 ⁴	1.3×10 ⁴	—	—	1.3×10 ⁴	4.6×10 ⁴	2.2×10 ⁴	1.7×10 ³
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	—	—	<0.5	—	—	—	<0.5	—	<0.5
全りん (mg/l)	—	0.091	0.051	—	—	0.082	0.077	0.16	0.48
りん酸性りん (mg/l)	—	0.056	0.024	—	—	0.061	0.049	0.15	0.36
全窒素 (mg/l)	—	1.2	1.6	—	—	1.9	1.5	3.2	5.7
アンモニア性窒素 (mg/l)	—	0.06	<0.04	—	—	0.06	<0.04	0.09	2.60
亜硝酸性窒素 (mg/l)	—	<0.05	<0.05	—	—	<0.05	<0.05	<0.05	0.22
硝酸性窒素 (mg/l)	—	0.87	1.4	—	—	1.6	0.98	2.4	2.8
カドミウム (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
全シアン (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
鉛 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
6価クロム (mg/l)	0.05以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ひ素 (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総水銀 (mg/l)	0.005以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
銅 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
亜鉛 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
溶解性鉄 (mg/l)	—	—	0.08	—	—	—	0.08	—	—
溶解性マンガン (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
総クロム (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ふっ素 (mg/l)	—	—	0.1	—	—	—	ND	—	—
ニッケル (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
フェノール類 (mg/l)	—	—	ND	—	—	—	ND	—	—
PCB (mg/l)	検出されないこと	—	ND	—	—	—	ND	—	—
トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.04以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ベンゼン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	0.002以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
シマジン (mg/l)	0.03以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
チウラム (mg/l)	0.006以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
セレン (mg/l)	0.01以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
ほう素 (mg/l)	1以下	—	ND	—	—	—	ND	—	—
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	0.87	1.4	—	—	1.6	0.98	2.4	3.0

(表-4)

項 目	定量下限値
水温	—
透視度	—
pH	—
BOD	0.1 mg/L
COD	0.1 mg/L
SS	0.1 mg/L
DO	0.1 mg/L
大腸菌群数 (MPN/100ml)	1 MPN/100ml
n-ヘキサン抽出物質	0.5 mg/L
全りん	0.001 mg/L
りん酸性りん	0.001 mg/L
全窒素	0.1 mg/L
アンモニア性窒素	0.1 mg/L
亜硝酸性窒素	0.1 mg/L
硝酸性窒素	0.1 mg/L
亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素	—
カドミウム	0.001 mg/L
全シアン	0.01 mg/L
鉛	0.005 mg/L
6価クロム	0.02 mg/L
ひ素	0.005 mg/L
総水銀	0.0005 mg/L
銅	0.01 mg/L
亜鉛	0.01 mg/L
溶解性鉄	0.02 mg/L
溶解性マンガン	0.01 mg/L
総クロム	0.02 mg/L
ふっ素	0.1 mg/L
ニッケル	0.008 mg/L
フェノール類	0.005 mg/L
PCB	0.0005 mg/L
アルキル水銀	0.0005 mg/L
トリクロロエチレン	0.002 mg/L
テトラクロロエチレン	0.0005 mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	0.0005 mg/L
四塩化炭素	0.0002 mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.002 mg/L
ジクロロメタン	0.002 mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.004 mg/L
ベンゼン	0.001 mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.0004 mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.0006 mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.0002 mg/L
シマジン	0.0003 mg/L
チウラム	0.0006 mg/L
チオベンカルブ	0.002 mg/L
セレン	0.002 mg/L
ほう素	0.02 mg/L

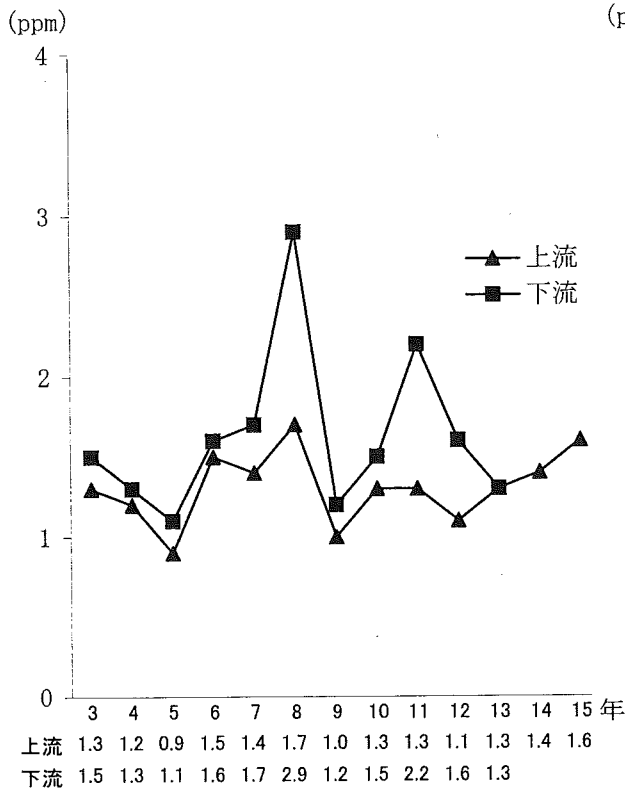
*…結果表中の“ND”は、定量下限値以下を示す。

BOD (生物化学的酸素要求量)の経年変化

一級河川名	調査場所	環境基準	BOD生物化学的酸素要求量 (年平均値 単位:mg / L)						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
相模川	上依知・昭和橋	2 mg/L以下	1.0	1.3	1.3	1.1	1.3	1.4	1.6
	戸田地内		1.2	1.5	2.2	1.6	1.3	-	-
中津川	三田・才戸橋	適用なし	1.0	1.4	1.2	0.8	1.0	1.3	1.2
	妻田東・第一鮎津橋		1.0	1.5	1.3	1.1	0.9	1.4	1.5
荻野川	上荻野地内		1.0	3.0	1.4	1.1	1.4	2.0	2.0
	中荻野・権現堂橋		1.1	1.3	1.6	1.5	1.0	1.5	1.4
	及川・十二天橋		1.1	1.1	1.3	1.0	1.0	1.3	1.2
	妻田西2丁目		1.3	1.2	1.8	1.4	1.2	1.4	1.3
小鮎川	飯山・華厳橋		3.5	3.6	5.6	3.4	4.1	4.0	7.8
	飯山・久保橋		5.9	6.2	10.6	6.2	6.2	5.9	5.0
	飯山・小鮎橋		4.7	3.3	4.3	5.6	6.8	5.7	7.7
	第二鮎津橋		1.8	1.5	2.4	2.8	3.9	2.2	2.5
玉川	七沢地内		1.3	1.5	1.7	1.3	1.4	2.2	1.8
	長谷・川久保橋		1.0	1.6	1.4	1.3	1.4	1.7	1.6
	酒井・八木間橋		2.0	1.3	1.6	1.2	1.1	1.4	1.5
	酒井・酒井橋		2.0	3.4	2.5	2.4	2.3	2.4	3.0
細田川	小野地内		1.4	1.8	2.5	2.2	1.3	2.7	1.8

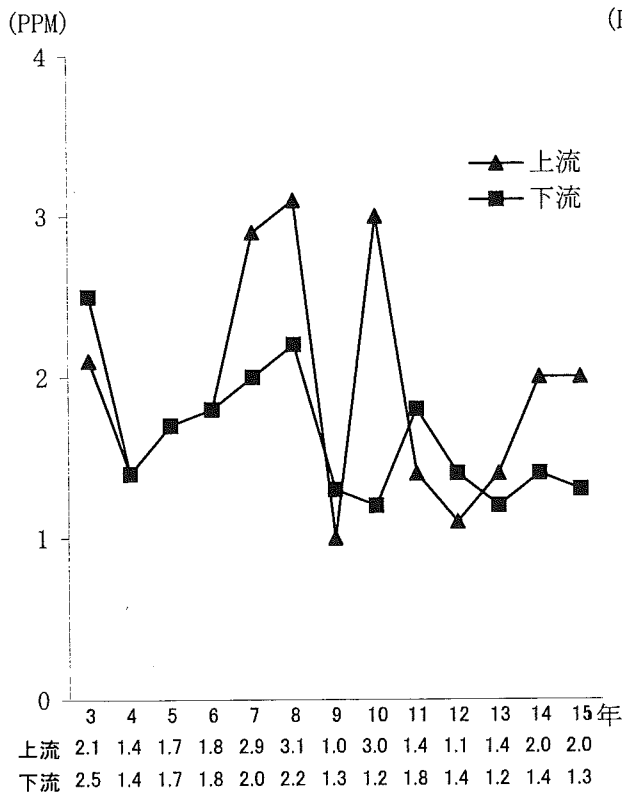
準用河川名	調査場所	環境基準	BOD生物化学的酸素要求量 (年平均値 単位:mg / L)						
			9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度
恩曾川	上古沢地内	適用なし	0.9	0.7	1.0	0.9	0.9	1.2	1.0
	温水1534		5.9	6.4	8.5	7.3	4.9	8.9	4.2
	温水570		4.7	2.2	3.3	3.7	2.5	6.0	2.8
	酒井地内		1.8	1.7	2.3	1.7	3.0	2.6	1.8
山際川	小平橋下流		1.8	2.2	5.0	1.6	1.9	1.8	1.9
善明川	長坂青少年広場東		1.0	1.5	1.8	1.4	1.4	2.0	1.6

相模川のBODの経年変化(図-2-1)

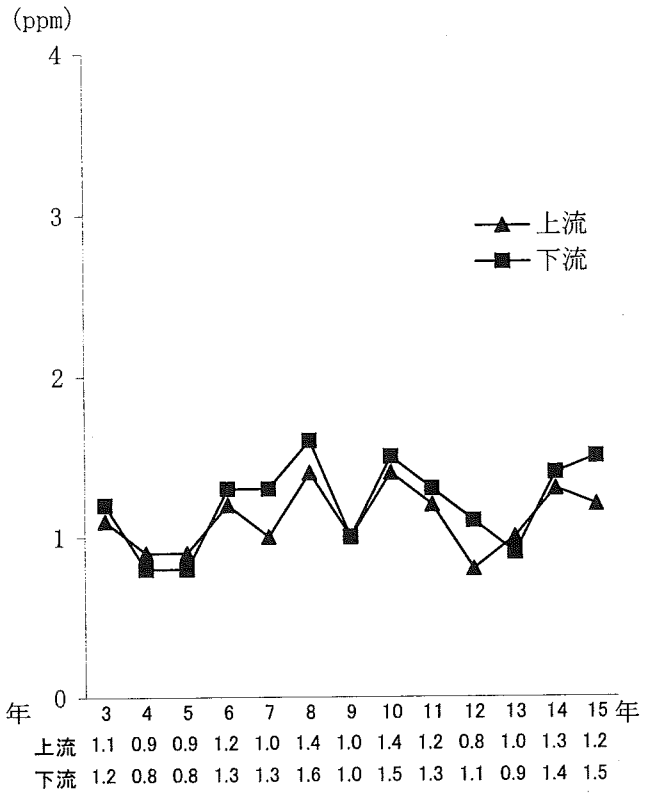


※相模川下流は平成14年度以降調査を実施しておりません。

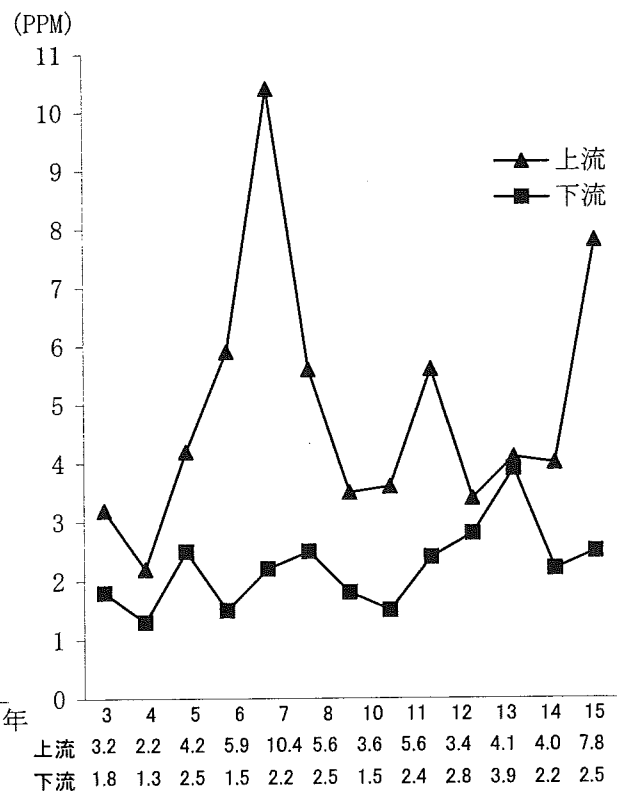
荻野川のBODの経年変化(図-2-3)



中津川のBODの経年変化(図-2-2)

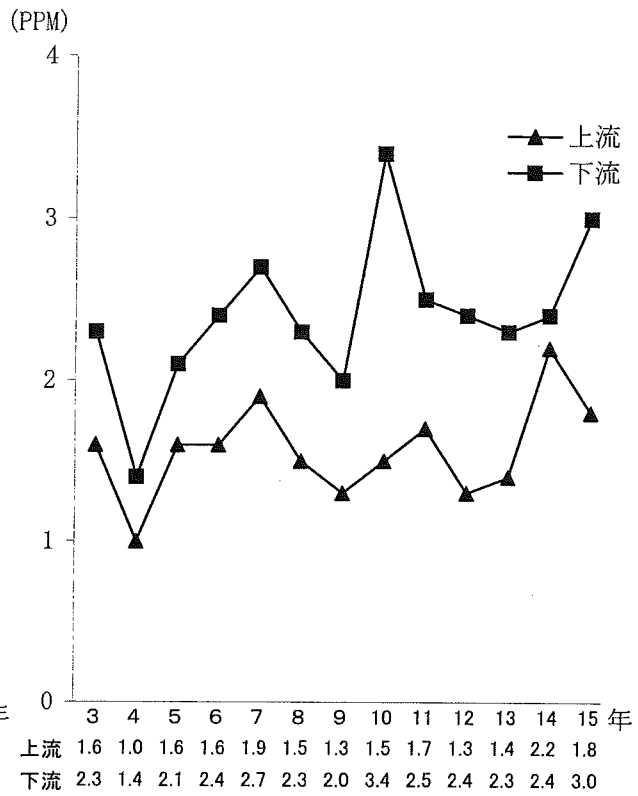
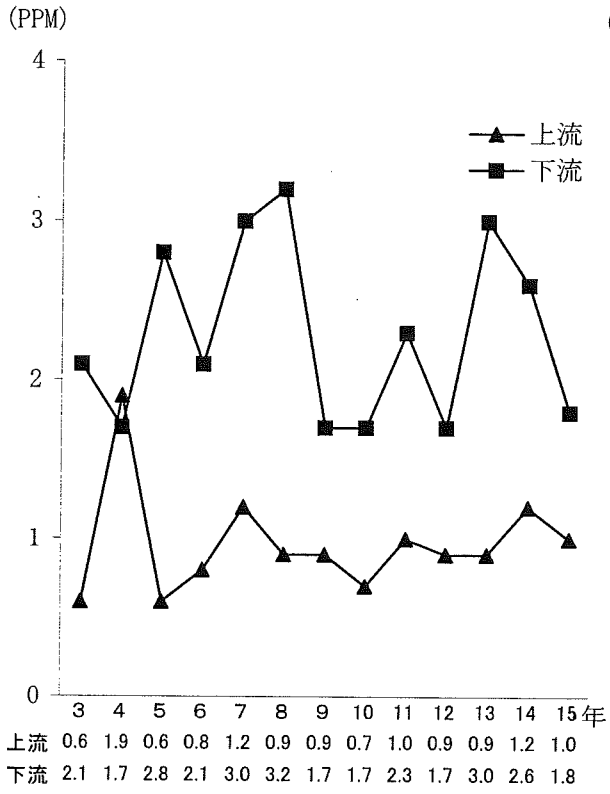


小鮎川のBODの経年変化(図-2-4)



恩曾川のBODの経年変化(図-2-5)

玉川のBODの経年変化(図-2-6)



(4) 恩曾川及び小鮎川の連続水質調査

恩曾川及び小鮎川は、10月から翌年4月までの渇水期に汚れが目立つため、1時間毎の水質調査を実施した。

① 恩曾川連続水質調査

ア 調査年月日

平成15年11月10日(月) 午前4時～午前7時30分

イ 採水地点

恩曾川上流(上古沢1711番地南側)

本禅寺付近(下古沢324番地南側)

高坪堰(温水1534番地付近)

ウ 採水頻度

1時間ごとに一回採水し、計4回採水した。

エ 分析項目

水温、気温、pH、SS、BOD、COD、全りん、全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、DO、りん酸性りん、大腸菌群数、透視度、外観、臭気、色相

オ 分析方法

JIS K 0102 工場排水試験法ほか

カ 調査結果

有機性汚濁の指標であるBODについて各調査場所毎に結果を比較すると、上流の上古沢1711番地南側は、4回調査の平均値が0.8mg/lと良好な結果で、この付近及び上流からの有機性汚濁は見られなかった。

本禅寺付近では平成14年11月27日に実施した平成14年度調査の平均値7.3mg/lに対し2.4mg/lと改善が見られたものの、最高で3.0mg/lを記録するなど、上流と比較して有機性汚濁の影響が見られる結果となった。

高坪堰では、午前7時30分に今回調査の最高値3.6mg/lが記録されたが、昨年度調査結果の最高値(平成14年11月27日午前5時50分採取分)36mg/lと比較して10分の1の数値であった。

恩曾川については平成14年度に比べて良好になったといえるものの、相模川に適用される環境基準(2mg/l)と比べると、上流を除いて依然高い数値であるため、今後も有機性汚濁について監視が必要である。

その他の項目については、窒素系項目・りん酸性りん、大腸菌群とも、上流の上古沢地内と本禅寺付近の間で上昇が見られ、これに伴いDOの値が下降している。

調査項目		上流（上古沢1711番地南側）					本禅寺付近（下古沢324番地南側）					高坪堰（温水1534番地付近）				
試料名	単位	1回目	2回目	3回目	4回目	平均値	1回目	2回目	3回目	4回目	平均値	1回目	2回目	3回目	4回目	平均値
		4:00	5:00	6:00	7:00	—	4:15	5:15	6:15	7:15	—	4:30	5:30	6:30	7:30	—
気温	℃	12.8	12.0	11.6	12.4	12.3	12.4	11.7	11.8	11.8	11.9	12.0	11.7	11.4	11.7	11.6
水温	℃	14.8	14.7	14.3	14.4	14.6	15.6	15.6	15.6	15.2	15.5	15.6	15.4	15.4	15.3	15.4
水素イオン濃度 (pH)	—	7.7	7.8	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
浮遊物質量 (SS)	mg/l	2	2	2	2	2	3	4	3	5	4	2	3	6	7	5
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	0.8	0.7	0.7	0.9	0.8	2.1	2.3	2.0	3.0	2.4	2.2	2.2	2.9	3.6	2.7
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	1.7	1.6	1.7	2.0	1.7	4.2	4.4	4.5	5.0	4.4	4.3	5.9	4.7	4.9	5.0
全りん	mg/l	0.045	0.032	0.036	0.060	0.038	0.23	0.22	0.23	0.28	0.24	0.22	0.21	0.25	0.23	0.23
全窒素	mg/l	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	7.6	7.3	7.1	7.7	7.4	5.6	5.3	5.2	5.8	5.5
アンモニア性窒素	mg/l	0.13	0.26	0.06	0.05	0.13	4.1	4.2	3.4	3.8	3.9	2.1	1.7	1.8	1.9	1.9
亜硝酸性窒素	mg/l	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.27	0.26	0.22	0.30	0.25	0.22	0.23	0.23	0.27	0.30
硝酸性窒素	mg/l	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	3.0	3.0	2.9	2.9	2.9
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	2.7	2.7	2.6	2.7	2.7	3.2	3.2	3.1	3.2	3.2
溶存酸素量 (DO)	mg/l	9.8	9.8	9.8	9.8	9.8	7.6	7.8	7.5	7.7	7.7	8.7	8.5	8.6	8.4	8.6
りん酸性りん	mg/l	0.029	0.023	0.029	0.052	0.033	0.16	0.16	0.18	0.20	0.17	0.17	0.17	0.20	0.18	0.17
大腸菌群数	MPN/100ml	7900	2800	7000	4900	5650	21000	7000	21000	24000	18250	79000	22000	17000	17000	33750
透視度	度	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50	>50
外観	—	異常なし				—	異常なし				—	異常なし				—
臭気	—	無臭				—	無臭				—	無臭				—
色相	—	無色透明				—	無色透明				—	無色透明				—

恩曾川連続水質調査 地点図



②小鮎川連続水質調査

ア 調査年月日

平成16年2月18日(水) 午前4時～午前7時

イ 採水地点

相模華厳橋(飯山5747-2番地東側)

尾台橋(飯山5113番地北側)

田野崎橋(飯山5411番地付近)

ウ 採水頻度

午前4時から20分毎に採水し、地点ごとに各10回採取した。

エ 分析項目

水温、気温、pH、SS、BOD、COD、DO、n-ヘキサン抽出物質、全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、全りん、りん酸性りん、大腸菌群数、透視度、外観、臭気、色相

オ 分析方法

JIS K 0102 工場排水試験法ほか

カ 調査結果

有機性汚濁の指標であるBODについて各調査場所毎に結果を見てみると、最高値が相模華厳橋の1回目及び7回目の50mg/lであるなど平成15年2月3日に実施した平成15年度の調査と比較して全地点で大幅に悪化していた。

調査地点のうち最上流の相模華厳橋が一番BODが高いということは、原因が更に上流に存在することを示唆している。

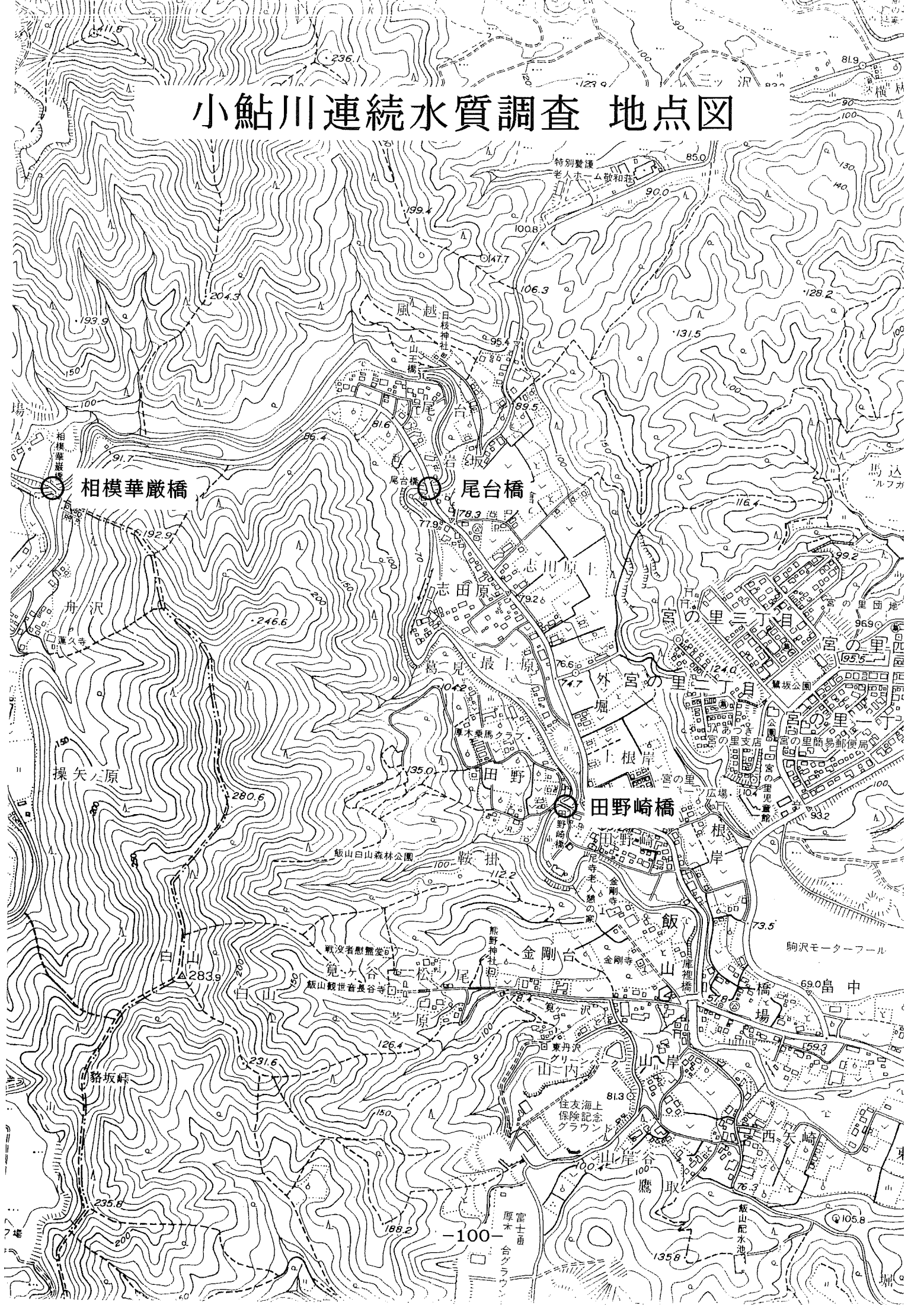
相模華厳橋は、厚木市と清川村の境界にある橋で、これより上流は清川村となっている。清川村及び清川村内で水質汚濁防止法の事務権限を有する県央地区行政センター環境部の調査により原因者が清川村村内であることが分かった。このため現在、両者により原因者に対し対策を指導中である。

調査項目		相模華厳橋										
試料名	単位	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	平均
		4:00	4:20	4:40	5:00	5:20	5:40	6:00	6:20	6:40	7:00	—
気温	℃	-1.0	-1.2	-1.2	-1.3	-1.2	-1.2	-1.1	-1.0	-1.0	-1.0	-1.1
水温	℃	5.5	5.5	5.4	5.4	5.3	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	5.2
水素イオン濃度 (pH)	—	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6
生物学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	50	45	36	28	35	42	50	45	40	43	41
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	27	23	17	15	19	24	25	25	21	23	23
浮遊物質 (SS)	mg/l	62	49	48	32	34	56	51	47	44	46	47
溶存酸素量 (DO)	mg/l	11.2	11.2	11.2	11.4	11.4	11.1	11.1	11.1	10.4	11.0	11.1
大腸菌群数	MPN/100ml	13000	4900	3300	2100	4900	4900	7900	11000	3300	4900	6020
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	2.2	2.0	1.0	0.9	1.4	1.6	1.9	1.9	1.6	1.8	1.7
全窒素	mg/l	12.0	11.0	8.9	7.1	9.5	9.9	12.0	13.0	9.8	11.0	9.8
全りん	mg/l	2.4	1.8	1.4	1.2	1.6	1.8	2.8	2.1	1.8	1.7	1.9
亜硝酸性窒素	mg/l	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素	mg/l	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
アンモニア性窒素	mg/l	4.3	3.5	2.6	2.6	2.9	2.9	3.9	3.8	3.4	3.4	3.3
りん酸性りん	mg/l	1.10	0.96	0.77	0.69	0.84	0.95	1.10	1.10	0.93	0.94	0.94
透視度	度	9	9	11	9	9	8	7	8	7	7	8
外観	—	懸濁物あり										—
臭気	—	家畜様臭										—
色相	—	明るい灰色										—

調査項目		尾台橋										
試料名	単位	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	平均
		4:00	4:20	4:40	5:00	5:20	5:40	6:00	6:20	6:40	7:00	—
気温	℃	-1	-1	-1.5	-1.6	-1.7	-1.8	-1.8	-1.5	-0.8	-0.8	-1.4
水温	℃	5.1	5.1	5.2	5.2	5.1	5.2	5.0	5.0	5.0	4.9	5.1
水素イオン濃度 (pH)	—	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6	7.6
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	21	25	28	30	30	30	30	33	33	28	28
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	13	15	16	17	17	17	17	18	17	17	16
浮遊物質 (SS)	mg/l	19	22	26	29	30	29	30	32	30	26	27
溶存酸素量 (DO)	mg/l	10.8	10.9	10.9	10.8	10.9	10.9	11.0	10.9	11.0	11.2	11.1
大腸菌群数	MPN/100ml	7900	3300	13000	14000	13000	4900	7900	7000	13000	7000	9100
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	0.6	0.8	1.1	1.0	1.3	1.2	0.9	1.1	0.6	<0.5	1.0
全窒素	mg/l	7.4	7.0	8.3	9.4	9.1	7.7	8.1	8.7	9.5	8.2	8.8
全りん	mg/l	1.2	1.3	1.5	1.5	1.6	1.7	1.8	2.2	1.6	1.5	1.6
亜硝酸性窒素	mg/l	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
硝酸性窒素	mg/l	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
アンモニア性窒素	mg/l	2.6	2.5	2.9	3.0	2.7	3.1	3.0	2.7	3.1	2.3	2.7
りん酸性りん	mg/l	0.71	0.79	0.89	0.93	0.90	0.88	0.88	0.93	0.92	0.87	0.86
透視度	度	17	14	12	11	13	11	12	10	11	11	12
外観	—	懸濁物あり										—
臭気	—	家畜様臭										—
色相	—	明るい灰色										—

調査項目		田野崎橋										
試料名	単位	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	平均
		4:00	4:20	4:40	5:00	5:20	5:40	6:00	6:20	6:40	7:00	—
気温	℃	-1	-1.1	-1.1	-1.1	-0.8	-0.6	-1.1	-1.2	-1.3	-0.3	-1
水温	℃	5.0	5.2	4.9	5.1	4.8	4.8	4.4	4.5	4.2	4.5	4.7
水素イオン濃度 (pH)	—	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	7.6	7.6	7.5	7.5	7.5
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/l	16	16	17	18	18	17	18	18	20	22	17
化学的酸素要求量 (COD)	mg/l	11	11	11	11	11	11	11	11	12	13	11
浮遊物質 (SS)	mg/l	14	14	14	14	14	14	13	15	16	19	15
溶存酸素量 (DO)	mg/l	10.4	10.2	10.3	10.4	10.7	10.8	10.6	10.7	10.7	10.7	10.5
大腸菌群数	MPN/100ml	4600	7900	13000	13000	13000	7900	2600	2100	4600	4900	7360
n-ヘキサン抽出物質	mg/l	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
全窒素	mg/l	6.5	6.7	6.7	7.2	6.5	6.7	6.3	6.9	6.9	7.0	6.8
全りん	mg/l	1.1	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1	1.2	1.1	1.3	1.3	1.2
亜硝酸性窒素	mg/l	0.06	0.06	0.05	0.06	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05
硝酸性窒素	mg/l	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/l	1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
アンモニア性窒素	mg/l	2.3	2.3	2.3	1.9	1.9	2.2	2.2	2.2	2.3	2.5	2.2
りん酸性りん	mg/l	0.72	0.72	0.73	0.74	0.72	0.70	0.76	0.72	0.78	0.83	0.74
透視度	度	21	21	19	19	20	20	21	21	17	16	20
外観	—	懸濁物あり										—
臭気	—	家畜様臭										—
色相	—	明るい灰色										—

小鮎川連続水質調査 地点図



(5) 工場排水調査

本市の工場、事業所から排出される排水は、近くの水路等を経て相模川に流入し、相模大堰や寒川取水堰で上水道水として取水されるため、水質汚濁防止法や神奈川県生活環境の保全等に関する条例により厳しい排水規制が行われている。

平成14年度から本市が水質汚濁防止法上の政令市になったことから、従来の条例に基づく立入調査に加え、水質汚濁防止法に基づく工場等への立入調査を実施し、工場排水の監視測定と指導を行った。

①工場排水調査(1回目)

調査期間 平成15年10月10日～平成15年12月19日

対象工場 県条例の指定事業所や水質汚濁防止法の特定工場のうち、排水量の多い事業所及び環境上の影響が大きいと考えられる事業所

調査工場数 14社 (18箇所採取)

排水基準違反工場数 9社 (違反率64.3%)

違反項目数 6項目 (pH、BOD、n-ヘキサン抽出物質、大腸菌群数、フェノール類、ジクロロメタン)

調査結果 排水を採取した14社のうち9社が県条例及び水質汚濁防止法に定める基準を満足できなかった。

37項目の物質を分析し、6項目に基準超過が見られた。分析検体数は388検体で、このうち12検体に基準超過が見られた。

②工場排水調査(2回目)

調査期間 平成16年1月26日～平成16年3月19日

対象工場 1回目の調査で排水基準違反がみられた事業所

調査工場数 9社 (11箇所採取)

排水基準違反工場数 4社 (違反率44.4%)

違反項目数 4項目 (pH、SS、大腸菌群数、フェノール類)

調査結果 排水を採取した9社のうち4社が県条例及び水質汚濁防止法に定める基準を満足できなかった。

37項目の物質を分析し、4項目に基準超過が見られた。分析検体数は234検体で、このうち8検体に基準超過が見られた。

調査番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	総水銀
		基準値	5.8~8.6	70	25	25	5	0.05	8	0.5	0.005
1-A	上依知	-	7.5	12	43	40	<1.0	0.006	0.4	<0.01	<0.0005
1-B	上依知	-	7.5	<2.0	<1.0	8.3	<1.0	-	-	-	-
3	上依知	-	7.4	5.5	4.9	10	<1.0	<0.005	<0.1	<0.01	<0.0005
5	七沢	-	7.4	<2.0	<1.0	2.6	<1.0	0.009	<0.1	<0.01	<0.0005
6-A	七沢	-	7.4	33	1.1	16	<1.0	0.014	<0.1	<0.01	<0.0005
6-B	七沢	-	8.0	<2.0	<1.0	3.5	<1.0	-	-	-	-
8	上古沢	-	7.4	<2.0	<1.0	2.1	<1.0	<0.005	0.2	<0.01	<0.0005
9	酒井	-	7.3	9.9	21	9.4	<1.0	0.14	2.8	<0.01	<0.0005

調査番号	地区	項目	カドミウム	鉛	ひ素	六価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
		基準値	0.05	0.1	0.1	0.5	1	1	1	1	1
1-A	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.08	<0.05	<0.02	<0.05
1-B	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.03	<0.05
5	七沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.06	<0.05	<0.02	<0.05
6-A	七沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.10	<0.05	<0.02	<0.05
6-B	七沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	上古沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.23	<0.05	0.03	<0.05
9	酒井	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.17	0.16

調査番号	地区	項目	ニッケル	ほう素	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
		基準値	1	10	100	3000	0.3	0.1	3
1-A	上依知	-	<0.05	<0.1	8.4	100	<0.002	<0.0005	<0.0005
1-B	上依知	-	-	-	-	0	-	-	-
3	上依知	-	<0.05	<0.1	3.6	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
5	七沢	-	<0.05	<0.1	7.1	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
6-A	七沢	-	<0.05	<0.1	8.2	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
6-B	七沢	-	-	-	-	66	-	-	-
8	上古沢	-	<0.05	<0.1	3.8	0	0.016	<0.0005	<0.0005
9	酒井	-	<0.05	0.1	1.7	8600	<0.002	<0.0005	<0.0005

調査番号	地区	項目	四塩化炭素	1,1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1,2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	セレン
		基準値	0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
1-A	上依知	-	<0.0002	<0.02	0.21	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
1-B	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
5	七沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
6-A	七沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
6-B	七沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	上古沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
9	酒井	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

調査番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	水銀
		基準値	5.8~8.6	35	15	15	3	0.005	0.8	検出されないこと	0.005
2	上依知	-	7.5	5.7	5.8	11	11	<0.005	0.1	<0.01	<0.0005
4-A	上萩野	-	7.1	15	11	21	1.5	0.010	<0.1	<0.01	<0.0005
4-B	上萩野	-	7.2	6.9	1.4	11	<1.0	0.005	0.1	<0.01	<0.0005
7	下古沢	-	7.7	14	1.6	9.2	<1.0	-	-	-	-
14	上古沢	-	7.6	14	2.1	8.7	<1.0	0.006	<0.1	<0.01	<0.0005

調査番号	地区	項目	カドミウム	鉛	ひ素	六価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
		基準値	検出されないこと	0.05	0.01	0.05	0.1	1	1	0.3	0.3
2	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.03	<0.05
4-A	上萩野	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	<0.05
4-B	上萩野	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	0.06
7	下古沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.03	<0.05
14	上古沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.05	<0.05	<0.02	0.16

調査番号	地区	項目	ニッケル	ほう素	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロエチレン	テトラクロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
		基準値	0.3	10	100	3000	0.3	0.1	3
2	上依知	-	<0.05	<0.1	6.0	41	<0.002	<0.0005	<0.0005
4-A	上萩野	-	<0.05	<0.1	8.7	210	<0.002	<0.0005	<0.0005
4-B	上萩野	-	<0.05	<0.1	12	0	<0.002	<0.0005	<0.0005
7	下古沢	-	-	-	-	3*	-	-	-
14	上古沢	-	<0.05	<0.1	5.1	11	<0.002	<0.0005	<0.0005

調査番号	地区	項目	四塩化炭素	1,1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1,2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	セレン
		基準値	0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
2	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
4-A	上萩野	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
4-B	上萩野	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
7	下古沢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	上古沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

※ 7の大腸菌群数については、減菌前の採水のため参考値です。

調査 番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	大腸菌群数
		基準値	5.8~8.6	200	160	160	-	3000
10-A	飯山	-	7.8	84	86	140	4.4	2000
10-B	飯山	-	8.9	4.6	15	49	1.1	2100
11	三田	-	7.4	74	110	93	6.4	10000以上
12	上萩野	-	8.2	120	190	160	11	10000以上
13	中萩野	-	3.7	110	8.1	70	<1.0	0

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

調査 番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	総水銀
		基準値	5.8~8.6	70	25	25	5	0.05	8	0.5	0.005
1-A	上依知	-	7.8	2.4	2.3	4.5	<1.0	<0.005	0.3	<0.01	<0.0005
1-B	上依知	-	7.3	24	7.3	31	1.4	-	-	-	-
3	上古沢	-	7.5	<2.0	5.4	8.3	1.1	0.006	0.9	<0.01	<0.0005
4	酒井	-	7.6	4.1	8.4	4.9	<1.0	0.005	2.0	<0.01	<0.0005

調査 番号	地区	項目	カルシウム	鉛	ひ素	六価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
		基準値	0.05	0.1	0.1	0.5	1	1	1	1	1
1-A	上依知	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.02	<0.05
1-B	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	上古沢	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.15	<0.05	<0.02	0.05
4	酒井	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.14	0.10

調査 番号	地区	項目	ニッケル	ほう素	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
		基準値	1	10	100	3000	0.3	0.1	3
1-A	上依知	-	<0.05	<0.1	8.2	120	<0.002	<0.0005	<0.0005
1-B	上依知	-	-	-	-	10000以上	-	-	-
3	上古沢	-	<0.05	<0.1	27	48	<0.002	<0.0005	<0.0005
4	酒井	-	<0.05	0.1	2.0	530	<0.002	<0.0005	<0.0005

調査 番号	地区	項目	四塩化炭素	1,1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1,2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	セレン
		基準値	0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
1-A	上依知	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
1-B	上依知	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	上古沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
4	酒井	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

調査番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	n-ヘキサン	フェノール	ふっ素	シアン	総水銀
		基準値	5.8~8.6	35	15	15	3	0.005	0.8	検出されないこと	0.005
2-A	上萩野	-	7.0	28	11	24	<1.0	0.012	<0.1	<0.01	<0.0005
2-B	上萩野	-	6.9	26	7.5	23	1.2	0.008	<0.1	<0.01	<0.0005
9	上古沢	-	7.7	120	8.0	20	<1.0	0.006	0.1	<0.01	<0.0005

調査番号	地区	項目	カドミウム	鉛	ヒ素	六価クロム	クロム	亜鉛	銅	マンガン	鉄
		基準値	検出されないこと	0.05	0.01	0.05	0.1	1	1	0.3	0.3
2-A	上萩野	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	0.02	0.06
2-B	上萩野	-	<0.01	<0.01	<0.01	<0.05	<0.05	0.07	<0.05	<0.02	0.10
9	上古沢	-	<0.01	0.04	<0.01	<0.05	<0.05	0.10	<0.05	<0.02	0.10

調査番号	地区	項目	ニッケル	ほう素	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	大腸菌群数	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
		基準値	0.3	10	100	3000	0.3	0.1	3
2-A	上萩野	-	<0.05	<0.1	12	4600	<0.002	<0.0005	<0.0005
2-B	上萩野	-	<0.05	<0.1	18	7	<0.002	<0.0005	<0.0005
9	上古沢	-	<0.05	<0.1	2.3	57	<0.002	<0.0005	<0.0005

調査番号	地区	項目	四塩化炭素	1,1-ジクロロエチレン	ジクロロメタン	シス-1,2-ジクロロエチレン	ベンゼン	1,2-ジクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	セレン
		基準値	0.02	0.2	0.2	0.4	0.1	0.04	0.06	0.02	0.1
2-A	上萩野	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
2-B	上萩野	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01
9	上古沢	-	<0.0002	<0.02	<0.02	<0.04	<0.01	<0.004	<0.006	<0.002	<0.01

調査番号	地区	項目	pH	SS	BOD	COD	大腸菌群数	アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物
		基準値	5.8~8.6	200	160	160	3000	100
5	飯山	-	7.9	<2.0	1.3	3.3	0	4.9
6	三田	-	7.3	24	51	49	0	9.9
7	上萩野	-	6.6	74	88	440	310	250
8	中萩野	-	5.4	330	71	370	0	140

(単位：pHは水素指数、大腸菌群数は個/cm³、その他の項目はmg/l)

(6) 地下水水質調査

①尼寺工業団地周辺地下水水質調査（1回目）

平成7年に行なった地下水調査で、尼寺工業団地（厚木市恩名）周辺の井戸から、環境基準を超えるトリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンが検出された。その後、神奈川県との協力を得て、周辺地域の地下水水質調査を行ってきたが、その都度環境基準を超える物質が検出されている。

また、平成15年3月には、工業団地内事業所の自主調査において敷地内土壌に六価クロム、トリクロロエチレン及び1,1,1-トリクロロエタンによる汚染が確認された。

これらの経緯を受けて、尼寺工業団地周辺の災害時応急給水用井戸を対象に地下水水質調査を行った。

調査期間 平成15年9月19日及び平成15年9月22日

調査項目 トリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、六価クロム

調査結果 各調査場所の分析結果は表-1のとおりである。1箇所（No.1）の井戸で、環境基準を超えるテトラクロロエチレンが検出された。1,1,1-トリクロロエタン及び六価クロムについては、環境基準を超えた井戸はなかった。

表-1 (単位はmg/L)

分析結果	トリクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	六価クロム
環境基準	0.03 以下	1 以下	0.05 以下
No.1 戸室	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.2 戸室	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.3 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.4 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.5 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.6 恩名	0.029	—	0.02
No.7 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.8 恩名	0.048	—	0.05
No.9 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.10 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.11 恩名	0.0077	0.0005	0.02 未満
No.12 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.13 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.14 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.15 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満

平成15年度尼寺工業団地周辺 地下水水質調査委託(その1)

調査地点図



②尼寺工業団地周辺地下水水質調査（2回目）

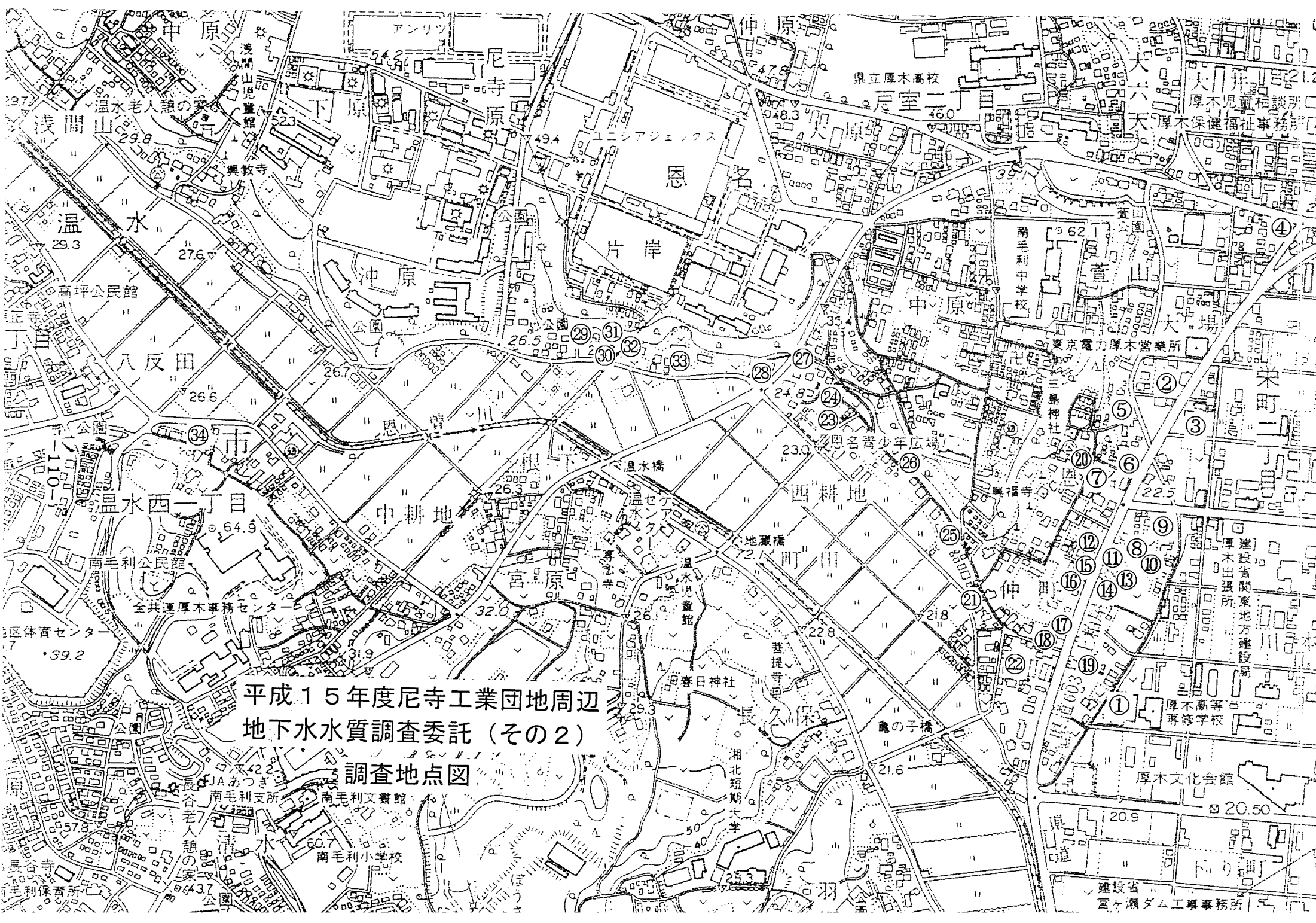
①の調査後、基準超過井戸の周辺地区において追跡調査を行った。

調査期間 平成16年2月18日及び平成16年2月19日

調査結果 各調査場所の分析結果は表-2のとおりである。

表-2 (単位はmg/L)

分析結果	トリクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	六価クロム
環境基準	0.03 以下	1 以下	0.05 以下
No.1 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.2 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.3 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.4 恩名	0.030	0.0017	0.02 未満
No.5 恩名	0.032	0.0066	0.09
No.6 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.7 恩名	0.026	0.0009	0.02 未満
No.8 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.9 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.10 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.11 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.12 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.13 恩名	0.120	0.039	0.08
No.14 恩名	0.093	0.024	0.03
No.15 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.16 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.17 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.18 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.19 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.20 恩名	0.057	0.0019	0.02 未満
No.21 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.22 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.24 恩名	0.043	0.0027	0.02
No.25 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.26 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.27 恩名	0.045	0.0031	0.02 未満
No.28 恩名	0.013	0.0009	0.02 未満
No.29 恩名	0.007	0.0015	0.02 未満
No.31 恩名	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.33 恩名	0.084	0.0005 未満	0.02 未満
No.34 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.35 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満
No.36 温水	0.002 未満	0.0009	0.02 未満
No.37 温水	0.002 未満	0.0005 未満	0.02 未満



平成15年度尼寺工業団地周辺
 地下水水質調査委託（その2）
 調査地点図

建設省
 国土・河川ダム工事業務所

建設省関東地方建設局
 厚木出張所

建設省
 厚木高等専修学校

厚木文化会館

20.9 20.50

21.6 21.8 22.8 22.9 23.0 23.9 24.8 26.5 26.6 26.7 27.6 28.3 29.3 29.7 29.8 30.0 30.1 30.2 30.3 30.4 30.5 30.6 30.7 30.8 30.9 31.0 31.1 31.2 31.3 31.4 31.5 31.6 31.7 31.8 31.9 32.0 32.1 32.2 32.3 32.4 32.5 32.6 32.7 32.8 32.9 33.0 33.1 33.2 33.3 33.4 33.5 33.6 33.7 33.8 33.9 34.0 34.1 34.2 34.3 34.4 34.5 34.6 34.7 34.8 34.9 35.0 35.1 35.2 35.3 35.4 35.5 35.6 35.7 35.8 35.9 36.0 36.1 36.2 36.3 36.4 36.5 36.6 36.7 36.8 36.9 37.0 37.1 37.2 37.3 37.4 37.5 37.6 37.7 37.8 37.9 38.0 38.1 38.2 38.3 38.4 38.5 38.6 38.7 38.8 38.9 39.0 39.1 39.2 39.3 39.4 39.5 39.6 39.7 39.8 39.9 40.0 40.1 40.2 40.3 40.4 40.5 40.6 40.7 40.8 40.9 41.0 41.1 41.2 41.3 41.4 41.5 41.6 41.7 41.8 41.9 42.0 42.1 42.2 42.3 42.4 42.5 42.6 42.7 42.8 42.9 43.0 43.1 43.2 43.3 43.4 43.5 43.6 43.7 43.8 43.9 44.0 44.1 44.2 44.3 44.4 44.5 44.6 44.7 44.8 44.9 45.0 45.1 45.2 45.3 45.4 45.5 45.6 45.7 45.8 45.9 46.0 46.1 46.2 46.3 46.4 46.5 46.6 46.7 46.8 46.9 47.0 47.1 47.2 47.3 47.4 47.5 47.6 47.7 47.8 47.9 48.0 48.1 48.2 48.3 48.4 48.5 48.6 48.7 48.8 48.9 49.0 49.1 49.2 49.3 49.4 49.5 49.6 49.7 49.8 49.9 50.0 50.1 50.2 50.3 50.4 50.5 50.6 50.7 50.8 50.9 51.0 51.1 51.2 51.3 51.4 51.5 51.6 51.7 51.8 51.9 52.0 52.1 52.2 52.3 52.4 52.5 52.6 52.7 52.8 52.9 53.0 53.1 53.2 53.3 53.4 53.5 53.6 53.7 53.8 53.9 54.0 54.1 54.2 54.3 54.4 54.5 54.6 54.7 54.8 54.9 55.0 55.1 55.2 55.3 55.4 55.5 55.6 55.7 55.8 55.9 56.0 56.1 56.2 56.3 56.4 56.5 56.6 56.7 56.8 56.9 57.0 57.1 57.2 57.3 57.4 57.5 57.6 57.7 57.8 57.9 58.0 58.1 58.2 58.3 58.4 58.5 58.6 58.7 58.8 58.9 59.0 59.1 59.2 59.3 59.4 59.5 59.6 59.7 59.8 59.9 60.0 60.1 60.2 60.3 60.4 60.5 60.6 60.7 60.8 60.9 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9 62.0 62.1 62.2 62.3 62.4 62.5 62.6 62.7 62.8 62.9 63.0 63.1 63.2 63.3 63.4 63.5 63.6 63.7 63.8 63.9 64.0 64.1 64.2 64.3 64.4 64.5 64.6 64.7 64.8 64.9 65.0 65.1 65.2 65.3 65.4 65.5 65.6 65.7 65.8 65.9 66.0 66.1 66.2 66.3 66.4 66.5 66.6 66.7 66.8 66.9 67.0 67.1 67.2 67.3 67.4 67.5 67.6 67.7 67.8 67.9 68.0 68.1 68.2 68.3 68.4 68.5 68.6 68.7 68.8 68.9 69.0 69.1 69.2 69.3 69.4 69.5 69.6 69.7 69.8 69.9 70.0 70.1 70.2 70.3 70.4 70.5 70.6 70.7 70.8 70.9 71.0 71.1 71.2 71.3 71.4 71.5 71.6 71.7 71.8 71.9 72.0 72.1 72.2 72.3 72.4 72.5 72.6 72.7 72.8 72.9 73.0 73.1 73.2 73.3 73.4 73.5 73.6 73.7 73.8 73.9 74.0 74.1 74.2 74.3 74.4 74.5 74.6 74.7 74.8 74.9 75.0 75.1 75.2 75.3 75.4 75.5 75.6 75.7 75.8 75.9 76.0 76.1 76.2 76.3 76.4 76.5 76.6 76.7 76.8 76.9 77.0 77.1 77.2 77.3 77.4 77.5 77.6 77.7 77.8 77.9 78.0 78.1 78.2 78.3 78.4 78.5 78.6 78.7 78.8 78.9 79.0 79.1 79.2 79.3 79.4 79.5 79.6 79.7 79.8 79.9 80.0 80.1 80.2 80.3 80.4 80.5 80.6 80.7 80.8 80.9 81.0 81.1 81.2 81.3 81.4 81.5 81.6 81.7 81.8 81.9 82.0 82.1 82.2 82.3 82.4 82.5 82.6 82.7 82.8 82.9 83.0 83.1 83.2 83.3 83.4 83.5 83.6 83.7 83.8 83.9 84.0 84.1 84.2 84.3 84.4 84.5 84.6 84.7 84.8 84.9 85.0 85.1 85.2 85.3 85.4 85.5 85.6 85.7 85.8 85.9 86.0 86.1 86.2 86.3 86.4 86.5 86.6 86.7 86.8 86.9 87.0 87.1 87.2 87.3 87.4 87.5 87.6 87.7 87.8 87.9 88.0 88.1 88.2 88.3 88.4 88.5 88.6 88.7 88.8 88.9 89.0 89.1 89.2 89.3 89.4 89.5 89.6 89.7 89.8 89.9 90.0 90.1 90.2 90.3 90.4 90.5 90.6 90.7 90.8 90.9 91.0 91.1 91.2 91.3 91.4 91.5 91.6 91.7 91.8 91.9 92.0 92.1 92.2 92.3 92.4 92.5 92.6 92.7 92.8 92.9 93.0 93.1 93.2 93.3 93.4 93.5 93.6 93.7 93.8 93.9 94.0 94.1 94.2 94.3 94.4 94.5 94.6 94.7 94.8 94.9 95.0 95.1 95.2 95.3 95.4 95.5 95.6 95.7 95.8 95.9 96.0 96.1 96.2 96.3 96.4 96.5 96.6 96.7 96.8 96.9 97.0 97.1 97.2 97.3 97.4 97.5 97.6 97.7 97.8 97.9 98.0 98.1 98.2 98.3 98.4 98.5 98.6 98.7 98.8 98.9 99.0 99.1 99.2 99.3 99.4 99.5 99.6 99.7 99.8 99.9 100.0

③旭町地区地下水水質調査

平成13年に厚木市旭町でみつかった地下水汚染について、夏季に神奈川県が、冬季に厚木市がモニタリング調査を行なった。

調査期間 平成16年2月12日、13日、18日

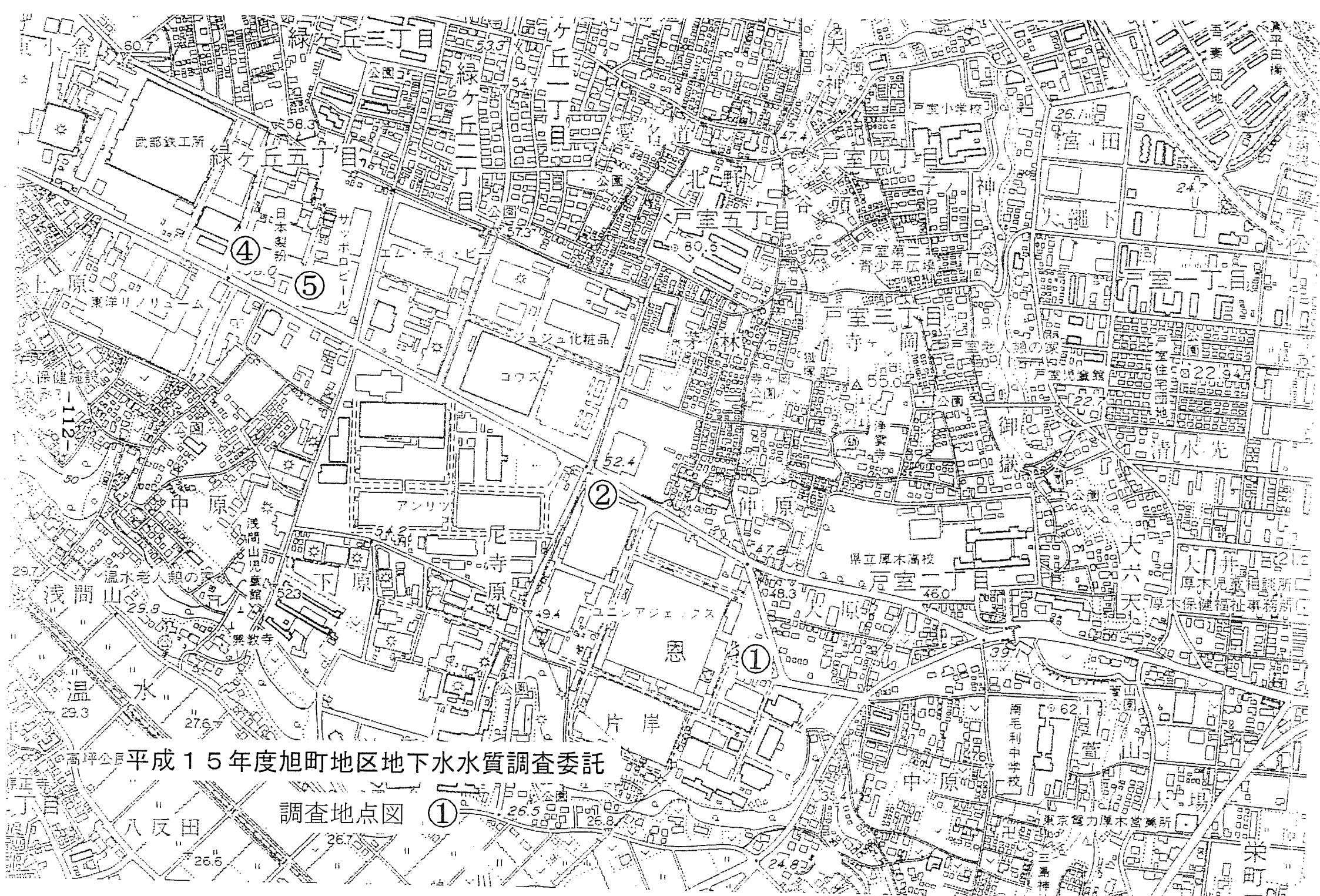
調査項目 トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、cis-1,2-ジクロロエチレン

調査結果 各調査場所の分析結果は表-3のとおりである。4箇所の井戸でトリクロロエチレン、5箇所の井戸でテトラクロロエチレンが環境基準を超過した。

表-3 (単位はmg/L)

分析結果	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
環境基準	0.03以下	0.01以下
No.1 恩名	0.054	0.039
No.2 恩名	0.017	0.064
No.3 恩名	0.030	0.060
No.4 恩名	0.12	0.025
No.5 恩名	0.060	0.0076
No.7 緑ヶ丘	0.013	0.15
No.8 岡田	0.059	0.0032
No.9 恩名	0.007	0.0005未満

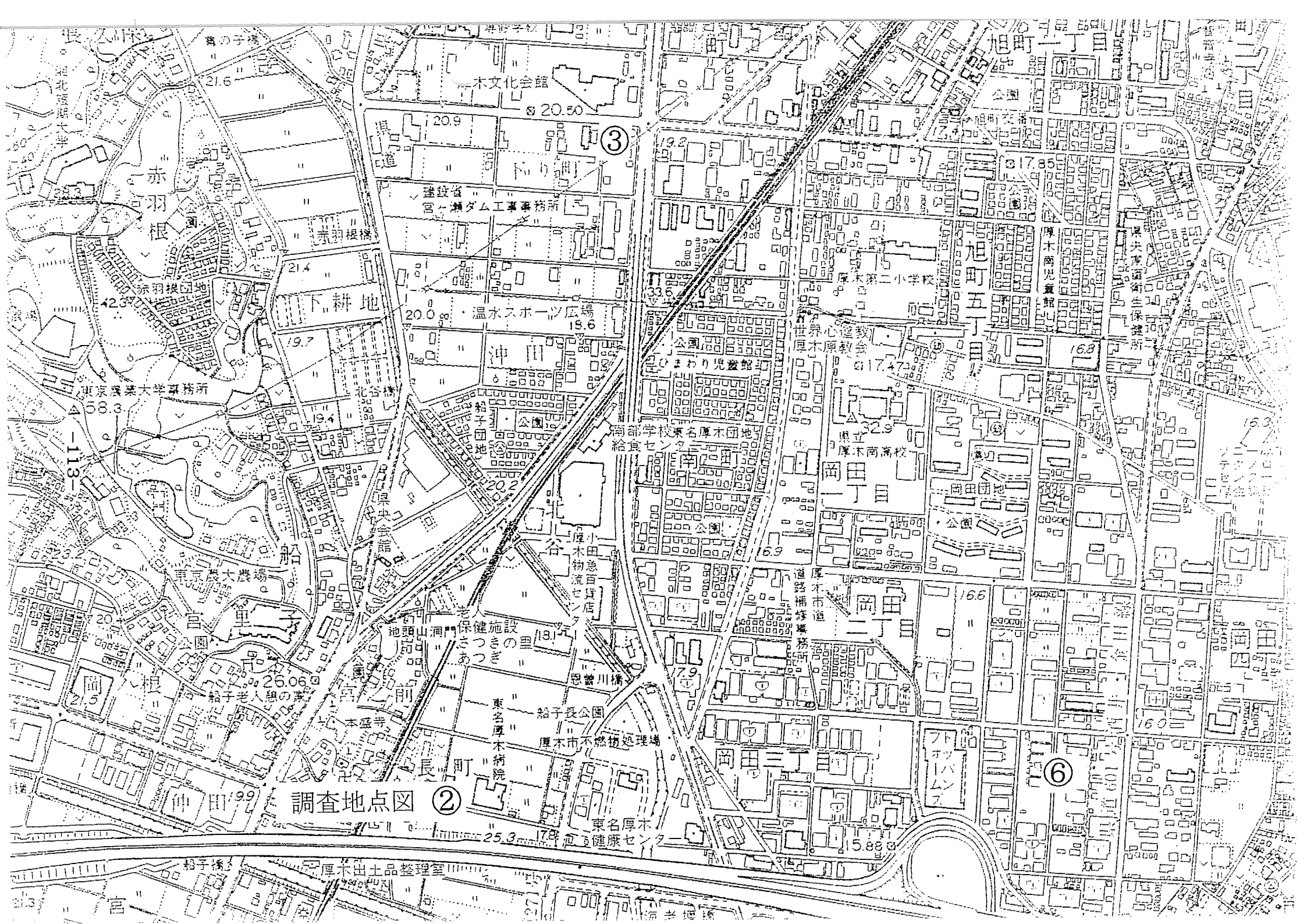
分析結果	1,1,1-トリクロロエタン	cis-1,2-ジクロロエチレン
環境基準	1以下	0.04以下
No.1 恩名	0.0098	0.011
No.2 恩名	0.0005未満	0.012
No.3 恩名	0.0017	0.007
No.4 恩名	0.039	0.028
No.5 恩名	0.0047	0.017
No.7 緑ヶ丘	0.0005未満	0.03
No.8 岡田	0.0030	0.019
No.9 恩名	0.0024	0.004未満



平成15年度旭町地区地下水水質調査委託

調査地点図 ①

高坪公園 八反田 26.5 26.7 26.8 26.9 27.0 27.1 27.2 27.3 27.4 27.5 27.6 27.7 27.8 27.9 28.0 28.1 28.2 28.3 28.4 28.5 28.6 28.7 28.8 28.9 29.0 29.1 29.2 29.3 29.4 29.5 29.6 29.7 29.8 29.9 30.0 30.1 30.2 30.3 30.4 30.5 30.6 30.7 30.8 30.9 31.0 31.1 31.2 31.3 31.4 31.5 31.6 31.7 31.8 31.9 32.0 32.1 32.2 32.3 32.4 32.5 32.6 32.7 32.8 32.9 33.0 33.1 33.2 33.3 33.4 33.5 33.6 33.7 33.8 33.9 34.0 34.1 34.2 34.3 34.4 34.5 34.6 34.7 34.8 34.9 35.0 35.1 35.2 35.3 35.4 35.5 35.6 35.7 35.8 35.9 36.0 36.1 36.2 36.3 36.4 36.5 36.6 36.7 36.8 36.9 37.0 37.1 37.2 37.3 37.4 37.5 37.6 37.7 37.8 37.9 38.0 38.1 38.2 38.3 38.4 38.5 38.6 38.7 38.8 38.9 39.0 39.1 39.2 39.3 39.4 39.5 39.6 39.7 39.8 39.9 40.0 40.1 40.2 40.3 40.4 40.5 40.6 40.7 40.8 40.9 41.0 41.1 41.2 41.3 41.4 41.5 41.6 41.7 41.8 41.9 42.0 42.1 42.2 42.3 42.4 42.5 42.6 42.7 42.8 42.9 43.0 43.1 43.2 43.3 43.4 43.5 43.6 43.7 43.8 43.9 44.0 44.1 44.2 44.3 44.4 44.5 44.6 44.7 44.8 44.9 45.0 45.1 45.2 45.3 45.4 45.5 45.6 45.7 45.8 45.9 46.0 46.1 46.2 46.3 46.4 46.5 46.6 46.7 46.8 46.9 47.0 47.1 47.2 47.3 47.4 47.5 47.6 47.7 47.8 47.9 48.0 48.1 48.2 48.3 48.4 48.5 48.6 48.7 48.8 48.9 49.0 49.1 49.2 49.3 49.4 49.5 49.6 49.7 49.8 49.9 50.0 50.1 50.2 50.3 50.4 50.5 50.6 50.7 50.8 50.9 51.0 51.1 51.2 51.3 51.4 51.5 51.6 51.7 51.8 51.9 52.0 52.1 52.2 52.3 52.4 52.5 52.6 52.7 52.8 52.9 53.0 53.1 53.2 53.3 53.4 53.5 53.6 53.7 53.8 53.9 54.0 54.1 54.2 54.3 54.4 54.5 54.6 54.7 54.8 54.9 55.0 55.1 55.2 55.3 55.4 55.5 55.6 55.7 55.8 55.9 56.0 56.1 56.2 56.3 56.4 56.5 56.6 56.7 56.8 56.9 57.0 57.1 57.2 57.3 57.4 57.5 57.6 57.7 57.8 57.9 58.0 58.1 58.2 58.3 58.4 58.5 58.6 58.7 58.8 58.9 59.0 59.1 59.2 59.3 59.4 59.5 59.6 59.7 59.8 59.9 60.0 60.1 60.2 60.3 60.4 60.5 60.6 60.7 60.8 60.9 61.0 61.1 61.2 61.3 61.4 61.5 61.6 61.7 61.8 61.9 62.0 62.1 62.2 62.3 62.4 62.5 62.6 62.7 62.8 62.9 63.0 63.1 63.2 63.3 63.4 63.5 63.6 63.7 63.8 63.9 64.0 64.1 64.2 64.3 64.4 64.5 64.6 64.7 64.8 64.9 65.0 65.1 65.2 65.3 65.4 65.5 65.6 65.7 65.8 65.9 66.0 66.1 66.2 66.3 66.4 66.5 66.6 66.7 66.8 66.9 67.0 67.1 67.2 67.3 67.4 67.5 67.6 67.7 67.8 67.9 68.0 68.1 68.2 68.3 68.4 68.5 68.6 68.7 68.8 68.9 69.0 69.1 69.2 69.3 69.4 69.5 69.6 69.7 69.8 69.9 70.0 70.1 70.2 70.3 70.4 70.5 70.6 70.7 70.8 70.9 71.0 71.1 71.2 71.3 71.4 71.5 71.6 71.7 71.8 71.9 72.0 72.1 72.2 72.3 72.4 72.5 72.6 72.7 72.8 72.9 73.0 73.1 73.2 73.3 73.4 73.5 73.6 73.7 73.8 73.9 74.0 74.1 74.2 74.3 74.4 74.5 74.6 74.7 74.8 74.9 75.0 75.1 75.2 75.3 75.4 75.5 75.6 75.7 75.8 75.9 76.0 76.1 76.2 76.3 76.4 76.5 76.6 76.7 76.8 76.9 77.0 77.1 77.2 77.3 77.4 77.5 77.6 77.7 77.8 77.9 78.0 78.1 78.2 78.3 78.4 78.5 78.6 78.7 78.8 78.9 79.0 79.1 79.2 79.3 79.4 79.5 79.6 79.7 79.8 79.9 80.0 80.1 80.2 80.3 80.4 80.5 80.6 80.7 80.8 80.9 81.0 81.1 81.2 81.3 81.4 81.5 81.6 81.7 81.8 81.9 82.0 82.1 82.2 82.3 82.4 82.5 82.6 82.7 82.8 82.9 83.0 83.1 83.2 83.3 83.4 83.5 83.6 83.7 83.8 83.9 84.0 84.1 84.2 84.3 84.4 84.5 84.6 84.7 84.8 84.9 85.0 85.1 85.2 85.3 85.4 85.5 85.6 85.7 85.8 85.9 86.0 86.1 86.2 86.3 86.4 86.5 86.6 86.7 86.8 86.9 87.0 87.1 87.2 87.3 87.4 87.5 87.6 87.7 87.8 87.9 88.0 88.1 88.2 88.3 88.4 88.5 88.6 88.7 88.8 88.9 89.0 89.1 89.2 89.3 89.4 89.5 89.6 89.7 89.8 89.9 90.0 90.1 90.2 90.3 90.4 90.5 90.6 90.7 90.8 90.9 91.0 91.1 91.2 91.3 91.4 91.5 91.6 91.7 91.8 91.9 92.0 92.1 92.2 92.3 92.4 92.5 92.6 92.7 92.8 92.9 93.0 93.1 93.2 93.3 93.4 93.5 93.6 93.7 93.8 93.9 94.0 94.1 94.2 94.3 94.4 94.5 94.6 94.7 94.8 94.9 95.0 95.1 95.2 95.3 95.4 95.5 95.6 95.7 95.8 95.9 96.0 96.1 96.2 96.3 96.4 96.5 96.6 96.7 96.8 96.9 97.0 97.1 97.2 97.3 97.4 97.5 97.6 97.7 97.8 97.9 98.0 98.1 98.2 98.3 98.4 98.5 98.6 98.7 98.8 98.9 99.0 99.1 99.2 99.3 99.4 99.5 99.6 99.7 99.8 99.9 100.0



調査地点 ②

③

⑥

木文化会館

建設省
河川ダム工事事務所

温水スポーツ広場

沖田

南部学校 東名厚木団地
給食センター

厚木南高等学校

東名厚木病院

厚木市不燃物処理場

東名厚木健康センター

赤羽根

下耕地

地頭山洞門 保健施設

忍野川橋

フタバンス

-113-

(7) ダイオキシン類環境調査

ダイオキシン類対策特別措置法が平成11年7月に制定され、大気、水質及び土壌に係る環境基準が定められ、平成12年1月15日から基準が適用されている。また、平成14年7月22日からは、底質に係る環境基準が適用となっている。

ダイオキシン類については、県市が協力して河川水及び地下水の調査を実施している。平成15年度は、市が5河川の各1箇所について水質の調査を実施した結果、いずれも環境基準を下回った。

なお、平成14年度に環境基準を超過した値が記録された善明川について、平成15年度に周辺調査を実施したが、調査地点の全てで環境基準を満足する値であった。

平成15年度河川調査結果（市調査分）

単位：pg-TEQ/L

調査年月日	河川名	調査場所	水質
H15.9.1	中津川	松羅公園北	0.073
H15.9.1	荻野川	横林橋下	0.091
H15.9.1	小鮎川	久保橋下	0.074
H15.9.1	玉川	奨学橋	0.15
H15.9.1	恩曾川	上古沢字谷の前地内	0.11
環 境 基 準			1

平成15年度善明川周辺調査結果

単位：pg-TEQ/L

調査年月日	河川名	調査場所	水質
H16.2.20	善明川	長坂青少年広場東側	0.31
H16.2.20	善明川	長坂緑地西側	0.36
H16.2.20	善明川	関口字山の根	0.35
H16.2.20	善明川	関口字西河原	0.27
H16.2.20	善明川	長坂境橋下	0.28
H16.2.20	—	都市下水路排出口	0.37
H16.2.20	—	市道C-83号線道路側溝	0.21
H16.2.20	—	市道C-199号線道路側溝	0.84
#	環 境 基 準		1

(参考1) 河川水質・底質調査

平成14年度善明川周辺調査結果

単位：pg-TEQ/L (水質)、pg-TEQ/g (底質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質	底質
H14.12.16	善明川	蟹沢橋	0.47	6.0
H14.12.16	善明川	中の橋	—	5.7
H14.12.16	善明川	長坂青少年広場東側	2.3	3.7
H15.2.9	善明川	長坂青少年広場東側	2.1	—
H15.2.9	流入水路	市道C-83号線道路側溝	0.34	—
H15.2.9	善明川	長坂緑地西側	0.31	—
H15.2.9	流入水路	都市下水路	0.55	—
H15.2.9	流入水路	農業用排水路	0.34	—
H15.2.9	流入水路	都市下水路	0.64	—
H15.2.9	善明川	善明橋下流部	0.32	—
H15.2.9	流入水路	農業用排水路	0.43	—
H15.2.9	流入水路	市道2-44号線道路側溝	1.5	—
H15.2.9	流入水路	農業用排水路	0.54	—
環境基準			1	150

平成13年度河川調査結果 (県調査分)

単位：pg-TEQ/L (水質)、pg-TEQ/g (底質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質	底質
H13.11.7	中津川	第一鮎津橋 (妻田東1-5-4東側)	0.12	0.57
H13.11.7	小鮎川	第二鮎津橋 (妻田東1-3-2東側)	0.12	0.29
H13.11.8	玉川	酒井橋 (酒井2088-40南側)	0.098	0.32

平成13年度河川調査結果 (市調査分)

単位：pg-TEQ/L

調査年月日	河川名	調査場所	水質
H13.7.31	細田川	小野2227南側	0.19
H13.7.31	荻野川	妻田西2-22-52西側	0.15
H13.7.31	山際川	関口地内	0.4
H13.7.31	尼寺排水路	恩名1522-1南側	0.25

平成12年度河川調査結果 (県調査分)

単位：pg-TEQ/L (水質)、pg-TEQ/g (底質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質	底質
H12.7.28	小鮎川	平成橋 (及川816南側)	0.15	0.99
H12.7.28	都市下水路	金田字新河原	0.42	5.1
H12.7.28	中津川	中依知字上古河	0.53	1.7

平成12年度河川調査結果 (市調査分)

単位：pg-TEQ/L (水質)

調査年月日	河川名	調査場所	水質
H12.12.6	中津川	第一鮎津橋 (妻田東1-5-4東側)	0.12
H12.12.6	玉川	酒井橋 (酒井2088-40南側)	0.13
H12.12.6	小鮎川	第二鮎津橋 (妻田東1-3-2東側)	0.17
H12.12.6	恩曾川	新八木間橋 (酒井3070-40西側)	0.17

(参考2) 地下水調査結果

平成14年度地下水調査結果 (県調査分)

単位: pg-TEQ/L (水質)

調査年月日	調査箇所名 (井戸所在地)	水質
H14. 10. 30	上依知	0.039
H14. 10. 30	小野	0.041

※環境基準値は、地下水水質: 1pg-TEQ/Lと定められている。

平成13年度地下水調査結果 (県調査分)

単位: pg-TEQ/L (水質)

調査年月日	調査箇所名 (井戸所在地)	水質
H13. 10. 23	中荻野	0.048

平成12年度地下水調査結果 (県調査分)

単位: pg-TEQ/L (水質)

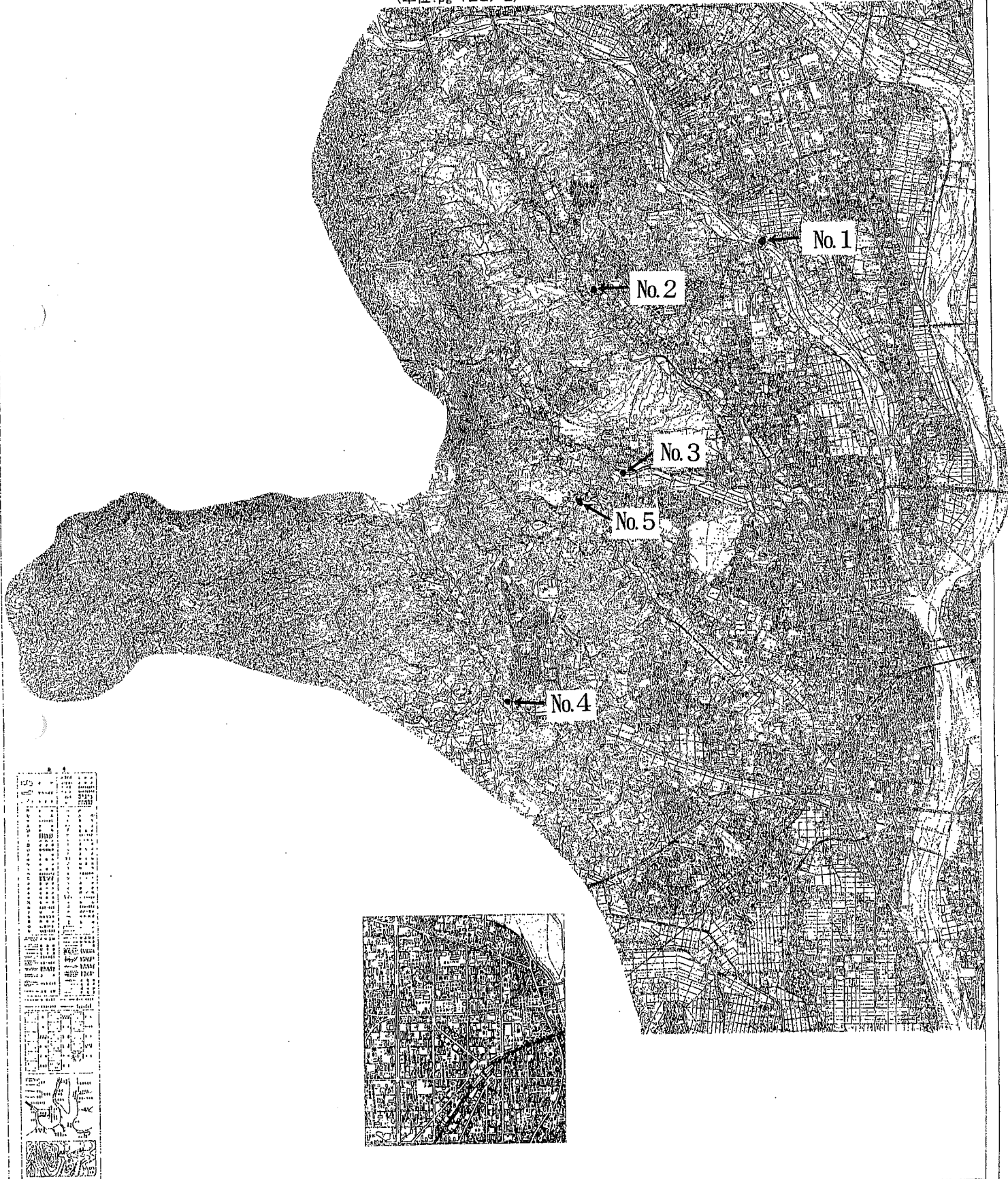
調査年月日	調査箇所名 (井戸所在地)	水質
H12. 10. 19	飯山	0.15
H12. 10. 19	飯山	0.43

平成15年度ダイオキシン類河川調査地点図

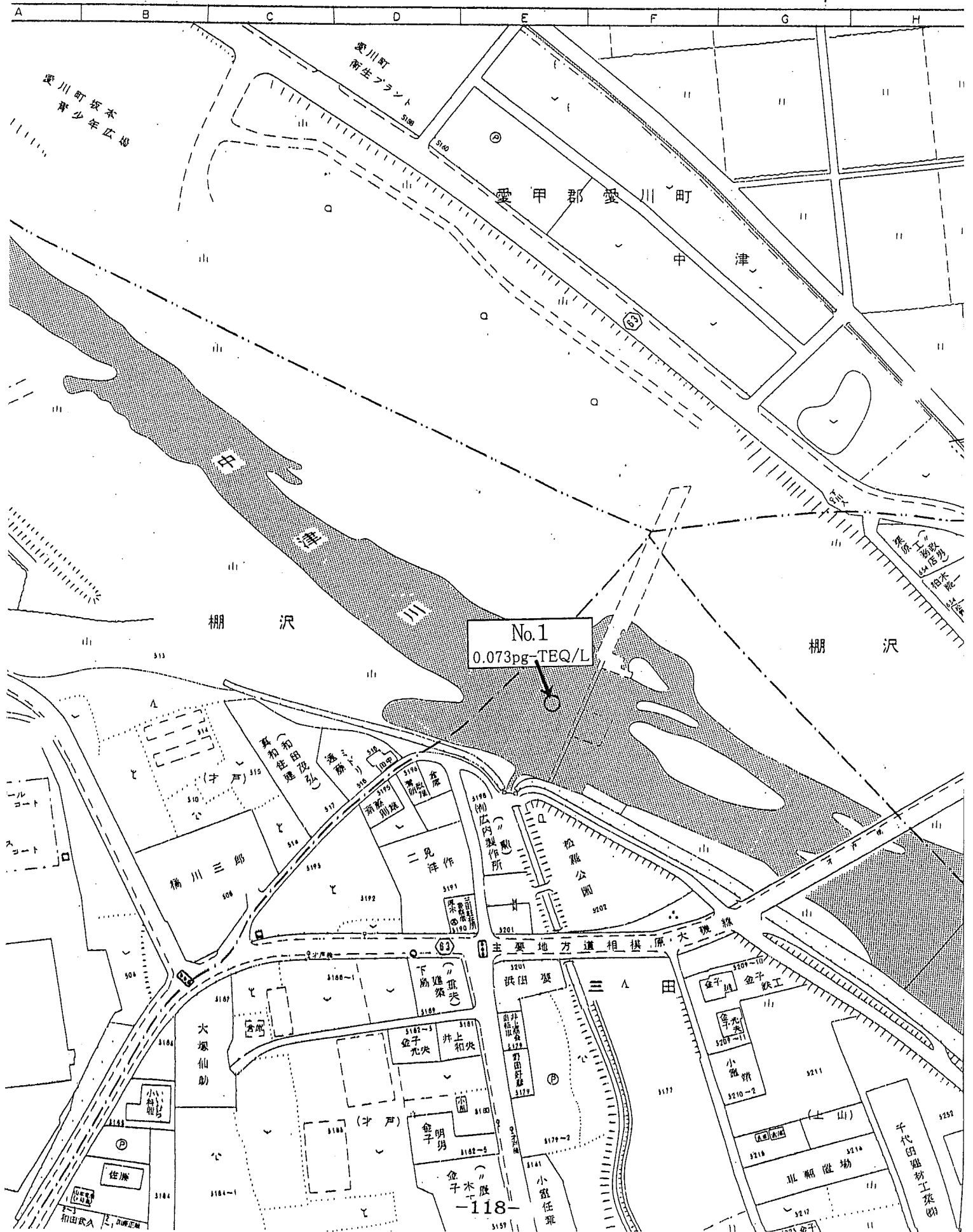
1:20,000 地形図

調査地点	分析結果
No.1 中津川 松羅公園北	0.073
No.2 荻野川 横林橋下	0.091
No.3 小鮎川 久保橋下	0.074
No.4 玉川 奨学橋	0.15
No.5 恩曾川 上古沢字谷の前地内	0.11
No.4 玉川 奨学橋(二重測定分)	0.12

(単位:pg-TEQ/L)



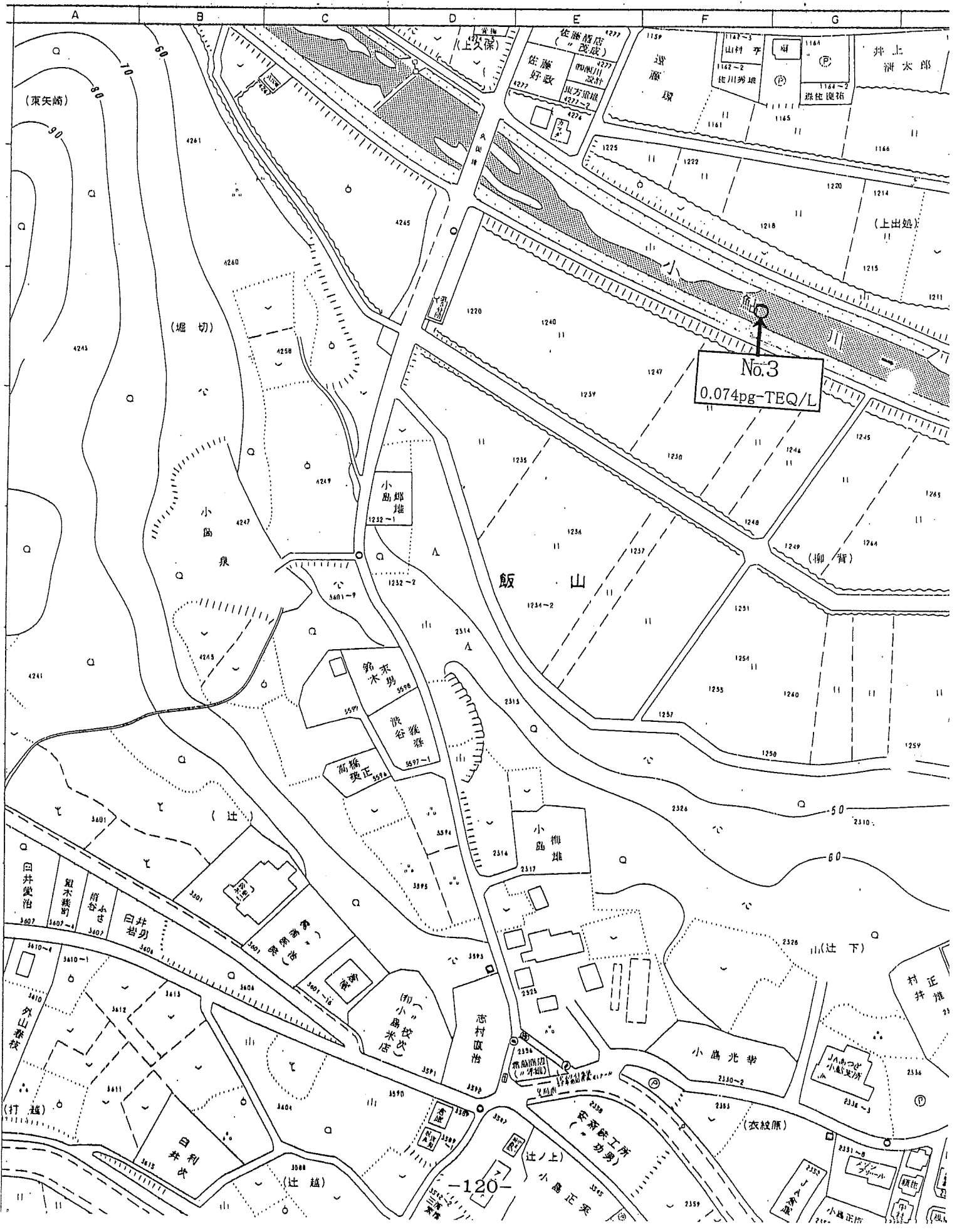
No. 1 中津川 松羅公園北 厚木市三田 3 1 9 8 番地北側



No. 2 荻野川 横林橋下 厚木市上荻野5755番地東側

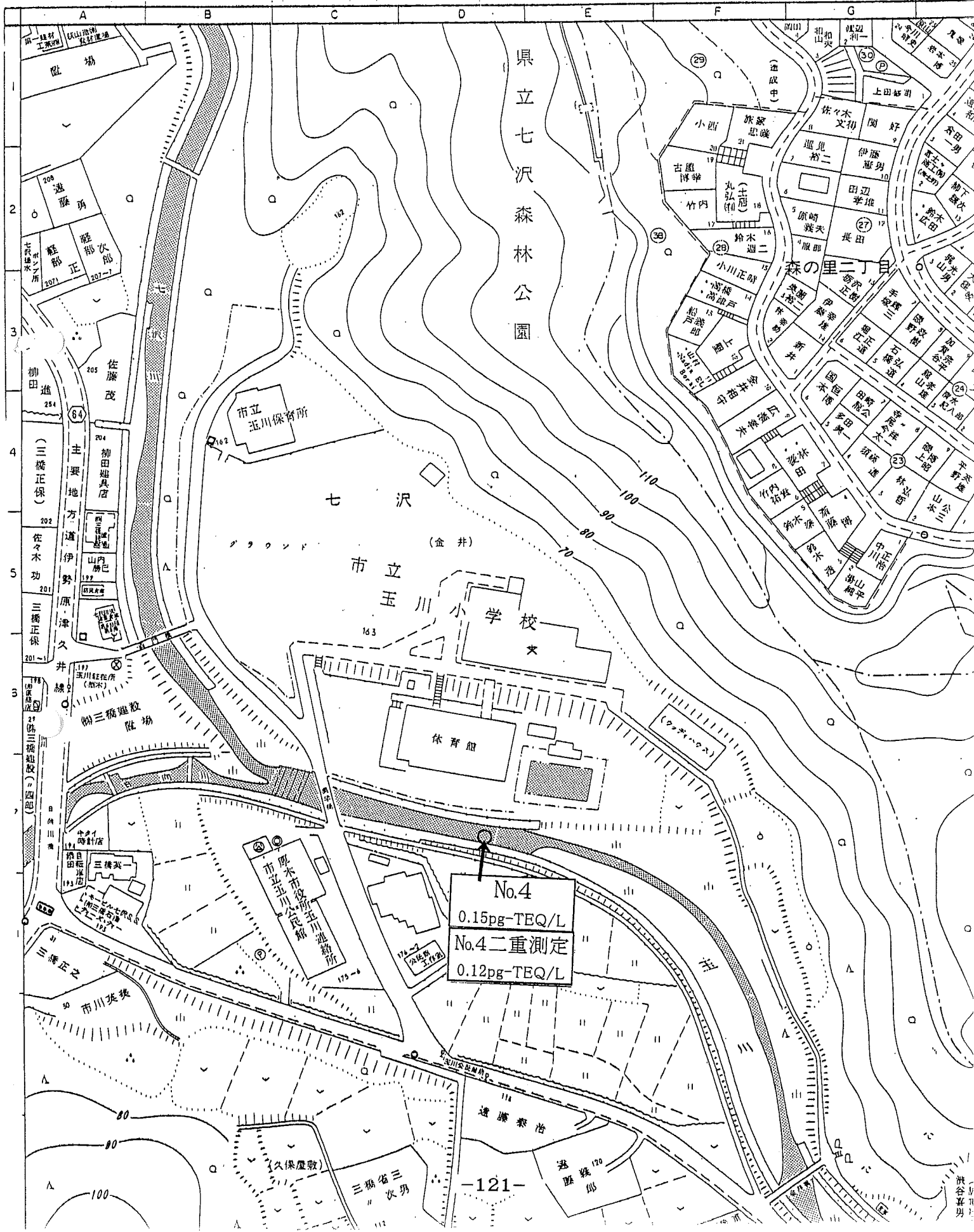


No. 3 小鮎川 久保橋下 厚木市飯山4265番地北側



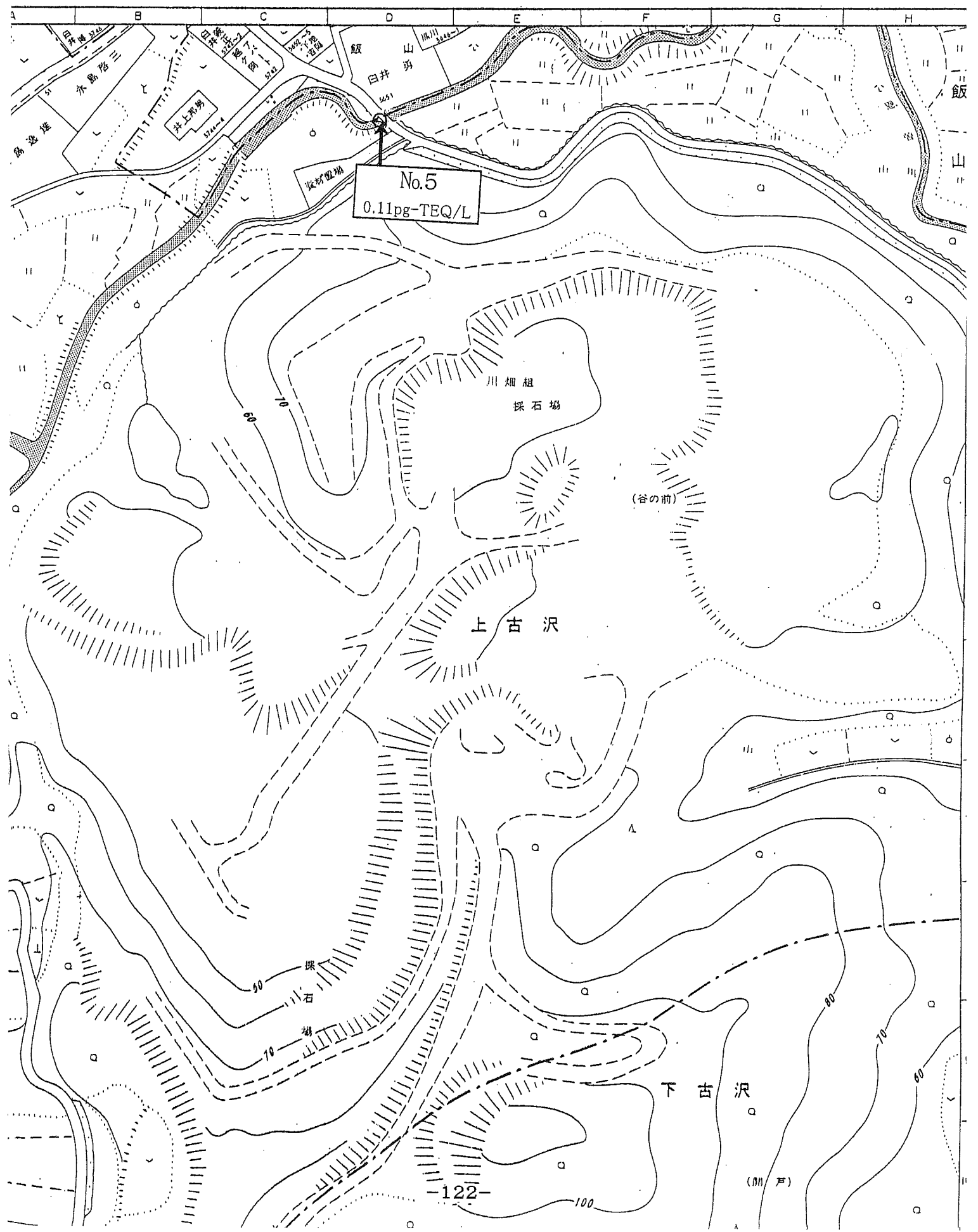
No. 4 玉川 奨学橋 厚木市七沢163番地南側

No. 4 玉川 奨学橋 (二重測定) 厚木市七沢163番地南側



No.4
0.15pg-TEQ/L
No.4二重測定
0.12pg-TEQ/L

No. 5 恩曾川 上古沢字谷の前地内 厚木市飯山3651番地南側



平成15年度ダイオキシン類善明川周辺調査地点図

調査地点	分析結果
1善明川河川水(長坂青少年広場東側)	0.31
2善明川河川水(長坂緑地西側)	0.36
3善明川河川水(関口字山の根)	0.35
4善明川河川水(関口字西河原)	0.27
5善明川河川水(長坂境橋下)	0.28
6都市下水路排出口	0.37
7市道C-83号線道路側溝	0.21
8市道C-199号線道路側溝	0.84

単位:pg/L

